

日本性科学会雑誌

JAPANESE JOURNAL OF SEXOLOGY

Vol.32 Suppl. 2014

2012年・中高年セクシュアリティ調査特集号

巻頭言.....大川玲子

I

調査結果と分析

1. はじめに——中高年セクシュアリティ調査の実施について.....荒木乳根子
2. 配偶者間のセックスレス化——2012年調査で際立った特徴.....荒木乳根子
3. 単身者の性に関する考え方と規範意識——2003年調査と2012年調査より.....堀口貞夫
4. 中高年夫婦の関係性について——2000年調査と2012年調査の比較.....石田雅巳
5. 有配偶者の性生活の実際と変化.....金子和子
6. 性機能についての比較検討.....大川玲子
7. 自由記載から.....堀口雅子

II

2012年・中高年セクシュアリティ調査結果の全データ

1. 調査目的・方法等の概要
2. 有配偶者を対象とする調査結果の全データ
3. 単身者を対象とする調査結果の全データ

巻頭言

大川玲子

日本性科学会の有志「セクシュアリティ研究会」が2000年および2003年に行った中高年男女における有配偶・単身者の性調査は、画期的なものだった。10年を経た今日、若年層対象など複数のセクシュアリティ調査が、性行動の不活発化、セックスレス化を報告しているが、日本の中高年はどうだろうか、と再調査を行った。しかし2010年に第2回調査を企画し、論文集発行まで4年の歳月を要したのは、ひとえに調査期間の延長である。もとより性に関する調査は協力者を得にくい、今回は前回より更に時間がかかったことが、社会の性に対する反応の変化かと思われる。

この間、調査の客観性を重視する傾向が高まり、本調査のようなデータ収集法でどれほど価値が生み出せるか、心配する意見もあった。しかし我々の調査の特徴は、性交頻度や性機能中心ではなく、その背景やカップル間の関係性などディーテールに注目したところである。その報告ができれば、性科学者はもちろん、悩める個人にも寄与できると考える。更に、有配偶者を含めて、すべての高齢者は単身者になる。しかも単身者の性調査が少ないことが、前回、単身者のみの追加調査を行った理由である。セクシュアリティ調査のこうした「こだわり」を踏襲したことは、本調査の価値として評価されるであろう。

高齢者、単身者、女性は性のマイノリティである。このグループの性活動性が統計的に低いのは大方の予想通りで、10年経っても大きな変化はない、という印象もあるが、予想を超えた、あるいは意外な変化もみられた。そして、マイノリティといっても「数」ではなく、そのなかに多彩な人々があり、そのセクシュアリティを無視してはならない。数値が少数であっても、「少数はいる」という視線で結果をとらえたい。

研究者は前回調査時点で全員、本調査の対象年齢であり、調査票作成にも、結果の解釈にも適切というほかはない。しかし10年たって、なかにはぎりぎり対象から外れそうな者もあり、資格はともかく仕事の能率はおちたことを痛感している。何とか論文集発行にこぎつけたことは、この上ない喜びである。

著者の1人として、この間、調査、結果の解析、論文執筆、論文集出版すべての面でリーダーシップをとり、筆者をふくめた他のメンバーを叱咤激励し続けてくれた、荒木乳根子氏に深甚の謝意を捧げる。

また今回の調査では国立病院機構千葉医療センターの研究助成を受けたことを記し、調査に協力して下さった多数の方と並び謝辞を捧げる。

巻頭言◆大川玲子……………1

I

調査結果と分析

1. はじめに——中高年セクシュアリティ調査の実施について◆荒木乳根子……………4
2. 配偶者間のセックスレス化——2012年調査で際立った特徴◆荒木乳根子……………7
3. 単身者の性に関する考え方と規範意識——2003年調査と2012年調査より◆堀口貞夫……………22
4. 中高年夫婦の関係性について——2000年調査と2012年調査の比較◆石田雅巳……………32
5. 有配偶者の性生活の実際と変化◆金子和子……………39
6. 性機能についての比較検討◆大川玲子……………47
7. 自由記載から◆堀口雅子……………57

II

2012年・中高年セクシュアリティ調査結果の全データ

1. 調査目的・方法等の概要……………68
2. 有配偶者を対象とする調査結果の全データ……………70
3. 単身者を対象とする調査結果の全データ……………97

I 調査結果と分析

はじめに 中高年セクシュアリティ調査の実施について

元・田園調布学園大学
荒木乳根子

1. 調査までの経緯と意図

セクシュアリティ研究会では1999年10月～2000年3月にかけて中高年有配偶者のセクシュアリティ調査を実施した。また、2002年9月～2003年12月にかけて中高年単身者のセクシュアリティ調査を実施した。その結果は論文¹⁾や研究発表の形で公表するとともに、単身者の調査結果については日本性科学会雑誌の増刊号(Vol.23, 2005)²⁾として主要な内容をまとめて報告した。また、一般向けの単行本として、有配偶者については「カラダと気持ち ミドル・シニア版」(2002年、三五館)³⁾、単身者については「カラダと気持ち シングル版」(2007年、三五館)⁴⁾のタイトルで出版した。

時代と共に性にかかわる意識や男女の関係性、性行動は変化していく。そのため、10年後には再調査をしたいと考えていた。

近年10年間の社会の変化は著しい。情報技術が普及し、インターネットがコミュニケーションツールとして定着する、高齢化が進み介護・福祉・医療面では問題が山積する、リーマンショック後の世界同時不況で失業や非正規雇用が増加し、格差社会が問題となる、一方で草食系男子が話題になるなど、さまざまなことがあった。

社会の変化と共に男女の関係性は、性意識は、性行動はどのように変化していったのか、巻頭言にもあるように若年層を中心とした調査では性行動の不活発化を報告している。中高年はどうであろうか、大いなる関心を持って再調査を実施した。

2. 今回の調査について

本誌後半のIIに調査の目的・方法等の概要と調査の全結果を記載した。ここでは調査を実施し、結果をまとめる上で検討したこと等について述べておきたい。

1) 調査票の作成

今回は有配偶者と単身者と分けて調査したために、有配偶者、単身者を特定して依頼する必要がある、特に単身者については調査票の配布、依頼までに大きな困難があった。そのため今回は有配偶者、単身者とも同一の調査票で記入項目を分ける形にし、同時に調査することとした。

内容的には、前回調査と比較するために大きな変更はできないものの、修正や新たな設問の追加などを行った。

修正は、性交渉頻度について「挿入を伴う性交渉(性交)」と「挿入を伴わない性交渉(手や口による体や性器の愛撫)」に分けて聞く、

前回受け取り方に幅が生じたと思える「付き合い合っている人」という表現を「交際相手（お付き合いしている異性）」とする、などである。新たな設問としては、性欲や性機能についての問いを3問追加した。

2) 調査票の配布とデータ回収

調査票の配布方法は前の2つの調査同様で、研究メンバーが手づるを頼りに関東圏のさまざまな個人、グループ、団体、機関に依頼した。高齢者については「老人いこいの家」利用者への依頼が多くなった。

2011年1月に配布を開始し、1年間で有配偶者は男性300、女性は400近くの回答が集まったが、単身者のデータ収集が思わしくなく、できるだけ単身者に協力願いたいという形で再度の依頼をし、調査期間を2012年12月まで延期せざるを得なかった。

3) データ処理

データ処理はSPSSによったが、有配偶者は男女別、10歳刻みの年代別のクロス集計を基本にした。単身者は数が少ないため、年代は40～59歳と60～79歳までの2グループのクロス集計を基本にした。

なお、設問が多く、多岐にわたり、二次的設問もあるところから、今回も少なからず矛盾回答がみられた。特に目立ったのは「配偶者との性交渉（挿入を伴う性交渉・伴わない性交渉とも）が1年間全くない方にお聞きします」という設問に対して、「挿入を伴う性交渉」がない場合は「挿入を伴わない性交渉」があっても、該当者として回答している人が多いことだった。設問通りの修正を行ったが、挿入を伴わなければセックスにあらずという意識が強いことが伺われた。また、マスターベーションの頻度を聞いた設問の二次

的設問でマスターベーションの意味を聞いているが、特に女性の場合、頻度は無回答で二次的問いには回答するなどがあった。これは回答を生かしたが、このような回答の仕方そのものに意味があると思われ興味深かった。その他の矛盾回答についても設問の意図に沿って適宜修正した。

3. 本誌の構成について

前半Ⅰは、研究メンバー各々に大まかな担当内容を決め、興味深い点を中心にまとめた論文集とした。後半Ⅱは、苦勞して収集したデータを公表し、できるだけ多くの方に活用していただきたいと考え、全調査結果を掲載したデータブックとした。

論文集で取り上げた内容は以下の通りである。

I-2 荒木論文では、性生活についての調査項目を概観し、セックスレス化を中心にまとめた。すでに日本性科学会雑誌 Vol.31 に掲載した論文⁵⁾と重複する部分もあるが、今回は単身者も含めて前回調査と比較し、有配偶者の夫婦間のセックスレス化が大きな特徴として浮かび上がった。

I-3 堀口貞夫論文では、単身者の性に関する考え方と規範意識が前回調査と比べてどのように変化したかに焦点を当てた。すでに日本性科学会雑誌 Vol.31 に掲載した論文⁶⁾と重複する内容が含まれるが、今回は単身者について、前論文で取り上げなかった規範意識も含めて検討した。

I-4 石田論文では、夫婦間の関係性の項目を中心に前回調査と比較し、また、男女の比較をした。この10年余で興味深い関係性の変化があり、また10年余を経ても変わらぬ

男女の相違が見られた。

I-5 金子論文では、性生活の内容について踏み込んで聞いた項目を中心にまとめた。前回調査との比較、男女の比較、有配偶者と単身者との比較で、何が変わり、何が変わらなかったのかについて論じている。

I-6 大川論文では、性機能を中心にまとめている。性欲障害、男性の性機能、女性の性機能、性交渉による満足感などについて、男女差、年代差などに注目し、前回調査との比較や国内外の調査文献との比較も行っている。

I-7 堀口雅子論文では、自由記述欄に記載があった211の記述の中から45を抽出して、個人情報に配慮し若干の修正を加えた上で掲載した。調査結果を肉付けするような声や、数的処理からはこぼれ落ちるような少数者の意見もあり、興味深い。

4. 調査結果について

調査対象は関東圏に居住する男女であり、ランダムサンプリングではない。データ収集には苦労し、調査期間は長期にわたっている。回答者は性について比較的開放的な考え方をもち、あるいは積極的な人に偏った可能性がある。特に単身者についてはそう言えるのではないかと考えている。例えば単身者の交際相手がいる割合など日本の単身者の平均的割合を示しているとは考えにくい。

しかし、それではデータに意味がないかといえば決してそうは思わない。男女の比較、年代による比較をすると日常的に我々が感じていることがデータに示されている。また、調査対象者は前回と同じ人ではないわけだが、前回調査と比較すると類似点、変化した点には納得のいくものが多い。

日本においては中高年のセクシュアリティ調査は極めて少ない。有配偶者に、夫婦間の性生活を関係性や性意識も含めて細部にわたって聞いた調査、また、中高年単身者に、性意識や性生活、交際相手との関係性など細部にわたって聞いた調査は他に類を見ない。その意味では貴重なデータだと考えている。種々の限界があるデータであり、数値をどのようにみるか、解釈には留意が必要であるが、その限界を踏まえたうえでこの調査結果が役立つことを願っている。

文献

- 1) 日本性科学会セクシュアリティ研究会 (代表・荒木乳根子)：中高年のセクシュアリティ——男女のパートナーシップの現状について：日本性科学会誌 Vol.12, No.1, 2-18, 2000
- 2) 日本性科学会セクシュアリティ研究会：中高年単身者セクシュアリティ調査：日本性科学会雑誌 Vol.23, suppl. 2005
- 3) 日本性科学会セクシュアリティ研究会：カラダと気持ち ミドル・シニア版。三五館、東京、2002
- 4) 日本性科学会セクシュアリティ研究会：カラダと気持ち シングル版。三五館、東京、2007
- 5) 荒木乳根子他：中高年夫婦のセクシュアリティ 特にセックスレスについて——2000年調査と2012年調査の比較から：日本性科学会雑誌 Vol.31, 27-36, 2013
- 6) 堀口貞夫他：現在の中高年の性に関する認識と規範意識：日本性科学会雑誌 Vol.31, 37-44, 2013

2

配偶者間のセックスレス化

～2012年調査で際立った特徴～

元・田園調布学園大学

荒木乳根子

I はじめに

日本性科学会雑誌 Vol.31 に「中高年夫婦のセクシュアリティ 特にセックスレスについて——2000年調査と2012年調査の比較から」¹⁾と題した論文を掲載した。その内容と重なる部分が多いが、セックスレス化は今回のセクシュアリティ調査で判明した最も大きなトピックスであり、調査結果を網羅した本特別号でも記載する必要があると考えた。

ここでは Vol.31 の論文では触れなかった単身者の調査結果も含めて、セクシュアリティ研究会で実施した3回のセクシュアリティ調査の性生活の項目を中心に概観し、中高年のセックスレス化が配偶者間における特徴的な現象であることに言及し、夫婦のあり方の変化について考察したい。

II 3つの調査について

時期・対象・方法・調査票の構成

1. 2000年調査^{2) 3)}

[時期] 1999年10月～2000年3月

[対象] 関東圏に在住する40歳～79歳までの配偶者がいる男女。3,025部配布、1,083

部回収(回収率35.8%)、有効回答1,020人(男性419人、女性601人)

[方法] 研究メンバーが多方面に自記式調査票と返信用封筒を配布し、協力を依頼した。

[調査票の構成] 基本的属性、夫婦の関係性、性に関する意識、性生活の実態などで設問62、二次的設問10から成る。

2. 2003年調査⁴⁾

[時期] 2002年9月～2003年12月

[対象] 主に関東圏に在住する40歳～79歳までの単身男女。1,838部配布、439部回収(回収率22.2%)、有効回答408人(男性145人、女性263人)

[方法] 2000年調査と同じ。一部メディアを通じて調査への協力者を募集した。

[調査票の構成] 基本的属性、性に関する意識、異性との交際状況、性生活の実態などで設問56、二次的設問14から成る。

3. 2012年調査

[時期] 2011年1月～2012年12月

[対象] 関東圏に在住する40歳～79歳までの男女。間接的な配布依頼も多く、対象者に渡った部数は不明。1,242部回収、有効回答1,162人(有配偶者:男性404人、女性459人、

合計 863 人、単身者：男性 92 人、女性 207 人、合計 299 人)

[方法] 2000 年調査と同様。ただし間接的な配布依頼が多くなった。

[調査票の構成] I 全員対象 15 問・二次的設問 3、II 有配偶者対象 48 問・二次的設問 6、III 単身者対象 49 問・二次的設問 11 から成る。

なお、本誌「I-1. はじめに」「II-1. 調査目的・方法等の概要」も参照されたい。

3 つの調査の年代別対象者数は表 1、表 2 のとおりである。

III 結果

1. 性行動について

性行動としては「挿入を伴う性交渉」(本誌 II-2-B28、II-3-C25 参照。以下同様で、B、C は II に記載された表を示す)、「挿入を伴わない性交渉」(B29、C26)、「マスターベーション」(B27、C24)、「よくする身体的触れ合い」(B24、C15) について聞いた。有配偶者の

場合、さらに「配偶者以外の異性との付き合い」(B15) についても聞いている。各々について 2000 年調査と比較しながら概観したい。

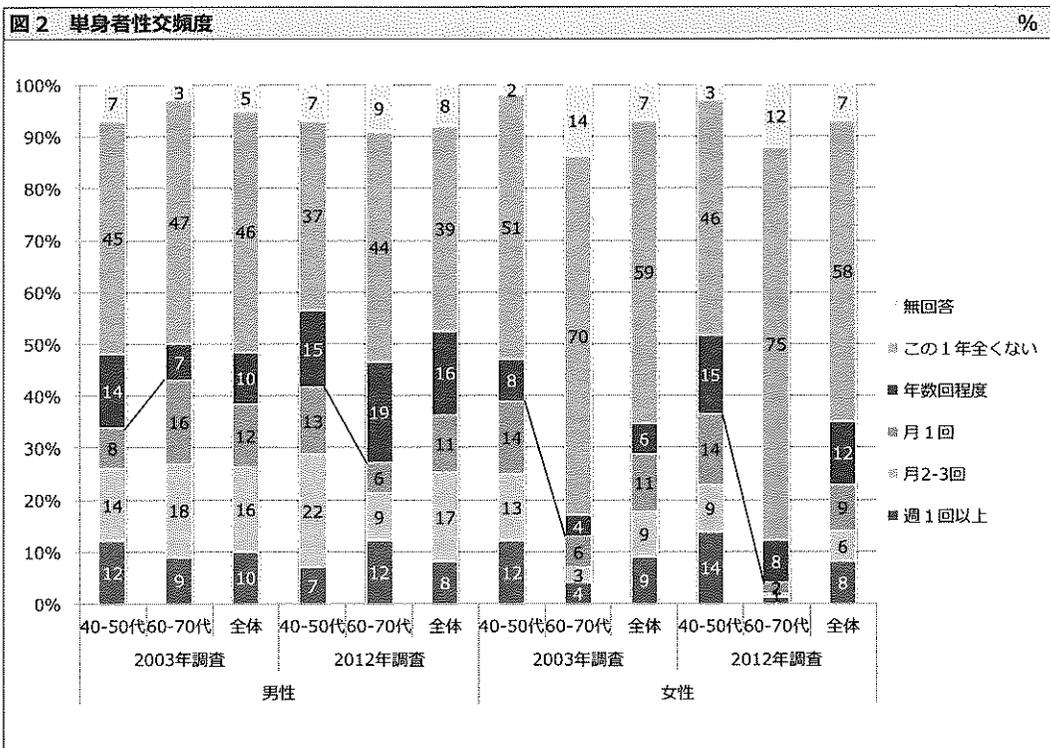
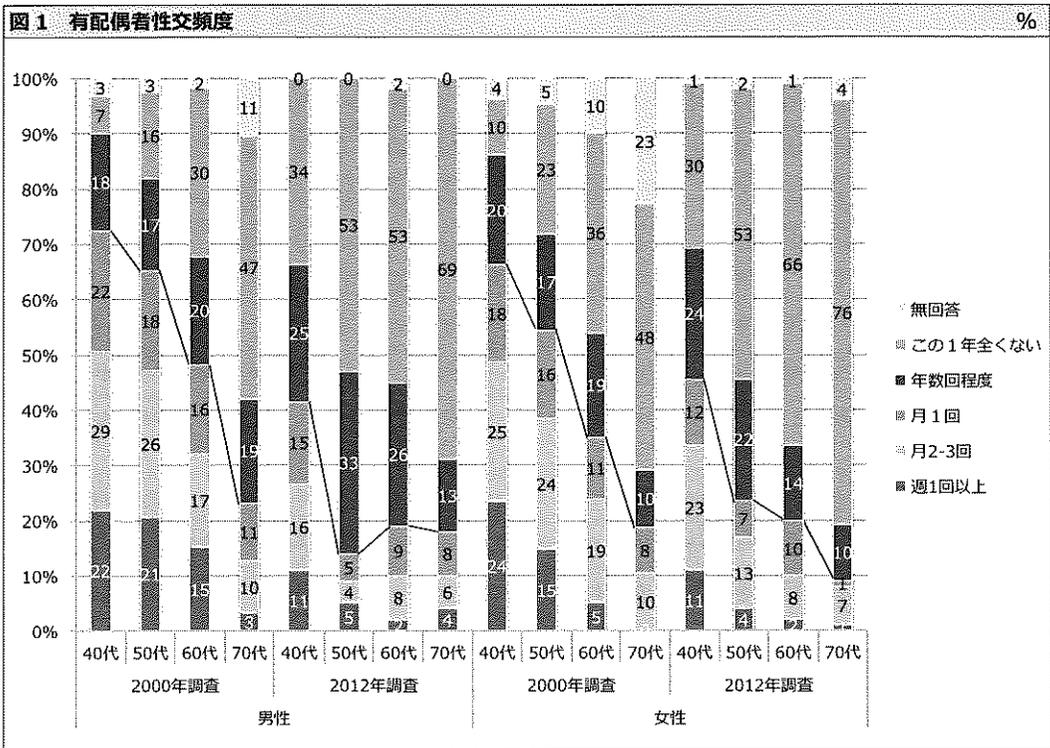
1) 性交渉

2000 年調査では挿入の有無で分けずに性交渉の頻度を聞き、2012 年調査では挿入の有無で分けて聞いた。「性交渉＝挿入ではない」という意識がどの程度一般化しているか知りたいという意図もあってのことである。その結果、挿入を伴う性交渉がない場合は性交渉停止年齢に回答するなど、挿入を伴う性交渉がなくなると性交渉停止という認識が強いことが分かった。そのため、ここでは「挿入を伴う性交渉」を前回調査の「性交渉」と比較した。

有配偶者について図 1 を見ると、顕著な特徴はセックスレスの著しい増加である。「月 1 回以上の性交渉あり」に注目すると、70 代の女性を除いて、男女ともどの年代でも割合が優位に低下していた。特に 50 代での低

	2000 年調査		2012 年調査	
	男性	女性	男性	女性
40 代	91 (21.7)	222 (36.9)	106 (26.2)	128 (27.9)
50 代	121 (28.9)	231 (38.4)	97 (24.0)	132 (28.8)
60 代	112 (26.7)	100 (16.7)	92 (22.8)	129 (28.1)
70 代	95 (22.7)	48 (8.0)	109 (27.0)	70 (15.3)
総計	419	601	404	459
平均年齢	59.4 (SD11.0)	53.6 (SD9.3)	59.5 (SD11.7)	57.2 (SD10.4)

	2003 年調査		2012 年調査	
	男性	女性	男性	女性
40-50 代	71 (49.0)	151 (57.4)	60 (65.2)	122 (58.9)
60-70 代	74 (51.0)	112 (42.6)	32 (34.8)	85 (41.1)
総計	145 (100)	263 (100)	92 (100)	207 (100)
平均年齢	59.4	58.4	56.2 (SD12.1)	57.1 (SD11.4)



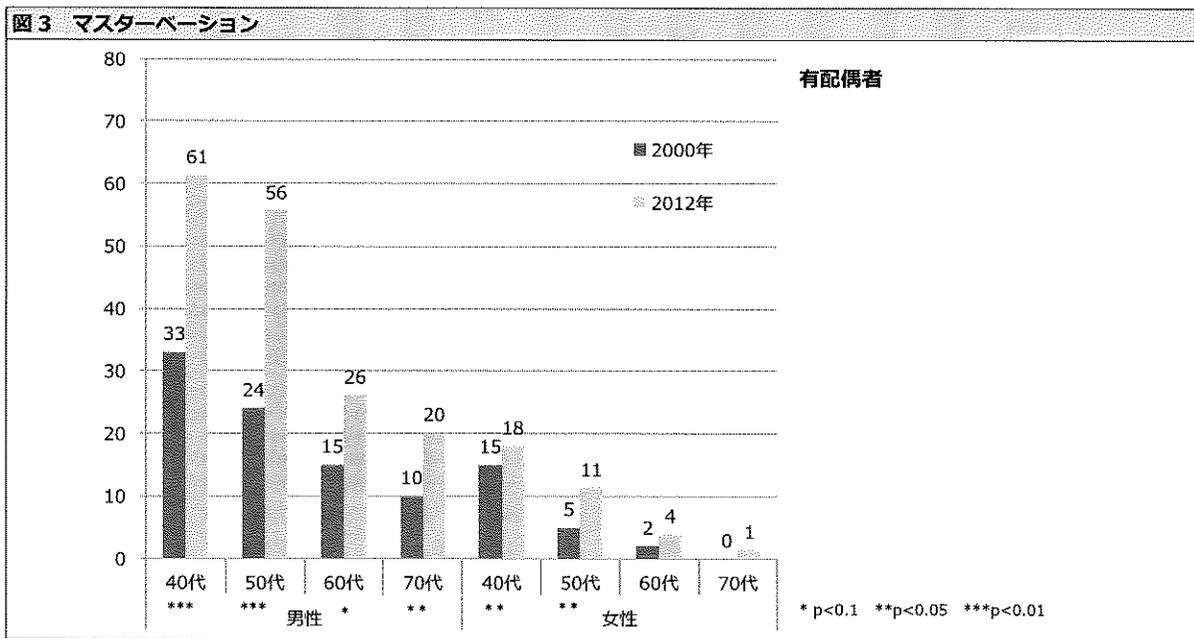
下は著しく、前回の2.2～4.3割に減少している。「年数回」を含めても、50代で性交渉があるのは46～47%である。「1年間全くない」という夫婦は全体で2000年調査では男性25%、女性23%だったのに、今回は男性52%、女性54%と倍増した。

ちなみに挿入を伴わない性交渉がある人は、ほとんどが挿入を伴う性交渉も維持している人であり、有配偶者の場合、「挿入を伴わない性交渉のみあり」は男女とも6%程度に過ぎない。

セックスレス化は単身者間も同様であろうか。単身者の場合、交際相手の有無を問わず、全員に聞いているが、図2を見ると2003年と2012年調査間の差は少なく、セックスレス化は認められなかった。「月1回以上の性交渉」がある人に注目すると、60～70代女性で有意に減少したのみである。「1年間全くない」の割合も2012年は男性39%、

女性58%で、2003年と大差なかった。単身者で興味深いのはむしろ男女の比較である。両調査とも40～50代は男女で差がないが、60～70代は顕著な差が見られ、男性は活発だが、女性で性交渉があるのは男性の3～4分の1に過ぎない。60～70代女性の交際相手がいる割合も男性の3分の1程度強である。60～70代は単身者の男性に比べて格段に女性が多いことと同時に、若さ指標で評価される女性のあり様を示しているようにも思われる。

「I-1. はじめに」で記載したような回答者のバイアスを考えると、数値を一般化するのは危険だと思うが、単身者の性生活は結構活発で、有配偶者の性生活とボーダーレスになってきていることが伺われる。なお、単身者の過去1年間の性交相手（C30、複数回答）は、男性は交際相手が71%、その他が40%、女性は交際相手が92%、その他が7%



であった。

2) マスターベーション

マスターベーションは両調査で回答の選択肢が異なったので、2000年調査でマスターベーションを「よくする+ときどきする」人の割合と2012年調査で「月2～3回以上」する人の割合を比較した(図3)。

有配偶者についてみると、2012年調査のほうが男性はどの年代も増加、特に40、50代は増加が目立っている。女性は50代で有意に増加していた。男性の場合、マスターベーション頻度は性交頻度よりはるかに多い。

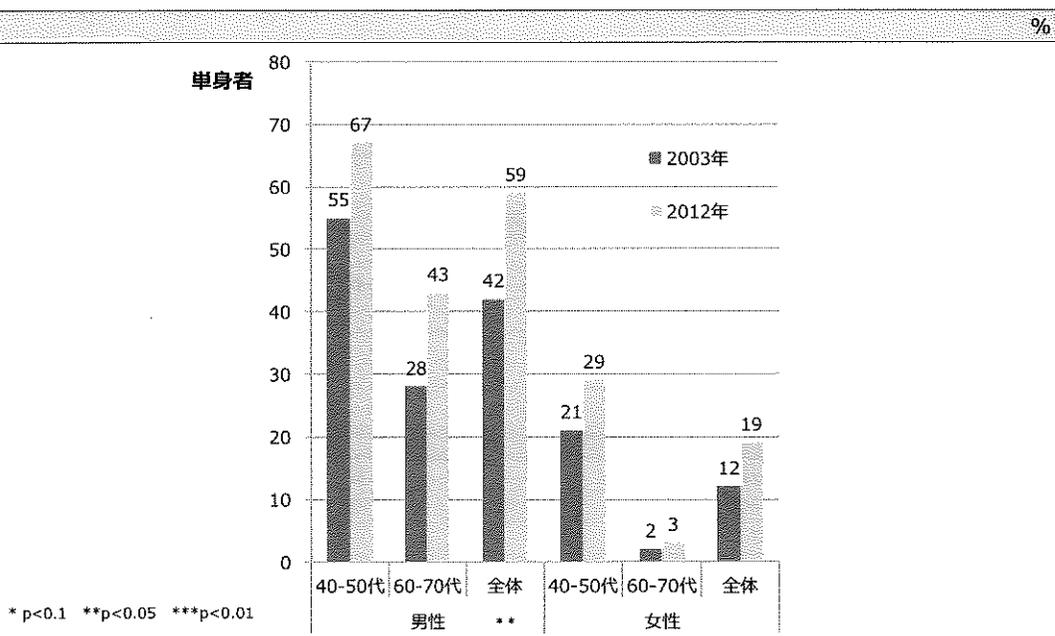
単身者の場合は、有配偶者に比べると活発だが、前回調査と比べて顕著な増加はない。全体でみた場合、男性は有意に増加していたが、女性は有意差がなかった。

3) よくする身体的触れ合い

表3をみると、有配偶者については両調査で差異が少ない。両調査とも性的な匂いが

少ない「肩もみなど」がトップである。ただ、男女とも「抱擁」が有意に増えた。また、女性のみ「ほとんどない」が40%と有意に増加しており、気になる場所である。年代別にみると60～70代で5割近くが「ほとんどない」としており、男性との差が目立つ。性交渉では「年数回の性交あり」の割合が60～70代男女で差が大きかった。能動的であるだけに男性が強く意識する触れ合いや性交も、受け身で関心が乏しい女性にとっては記憶に残らないということだろうか。

単身者の場合は交際相手のいる人に限り、相手との触れ合いについて聞いている。両調査で有意差のある項目はない。有配偶者に比べて、触れ合いの密度が高く、「ほとんどない」は両調査とも1割強であった。多少順位が変わるにせよ、両調査とも触れ合いのトップ3は「身体に触る」「手をつなぐ」「キスをする」であり、有配偶者との違いが際立った。



4) 配偶者以外の異性との交際

過去1年間に配偶者以外の異性との親密な付き合いがあったか否かを聞いた。表4は「あり」の割合で、男性はすべての年代で大幅に増加している。女性は50代、60代で有意に増加し、70代も増加傾向を示している。付き合いの内容としては、「性交渉を伴う関係」だけではなく、「愛撫を伴う関係」「精神的な愛情関係」「その他」が含まれている。2012年調査では「性交渉が主な関係」「売買春」も選択肢としてあげたが、男性は前者5%、後者4.2%であった。女性は前者0.9%のみである。

一方で、単身者について交際相手に配偶者がいる割合をみると、2000年調査では男性21%、女性で53%、2012年調査では男性33%、女性は56%だった。女性は大差ないが、男性は12ポイント増えており気になるところである。ただし、交際相手との関係性には「精神的な愛情関係」等も含まれており、性関係があるとは限らない。

配偶者間のセックスレス化は配偶者以外の異性との付き合いの増加に繋がっているのだろうか。「性交頻度」と「異性との付き合い」についてクロス集計をしたところ、表5のように男性は有意に差があり、セックスレス

	有配偶者				単身者			
	2000年		2012年		2003		2012年	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
肩もみ・指圧・マッサージなど	39	41	40	40	30	13	17	44
身体に触る	31	31	31	28	59	51	50	51
手をつなぐ	23	22	24	25	53	54	59	60
抱擁する	12	12	19	17	46	38	50	45
キスをする	16	16	18	16	49	56	52	50
腕を組む	12	14	13	16	31	34	30	32
肩を抱く	11	5	9	6	31	14	24	17
ほとんどない	29	29	31	40	10	13	13	10

	男性					女性				
	40代	50代	60代	70代	全体	40代	50代	60代	70代	全体
2000年	12	12	14	6	11	9	4	3	0	5
2012年	37	32	28	31	32	14	16	15	6	14
	***	***	**	***	***	***	***	***	*	***

	男性		女性	
	2000年	2012年	2000年	2012年
月1回以上の性交渉あり	7	23	5	13
1年間全くなし	18	39	9	14
	***	***		

*p<0.1 **p<0.05 ***p<0.01

の人のほうが異性との付き合いが多かった。女性は大差がなかった。女性の性が受動的であることと関係していよう。

2. 性的欲求について

性的欲求については、「若い頃と比べた性的欲求の強さ」(B17、C20)、「性交渉をしたかったと思った頻度」(B26、C23) (後者は大川論文で触れる) を聞いた。有配偶者については、さらに「配偶者との性的欲求の一致」(B19)、「配偶者との望ましい性的関係」(B18) を聞いている。

1) 若い頃と比べた性的欲求の強さ

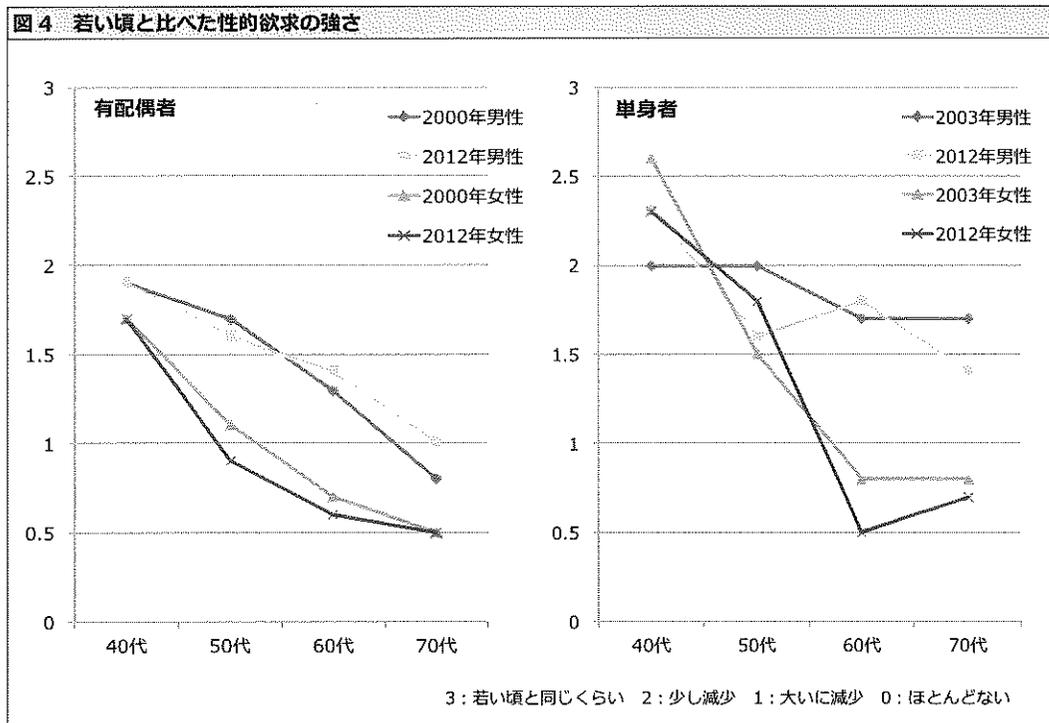
図4は「若い頃と比べた性的欲求の強さ」の回答を点数化し、平均値を示したものである。2012年調査の方が70代男性の性欲はやや活発化、50代女性の性欲はやや低下し

たという変化はあるが、ほぼ変わらない。男女とも年代ごとに低下しているが、女性は50代での低下が目立ち、50代以降の男女差が大きくなっている。

単身者の場合は、2012年調査の方が男性の性欲は40代は活発化、50代、70代は低下しており、女性は50代で活発化、40代、60代で低下している。有配偶者と比べて男性の年代による低下は少なく、女性は50代まで有配偶者より性欲を保持している。男女差が開くのは60代以降である。

2) 配偶者との性的欲求の一致

B19の表にあるように、男性は「相手の欲求が自分より乏しすぎる」、女性は「相手の欲求が自分より強すぎる」という回答が多いのが特徴である。これは前回調査と変わらない。前回調査との違いが目立つのは50



代で、男女とも「ともに同程度の欲求がある」が減少し、代わりに「ともに欲求がほとんどない」が増加している。前述した50代の顕著なセックスレス化に繋がる変化といえよう。とはいえ、男性は70代になって「ともに欲求がほとんどない」が4割前後で最多になるのに対し、女性は2000年調査では60代から、2012年調査では50代から「ともに欲求がほとんどない」が4～5割強で最多となり、ズレが目立つ。夫の欲求に妻は気づいていないと言えそうだ。

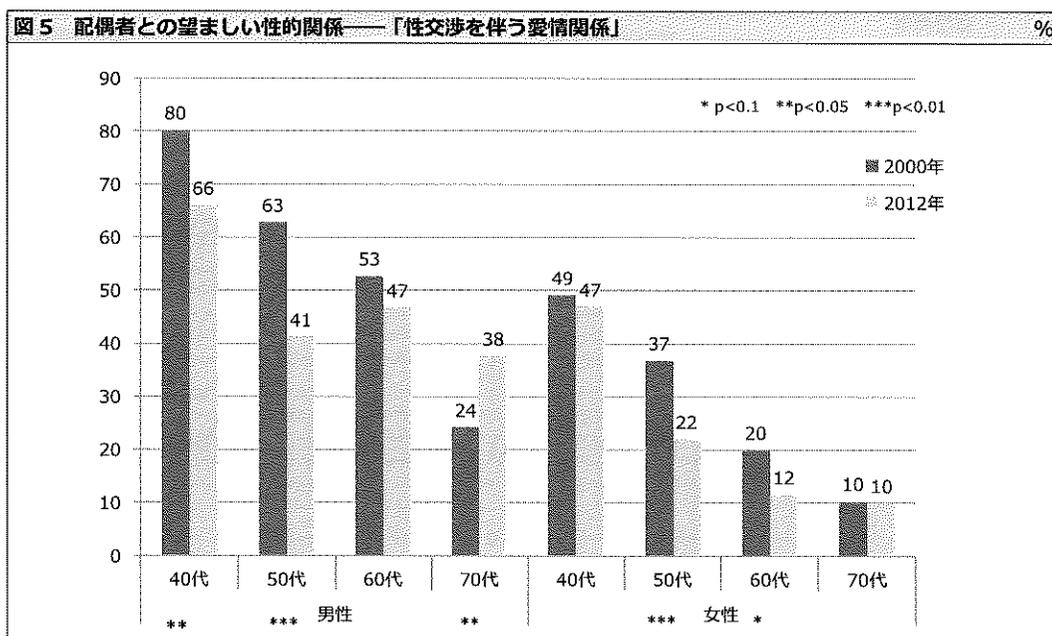
3) 配偶者との望ましい性的関係

配偶者とはどのような性的関係が望ましいか聞き、「性交渉を伴う愛情関係」を望む割合をみると図5のとおりだった。前回調査と比べて、男性は配偶者との性交渉を望む人が40代、50代で有意に減少、70代男では逆に有意に増加している。女性は50代で有意に減少、60代でその傾向がみられた。「愛

撫を伴う愛情関係」という選択肢もあるのだが、「性交渉」が減少した分、「精神的な愛情やいたわりのみ」が増加している。50代は男性は21%から42%に、女性は36%から55%への増加である。愛撫さえ望まないカップルが増加しているといえそうだ。また、両調査とも男女差が大きい。今回の調査でも女性は50代以降、55～67%が「精神的な愛情やいたわりのみ」でよしとしており、性交渉や愛撫を望む男性とのギャップが大きい。

3. 性的コミュニケーション・相手の理解

前述したような性的欲求を相手に伝えられているのか、相手の理解が得られているのか気になるところである。「性的感情や欲求について、相手に伝えたり話し合うことがあるか」(B21、C31)、「相手はあなたの性に対する欲求や身体の状態について分かっているか」(B22、C32)と聞いた。表6は「(た



とえ一方からでも) 伝え合うことはない」という人の割合である。

有配偶者は、前回調査と比べ男女とも40～60代まで、伝え合わない人が増えている。伝え合わなければ相手の理解は得られないと思われるが、女性は「分かっていない」群が増えていない。女性は別の設問で、50代以降、「性交渉がなく満足」という回答が42～57%あり、男性が無理強いせずセックスレス状態が維持できているため、コミュニケーションを必要とせず、分かってくれているとしている可能性がある。一方男性は40～50代で「分かっていない」群が増え、70代では逆に減少している。

単身者は、両調査とも「互いに伝え合う」という回答が7～8割を占め、有配偶者に比べて「伝え合うことがない」はごく少ない。

また、相手が「分かっていない」群も少ない。

4. 性生活についての意識・性規範

性生活についての意識としては「性生活の重要度」(B20、C21)、「性生活の満足度」(B25、C22、金子論文で触れる)を聞き、性規範としては有配偶者は「配偶者以外の異性との親密な付き合い」(B2)について、単身者は「配偶者のいる異性との親密な付き合い」(C5)について聞いている(堀口論文でも触れる)。

1) 性生活の重要度

円満な夫婦生活を営むために、性生活はどの程度重要と考えるか聞いた。表7は「重要である/どちらかといえば重要である」と考えている人の割合である。

前回調査と比べて、有配偶者は、50代、

表6 性的コミュニケーション——「伝え合うことはない」%

		男性					女性				
		40代	50代	60代	70代	全体	40代	50代	60代	70代	全体
有配偶者	2000年	28	36	36	50	37	31	44	51	54	41
	2012年	43	60	53	55	53	45	56	70	61	58
		**	***	**		***	***	**	***		***

		40-50代			60-70代			全体		
単身者	2003年	17			8			12		
	2012年	28			6			22		
		40-50代			60-70代			全体		
		4			6			5		
		6			0			5		

*p<0.1 **p<0.05 ***p<0.01

表7 性生活の重要度——「重要とする群」の割合%

		男性					女性				
		40代	50代	60代	70代	全体	40代	50代	60代	70代	全体
有配偶者	2000年	79	71	72	61	71	69	58	57	46	61
	2012年	71	53	54	64	61	59	44	30	44	44
		***	***	***		***	*	**	***		***

		40-50代			60-70代			全体		
単身者	2003年	76			73			75		
	2012年	80			63			74		
		40-50代			60-70代			全体		
		47			40			45		
		58			22			43		

* **

*p<0.1 **p<0.05 ***p<0.01

60代は男女とも重要視する人が有意に減少し、40代女性にもその傾向が認められた。女性は50代以降は結婚生活において性を重視する人が5割に満たなくなった。70代は男女とも減少傾向が見られず、結婚生活における性の位置づけが変化していないことが分かる。

単身者の場合は自分にとっての性生活の重要度を聞いた。男性は大差なく、女性は40～50代で重視する人の増加傾向がみられ、60～70代では減少した。

有配偶者、単身者とも女性より男性の方が性を重視している。

2) 性生活の満足度

性生活の満足度については、詳細は金子論文に譲り、簡単に触れる。性生活上に不満をもつ人の割合について両調査を比較すると、有配偶者の場合、女性は大差ないが、男性は

不満をもつ人の増加が目立った。内容は「性交渉がなく不満」の割合が多く、セックスレス化が男性の不満につながっていると思われる。

単身者は男性は大差はなく、不満をもつ女性がやや増加した。有配偶者、単身者とも男性の方が不満を抱えている人が多い。

3) 性規範

有配偶者については「自分が配偶者以外の異性と親密な付き合いをすることについてどう思うか」を聞いた(表8参照)。前回調査と比べ、「付き合うべきではない」という意識は男女ともに有意に低下している。男女ともに「性的な関係がないならかまわない」「性的な関係があっても家庭に迷惑がかからないならかまわない」という意識が増加している。特に後者の増加が目立ち、男性は「付き合うべきではない」の割合より多く、3人に1人

表8 性規範——「自分が配偶者以外の異性と親密な付き合いをすることについて」 %

有配偶者		男性			女性	
	2000年	2012年	2000年		2012年	
付き合うべきではない	45	28	***	55	49	**
性的な関係がないならかまわない	21	26	*	24	30	**
家庭に迷惑がかからないならかまわない	17	33	***	6	14	***
家庭に迷惑がかかっても仕方がない	1	0		0	0	
付き合うのが自然だ	8	9		8	6	
無回答	9	3		7	2	

単身者		男性			女性	
	2003年	2012年	2003年		2012年	
付き合うべきではない	31	30		44	37	
性的な関係がないならかまわない	25	20		19	18	
家庭に迷惑がかからないならかまわない	26	28		16	25	**
付き合うのが自然だ	13	21		14	17	
無回答	5	1		8	3	**

注) 2003年調査については回答「その他(複数回答を選択)」をカットした人数・%

*p<0.1 **p<0.05 ***p<0.01

の意識となっている。

単身者についても「自分が配偶者のいる異性と親密な付き合いをすることについてどう思うか」を聞いた(表8参照)。前回調査と比べ、男性は大差なく、女性は「性的な関係があっても家庭に迷惑がかからなければかまわない」が有意に増加した。

2012年調査についてみると、男性は有配偶者と単身者の差がなくなってきている。女性はまだ有配偶者の方が性規範は厳しい。

IV まとめと考察

1. 配偶者間のセックスレス化

セクシュアリティ研究会で実施した3つの調査をもとに、40歳から79歳までの有配偶者、単身者の性生活を中心にみてきた。その結果、この10年間前後で、大きく変わったのは夫婦間の性生活であり、セックスレス化であった。性的欲求に関する設問の結果を見る限り、性的欲求自体が減少したとは思われず、性行動としては夫婦間の性交渉の代わりにマスターベーション頻度が大幅に増加し、また、配偶者以外の異性との付き合いが増加していた。

中高年のセックスレス化は日本に特有の傾向であろうか。米国と韓国の比較的新しい高齢者対象の性調査における性交頻度を見てみたい。

① Trompeter SEらは、2002年に質問紙による調査を実施⁵⁾。対象はカリフォルニアの一地域に在住する40歳以上の女性806人。この1か月以内に性交渉があったのは49.8%(平均年齢58.7歳)である。

この中には単身者も含まれているので、有

配偶者に限ると割合は多少アップし、筆者らの実施した2000年調査の結果と大差ないだろう。

② Tessler SLらは、2005年～2006年にかけて面接調査を実施⁶⁾。対象は57～85歳のアメリカ人3,005人(男性1,455人、女性1,550人)。過去1年間に性交渉があった割合は、男性は57～64歳では83.5%、65～74歳では67%、75～85歳では38.5%、女性は57～64歳では61.6%、65～74歳では39.5%、75～85歳では16.7%であった。

男性は有配偶者が7～8割を占め、女性は67～37%なので有配偶者に限ると女性の割合はもっと高くなるだろう。配偶者間の性交渉に限定した数値ではないので厳密な比較は難しいが、頻度も併せて見ると筆者らの2000年調査と比べても活発である。

③ 韓国のJeong HCらは、2009年に質問紙による調査を実施⁷⁾。対象はソウル在住の60歳以上の453人(男性154人・平均年齢74.5歳、女性299人・平均年齢73.4歳)。男性は38.3%が月1回以上の性交渉(平均月に2.03回)をもっていた。年代別にみると60代62.5%、70代38.4%、80代15.3%である。女性は12.4%に月1回以上の性交渉があった。

男性は有配偶者がほとんどであり、女性は45.5%なので、有配偶者に限れば割合はほぼ2倍になる。この調査も配偶者間の性交渉に限定していないが、女性の割合から推測すると、やはり筆者らの2000年調査と比べてやや活発である。

夫々の調査に前回調査との比較はなく明確にはできないが、少なくとも①と②の比較で

は、セックスレス化の兆候は伺えない。

筆者らの調査は主に関東圏在住者が対象だが、宮城県で性調査（40代以下を含む）をした村口もセックスレス化を指摘している⁸⁾。また、北村らの実施した「男女の生活と意識に関する調査」では、婚姻関係にある回答者のセックスレスの割合が2004年31.9%、2008年34.6%、2010年40.8%、2012年41.3%と増加している⁹⁾。これは対象者が16～49歳と若い、日本では若いカップルも含め、セックスレス化が進行していると言えそうだ。

さて、ではなぜ、このようにセックスレス化が進んだのであろうか。中高年者についてセクシュアリティ研究会で実施した調査からは、以下のようなことが背景要因として浮かび上がってきた。

①夫婦間における性の位置づけ・性規範の変化

かつての性道徳では、性の主目的は子供を産むことであり、結婚という枠組みの中で許容されるものであった。結婚した夫婦をつなぐ大切な絆としての位置づけがあり、夫の求めに従うのは妻の役割であるという意識があった。第二次大戦後、このような考え方は徐々に薄れ、性の目的は好意を抱き合うカップルにとっての愛情の確認や快楽といった側面が強くなり、結婚したものの特権ではなくなっていく。「妻の役割」という意識も年代と共に薄れている（堀口論文参照）。しかしなお、夫婦にとって絆を確認する大切な営みである点が変わらないと思っていたが、今回の調査では特に50代、60代の変化が大きく、性生活を重要と考えない人が増加していた。70代だけは性生活の重要度やその他の設問で他の年代と一線を画して変化が少な

かった。かつての性についての考え方が色濃く残っている年代といえるかもしれない。

さらに夫婦間での性の位置づけの希薄化と呼応するように性規範も緩む方に変化し、配偶者以外の異性との付き合いを容認する人が増えていた。夫婦間の大切な営みとしての位置づけが崩れたら、配偶者以外との性を容認する方向に向かうのは自然の流れといえるのではないだろうか。

このような性についての位置づけ・性規範の変化も影響してか、配偶者との性交渉を望む人は減少していた。これには夫婦の関係性も大きく影響していると思われる。

②夫婦の関係性的変化

結婚生活の満足度、配偶者への愛情などをみると、全体としては8割～8.5割が肯定的であるものの、否定派が増えていた（石田論文参照）。前回調査に比べ、一部を除いて男女ともに否定派の数値が多くなっており、離婚願望も増えていた。また、寝室は別の人の割合が増えており、全体では3人に1人が別室だった。性的コミュニケーションも40～60代は減少していた。

興味深いのは、今回男性の否定派が増え、女性との差が少なくなったことであった。不況が続いた近年の社会状況も影響してか、現在就労している女性は40代88%、50代77%で前回調査より有意に増加している。バブル時代は仕事に追われ家庭を顧みなかった男性が、不況により、意識が内向きに家庭重視になり安らぎを求めようとする、しかし、妻は仕事をもって忙しく応えてくれない。家庭内での妻の力も強くなった、そんな状況もあるのではないだろうか。

ともあれ、夫婦の関係性は幾分否定的に変

化し、セックスレスの増加の一因になっていると考えられる。あるいは、セックスレスの増加によって、夫婦の関係性が否定的に変化したのかもしれないが。

③女性の意思が強く反映

配偶者との「性交渉を伴う愛情関係」を望んでいる人が実際に性交渉をもっているのか、「配偶者との望ましい関係」を性交頻度とクロスしてみた。その結果、性交渉を望んでいて実際に「月1回以上」性交渉をもっているのは、2000年調査では男性78%、女性79%、2012年調査では男性44%、女性68%だった。男性は34ポイントも減少している。女性も11ポイントの減少であるが、男女差が大きい。性交の有無には女性の意思が強く反映していることが伺われる。50代におけるセックスレスの急増も、女性の更年期という生理的变化の影響を一層強く反映するようになったことを示している。

なお、前回調査では性交渉を望んでいて実際に「月1回以上」性交渉をもっている男女の割合は前述のようにほぼ同じであり、「年数回」の人もいて、「全くない」は6%だった。しかし、今回は男女差が大きく、「全くない」が男性27%、女性16%に増えていた。夫婦の一方が性交渉を望んでいても、相手は受け入れない、あるいは相手に求められないカップルが増えたと考えられ、関係性の揺らぎはこの点でも認められる。

2. 有配偶者と単身者の性生活におけるボーダーレス化

単身者の性生活は2003年調査と2012年調査では大きく異なることなく、結構活発であった。性が「結婚」の枠外で許容されるよ

うになり、単身者も活発な性生活を営み得るという意味では、12年前にすでに有配偶者も単身者もボーダーレスであった。

しかし、今回調査では、さらに結婚が性生活を保障するものではなく、夫婦といえども「互いの合意」が優先される。その意味でも単身者と変わることがないとの印象が強まった。また「夫婦間の性」を尊重する性規範が薄れ、配偶者以外との付き合いが目立って増えていた。家庭は壊したくない、「家庭に迷惑がかからなければ」という制約が付くものの、夫婦としての契りを乗り越える軽やかさにも、単身者とボーダーレスになってきたとの兆候をみる思いである。

3. 今後に向けて

配偶者間のセックスレス化が進んだ背景には既述したような要因が考えられる。しかし、直接的な要因は女性が自分が望まない性に対してはっきり「ノー」の意思表示をするようになったためだと思われる。過去には、夫の求めを拒否できず意に反して性生活をしてきた女性も多いことを考えると、性を挟んで男女がより対等な関係を結ぶことができるようになったという点ではプラスだといえよう。しかし、男性が不満を抱き、マスターベーションで性欲を解消し、一部は他の異性との付き合いに向かっていくとしたら……。近年のネット社会は私たちの生活を変えた。日常生活を超えて様々な人と繋がることのできるようになった。配偶者以外の異性と付き合うことも格段に容易になったといえよう。また、マスターベーションの材料はネット上に幾らでもある。配偶者の気持ちに寄り添う努力をし、手間暇かけて性を求めるよりマスター

バージョンの方が手軽でいいということになりかねない。果たしてそれでいいのか。

夫婦の関係性で性を核としなくなったら、それに代わる核はあるのか。夫婦は長年生活を共にしてきた同志、戦友としての絆で結ばれ、性は他で満たすという関係でよしとするのか。さまざまな疑問が浮かび上がってくる。

50代以降、女性は性交痛などの性障害が生じやすくなる。男性も徐々に勃起不全が生じやすくなる（大川論文参照）。何も挿入を伴う性交渉に固執することはない。触れ合い・愛撫を主にした性交渉でいい。関係性の中で肌の触れ合いがあるか否かで関係性の質は変わってくるのではないかと。筆者は「高齢者の性とケア」も研究テーマとしているが、要介護状態の高齢者の性の諸問題をみてみると、肌の触れ合いがいかに大きな癒しの効果をもつかに気付く。さまざまなものを失っていく老年期に肌の触れ合いは維持したい。

女性たちの「ノー」には、今までの男性本位の一方通行の性に対する「ノー」の意味合いが強いのではないか。そうだとしたら、次のステップは女性にとってより満足のいく性生活を築くことではないか。そのためには女性自身がより主体的に、自分の求める性を相手に分かってもらう努力をする必要がある。

単身者の場合、交際相手との関係で身体的な触れ合いが多く、性的コミュニケーションが豊かで、性交渉の内容は女性にとって満足度の高いものになっていた（金子論文参照）。交際相手と非日常的に男・女として向き合う単身者と、相手と日常生活を共にし、子どもや老親等、家庭の問題が中心になり、男・女として向き合うことが容易ではない有配偶者

を同列に比較することはできない。しかし、望ましいのはやはり、互いの思いを伝えあい、夫婦互いが納得のいく性生活を築いていくことではないだろうか。

あるいはそれ以前の関係性の問題も大きいかもしれない。ワークライフバランスを無視した働き方を強いる日本社会全体のありようが男性から家庭や妻の思いにエネルギーを傾ける余裕を奪ってきたという経過があり、さらに働く女性が増えたにもかかわらず、家事育児の負担は女性に偏り、女性の負担は大きくなりがちだ。女性にはそのような状況の中で蓄積してきた不満がある上に、男性は仕事からリタイヤしてもまだ当然のこととして家事や身の回りの世話を妻に依存するが多い。女性たちの「ノー」にはそんな男性のあり様にも向けられているかもしれない。男性も意識を変えていくことが必要だろう。

それとも、配偶者間の性に固執することはない、と考えるのか。配偶者は人生の同志として大切に思うものの、子育て後の性はより自由な男女の関係性を許容するのか…。個々の夫婦に委ねられた課題かもしれない。

文献

- 1) 荒木乳根子他：中高年夫婦のセクシュアリティ 特にセックスレスについて——2000年調査と2012年調査の比較から：日本性科学会雑誌 Vol.31: 27-36, 2013
- 2) 日本性科学会セクシュアリティ研究会（代表・荒木乳根子）：中高年のセクシュアリティ——男女のパートナーシップの現状について：日本性科学会研究会誌 Vol.12, No.1: 2-18, 2000

- 3) 日本性科学会セクシュアリティ研究会 (代表・荒木乳根子) : カラダと気持ち ミドル・シニア版. 三五館, 東京, 2002
- 4) 日本性科学会セクシュアリティ研究会 (代表・荒木乳根子) : カラダと気持ち シングル版. 三五館, 東京, 2007
- 5) Susan E Trompeter, Ricki Bettencourt, Elizabeth Barrett-Connor: Sexual Activity and Satisfaction in Healthy Community-dwelling Older Women. *Am J Med.*: 125(1): 37-43. el., 2012
- 6) Stacy Tessier Lindau, L.Philip Schumm, Edward O. Laumann; et al.: A Study of Sexuality and Health among Older Adults in the United States. *N Engl J Med.* 23: 357(8): 762-774, 2007
- 7) Hyun Cheol Jeong, Sin Uk Kim, Wan Chul Lee; et al.: Sexual Behavior of the Elderly in Urban Areas. Published online. doi: 10.5534/wimh. 2012. 30. 3. 166, 2012
- 8) 村口喜代 : 性の関係性を問う : 季刊セクシュアリティ No.66: 50-56, 2014
- 9) http://www.koshu-eisei.net/upfile_free/20130118kitamura.pdf

3

単身者の性に関する考え方と規範意識

～ 2003年調査と2012年調査より～

主婦会館クリニック

堀口貞夫

はじめに

中高年のセクシュアリティに関する 2012 年調査の結果の一部（セックスレスと性に関する認識と規範意識）は当学会誌 31 巻 1 号 27 頁¹⁾と 37 頁²⁾に発表した。

今回は、単身中高年者の 2003 年調査³⁾⁷⁾と 2012 年調査の性に関する認識と規範意識の比較検討を行った。年齢階級別の調査対象数は表 1 のごとくである。年齢階級や性別によって調査対象の多寡に差があり、とくに

2012 年調査の 60 歳代の男性と 70 歳代の女性が 15%前後と少ないことを考慮する必要がある。

単身者の結婚歴については表 2 のごとくで、若い世代では未婚者が多く、死別は高齢者に多いが離婚については明らかな傾向は見られず、調査数が多くないこともあり、10 年間の変化としての検討は行わなかった。

調査法について

		40代	50代	60代	70代	合計
2003 年調査	女性単身者	65 (24.7)	86 (32.7)	52 (19.8)	60 (22.8)	263 (100.0)
	男性単身者	38 (26.2)	33 (22.8)	37 (25.5)	37 (25.5)	145 (100.0)
2012 年調査	女性単身者	67 (32.4)	55 (26.6)	50 (24.2)	35 (16.9)	207 (100.0)
	男性単身者	37 (49.2)	23 (25.0)	13 (14.1)	19 (20.7)	92 (100.0)

		女性				男性			
		40代	50代	60代	70代	40代	50代	60代	70代
2003 年調査	未婚	49.2	45.4	25.0	8.3	76.3	42.4	8.1	0.0
	離別	41.5	32.6	26.9	13.3	21.1	39.4	35.1	18.9
	死別	9.2	19.8	48.1	75.0	2.6	18.2	54.1	78.4
	NA	0.0	2.3	0.0	3.3	0.0	0.0	2.7	2.7
2012 年調査	未婚	68.7	30.9	24.0	2.9	67.6	56.5	38.5	5.3
	離別	29.9	50.9	30.0	8.6	29.7	26.1	46.2	31.6
	死別	1.5	18.2	46.0	88.6	2.7	13.0	15.4	63.2
	NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.4	0.0	0.0

調査の時期、対象、方法、調査票の構成などについては、セクシュアリティ研究会代表の荒木乳根子論文に述べられているが、本稿では、2003年調査の単身男女408例、2013年調査の男女299例の調査票を用いて分析した。

2000年調査、2003年調査の経験から、2012年調査では被調査者が記入の際に、単身者用頁を選んで記入する方法をとったが、調査数を多く獲得するのは相当程度に困難であった。

結果

1. 性に関する意識の変化1

(2003年、2012年調査)

調査用紙の2003年の「B1性に関する以下の考え方について」および2012年の「C3性に関する以下の考え方について」の設問に「はい」「いいえ」の二者択一で答えて頂いた。全体としての特徴的変化は2013年調査にお

いては、男女とも no answer が2002年調査の1/2-1/3に減ったことである。

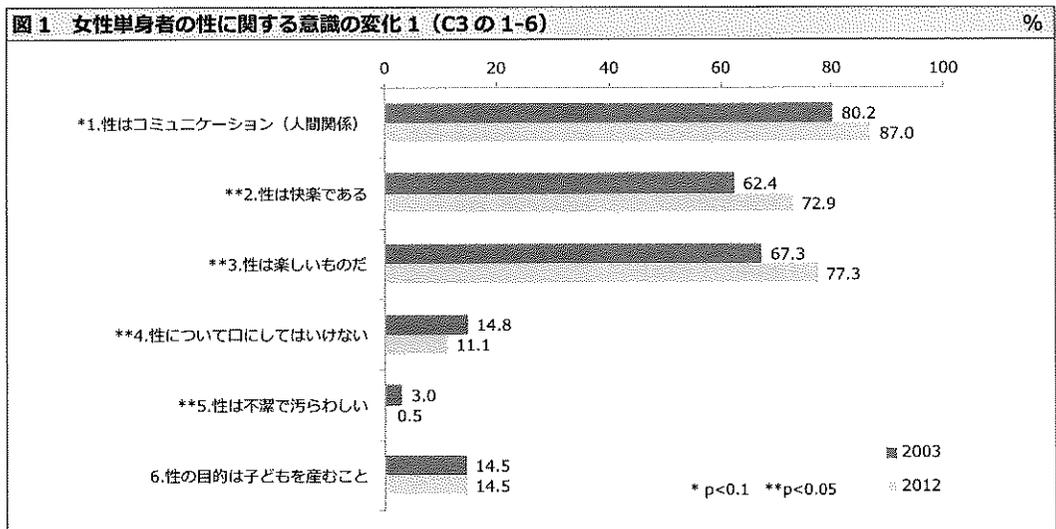
内容的には、まず17項目のうち1~6の性を肯定的に捉えているか、否定的に捉えているかに変化があるかどうかを検討した。

A) 女性 (図1、本誌II-3-C3表を参照)

2003年でも六割以上の女性が性はコミュニケーションである、快楽である、楽しいものだ、と捉えていたが、十年後の2012年には有意(p<0.05)に増加し七割を超えている。また「口にしてはいけない」、「不潔で汚らわしい」と否定的に捉えている女性は15%以下であるが更に有意(p<0.05)に低下している。生殖の性という捉え方は、調査対象が40歳以上ということもあって14.5%でありこの10年間で変化は見られない。

B) 男性 (C3)

2003年調査でも凡そ八割を超える男性が楽しいものなど肯定的に捉えており、性について口にしてはいけないとか不潔で汚らわしいとするものは10%以下である。この十年



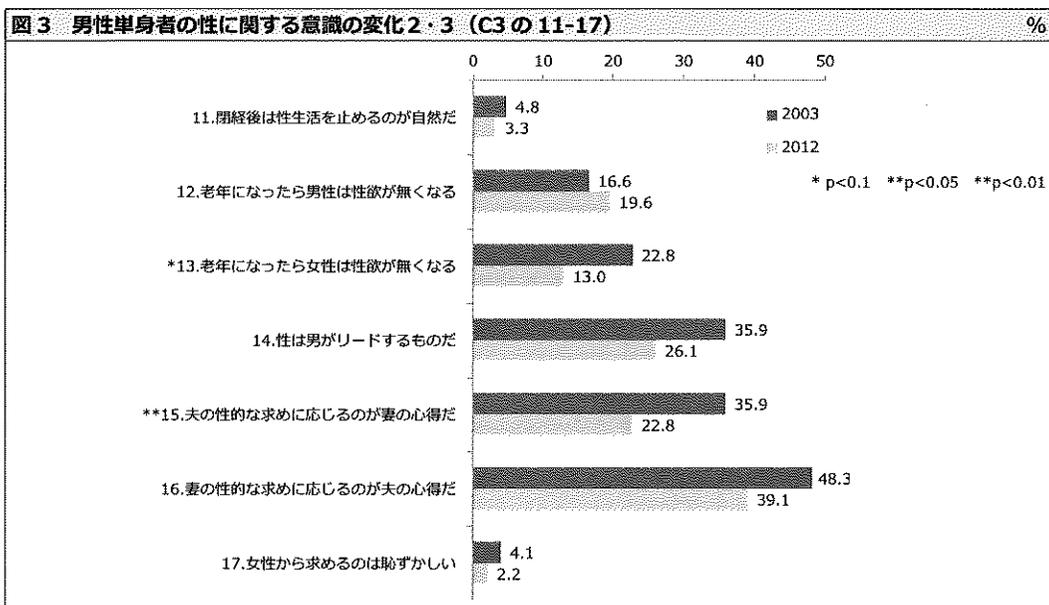
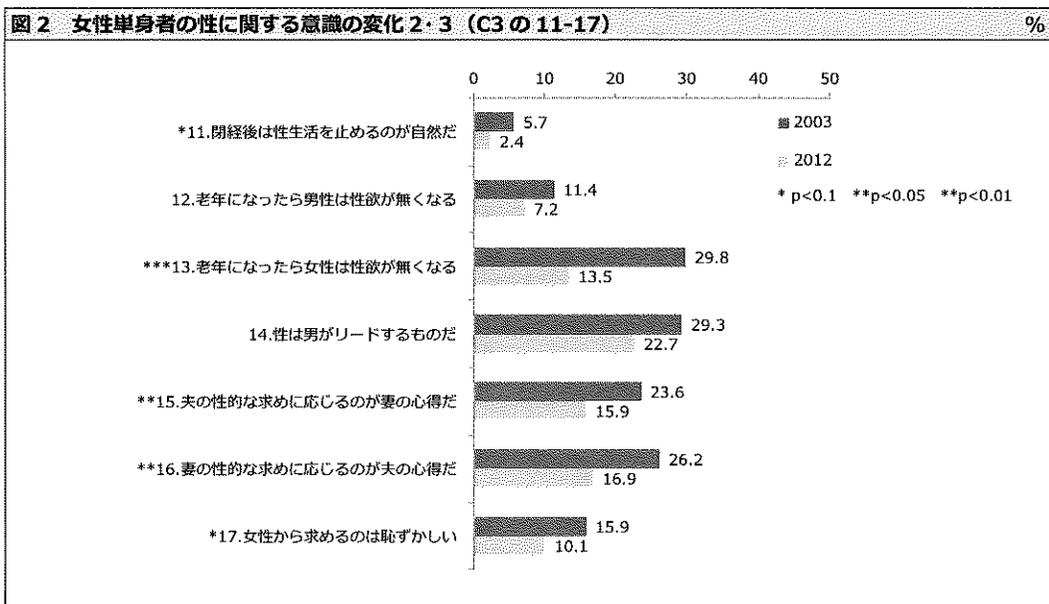
で性を肯定的に捉える人が増加の傾向があるが有意の変化はない。「性は子孫を残すためのもの」という考えは女性よりも強く 2012年には 23%に達しており、特に 40-50 歳代は 26.7%である（子孫を得ることへの期

待が強いのは既婚者でも同様であった）。

2. 性に関する意識の変化 -2

(加齢による変化、図 2、図 3、C3)

設問の B1 および C3 の「11. 閉経以後は



性生活早めるのが自然だ」、「12. 老年になったら男性は性欲がなくなる」、「13. 老年になったら女性は性欲がなくなる」などについては、2012年調査ではそのように考えているものは男女とも20%以下であった。男性では此の十年間に有意の変化は認められなかったが、女性では13が有意の減少 ($p<0.01$) と大きな意識の変化があった。

しかし、11については女性が、13については男女とも加齢による性的欲求の低下があると考えるものは減る傾向がある。即ち加齢によって勃起不全や膣分泌物の減少などの身体的な変化はあっても、且つて言われたように加齢により「枯れる」とか「性欲が低下する」とは考えていないということである。

3. 性に関する意識の変化 3

(ジェンダー意識、図2、図3、C3)

C3の「14. 性は男性がリードするものだ」「15. 夫の性的な求めに応じるのが妻の心得だ」「16. 妻の性的な求めに応じるのが夫の心得だ」「17. 女性から求めるのは恥ずかしいことだ」について。

全データ中のⅡ-3-C3表のごとく男性は14について36%、15について36%、16について48%がそうだと思っているが、十年後には減少の傾向が見られ、特に15では有意 ($p<0.05$) の減少であった(図3)。女性はそうだと思うものは30%、24%、26%であり15、16に関しては有意水準0.05でこの十年で「……するべきだ」という考えは減ってきている(図2)。

しかし、「17. 女性から求めるのは恥ずかしい」と思っている女性は一割位あるが、男性でそのように考えているものは2%であ

り、女性と比べて有意 ($p<0.05$) に少ない。男女ともこの十年間でこのような考え方は減少しているが、有意の減少とは言えない。

4. 性に関する意識の変化 -4

(性行動についての規範意識の変化、図4、図5、C3)

C3の7~10は規範意識を聞くものとなっている。

「7. 結婚や婚約なしで性的な関係を持つのはよくない」と考えているものは男性では12%、女性でも15%であり、この10年で大きく減少しているが、特に女性では平均で26%から15%へと有意 ($p<0.01$) に減っている。男性も十年間に減っているが有意な減少ではない。女性では60-70歳代のグループでも七割は容認している。

「8. 愛情があれば性的関係をもってもよい」「9. 互いの合意があれば性的な関係を持ってもよい」と考えるものは男性では元々(10年前から)八割を超えており、最近になって有意に増加して来た訳ではない。女性では「8. 愛情があれば性的関係を持ってもよい」と考えるものも六割強から七割強へと増加傾向を示しており、更に、「9. 合意があればよい」というものが八割弱へと有意 ($p<0.01$) に増加している。以上のごとく、性に関わる意識・規範意識は緩やかになっているが、特に女性においてその変化は大きい。

売買春に対する許容度が男性と女性で大きく差があることも改めて示された(図6)。「10. 売買春は悪いことだ」について女性は2002年調査でも、40-50歳代78%と60-70歳代75%が、2012年調査でも40-50歳代と60-70歳代ともに84%がこの考え方に賛意を表している。これに対して男

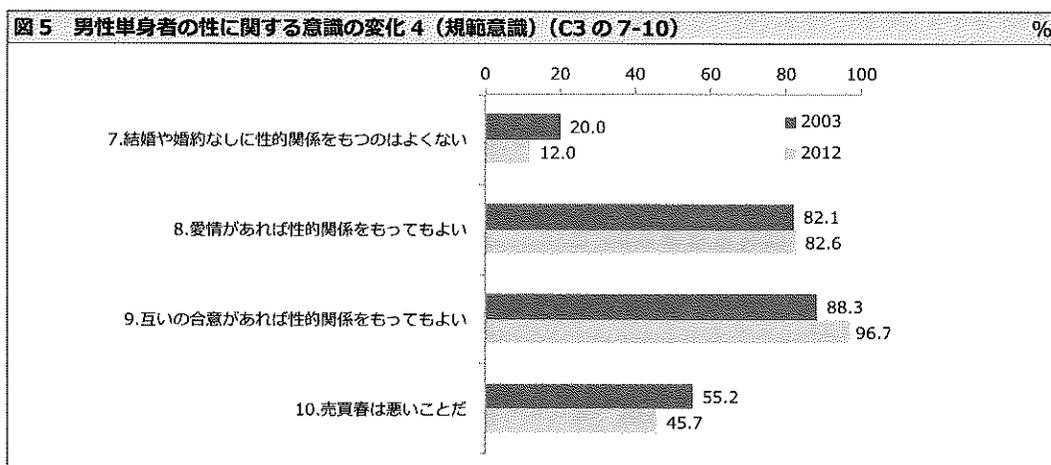
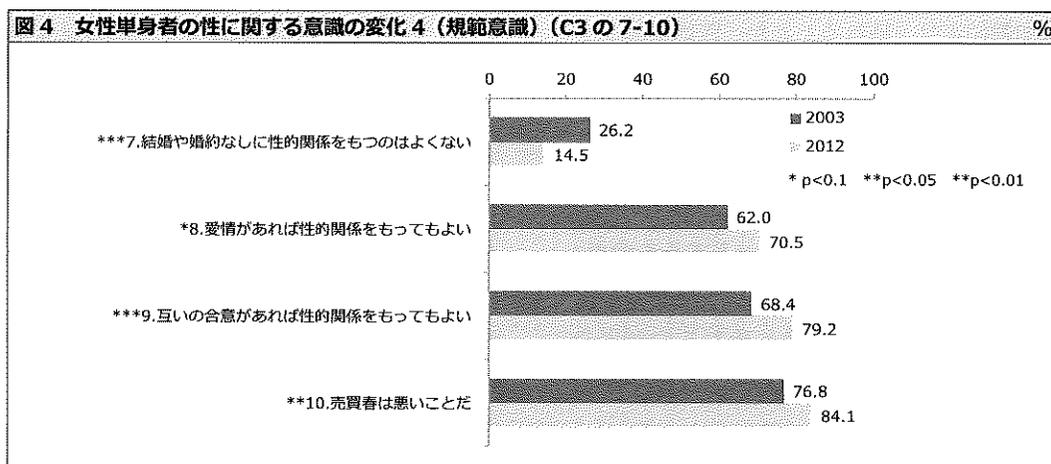
性では2003年調査では40-50歳代52%と60-70歳代58%が「売買春は悪いこと」としているが、2012年調査ではそれぞれ40-50歳代45%、60-70歳代47%と「売買春は悪いこと」とするものは、むしろ減少傾向を示している。

5. 性に関する規範意識の変化 (C4、C5)

1) 単身者の性に関する規範の変化 (C5)

「配偶者のいる異性と親密な付き合いをすることをどう思うか」について“一般論とし

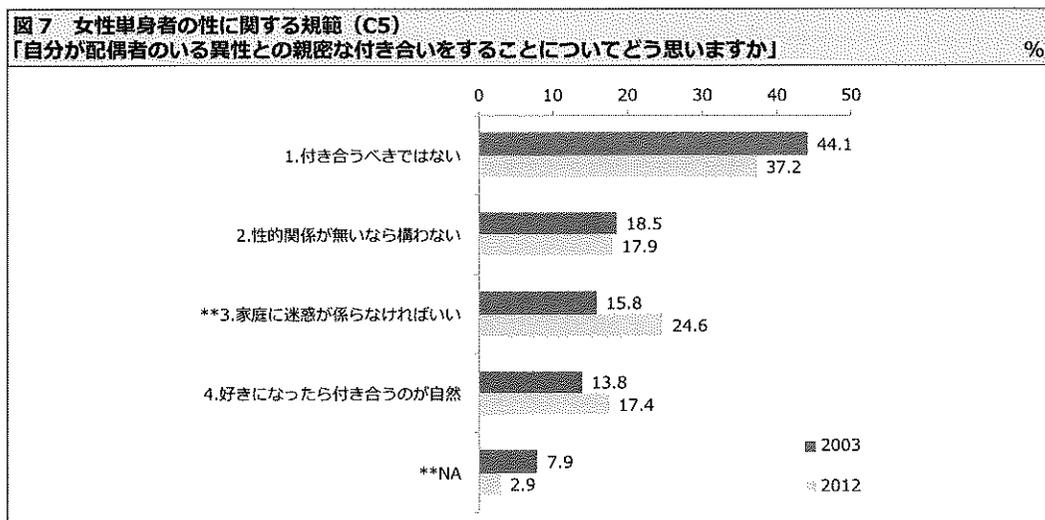
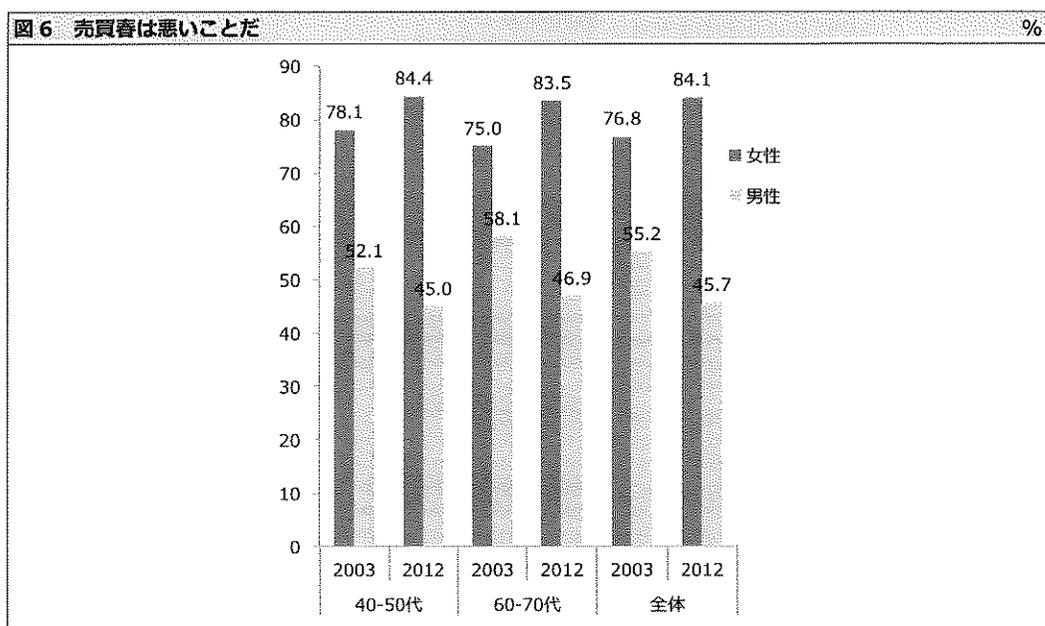
て”と“自分自身の場合”とを質問しているが、前者については、2003年調査と2012年調査とで質問の文言が異なるために経時の変化については後者のみについて検討する。あなた自身が配偶者のいる異性と親密な付き合いをすることについて四者択一 (C5) で質問した。2003年調査では「家庭に迷惑がかかっても仕方がない」という選択項目があったが、単身者の男女408名でこの項目を選択した人は一人も居なかったのでこの項目を除外して検討した。

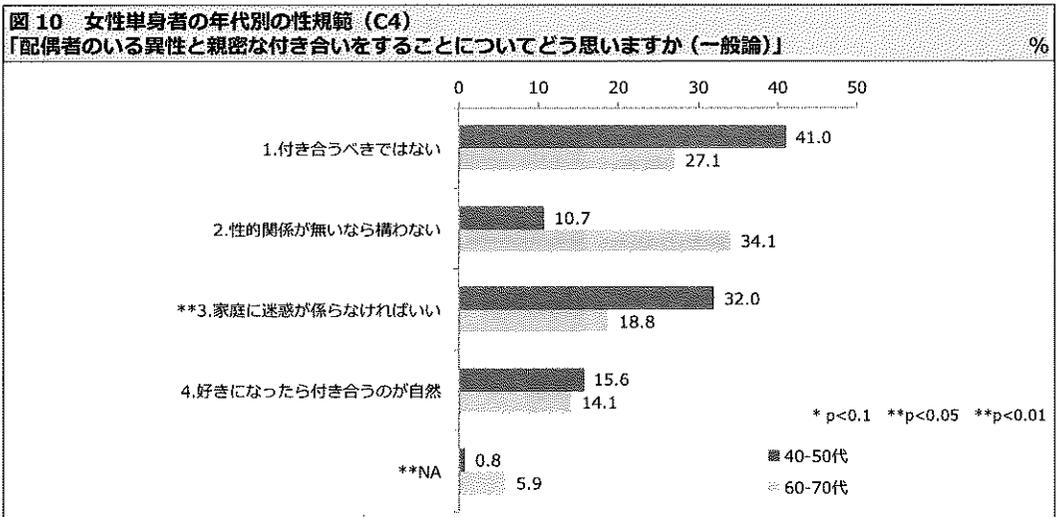
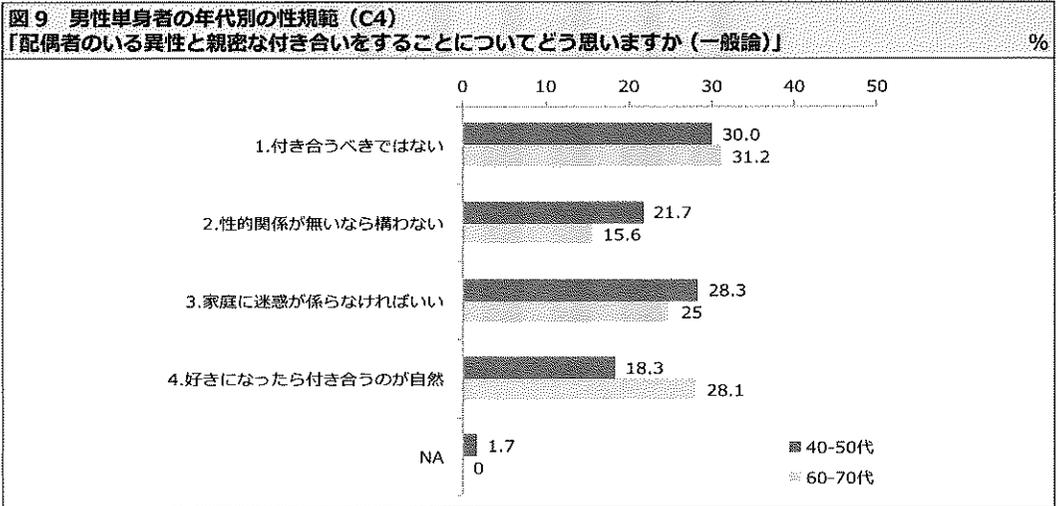
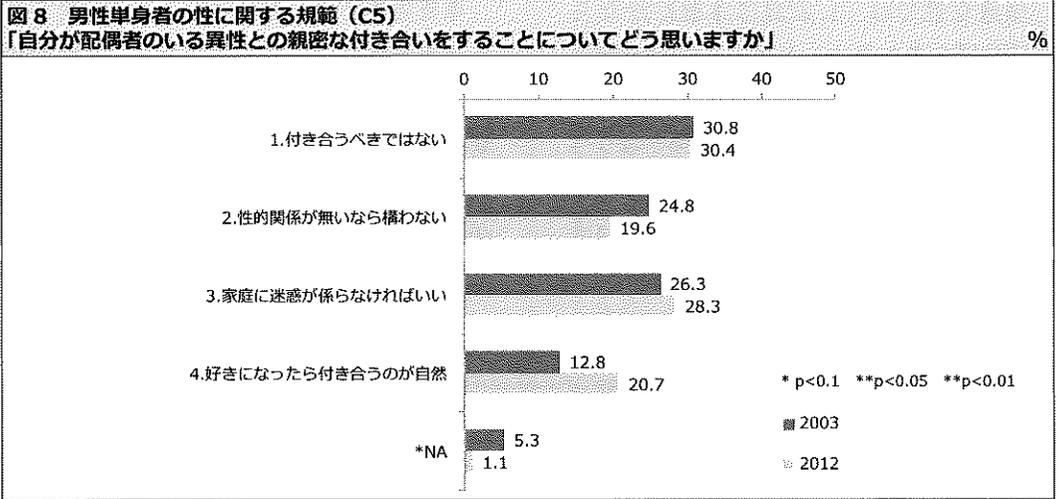


単身女性では「1. 家庭に迷惑がかからなければかまわない」とするものが有意に ($p<0.05$) 増加している。他の三項目については有意の変化ではないが、「1. 付き合うべきではない」は減少し、「4. 好きになったら付き合うのが自然」「2. 性的関係がなければかまわない」は変化なしであった (図 7)。

単身男性では、これに対して「1. 付き合うべきではない」は変化がなく「2. 性的関係がないならかまわない」は減少し「3. 家庭に迷惑がかからなければ良い」と「4. 好きならば付き合うのが自然」は増加しているが、いずれも有意の変化ではない (図 8)。

なお no answer は男女とも 2012 年は減





少し3%、1%である。

2) 一般論としての「配偶者のいる異性との親密な付き合いについて」(C4)

先述のごとく経時的変化ではなく、2012年調査における年齢階級別(中年=40-50歳代、老年=60-70歳代)と男性・女性での比較検討を行った。

単身男性では(図9)、三割の人が付き合い方ではないと考えており、様々な程度での親密な付き合いを容認している人が夫々18~28%であり、年齢階級別には大きな差は認められない。

一方、単身女性では(図10)高齢グループにおいて「付き合い方ではない」とするものは有意に($p<0.05$)少なく、「性的関係がなければかまわない」と容認するものが中年グループより有意に($p<0.01$)多い。それに対して中高年グループでは「家庭に迷惑がかからなければかまわない」と考えるものが、高齢者グループより有意に($p<0.05$)多く三割に達している。そして「性的関係がなければかまわない」とする者は高齢者グループで著しく多い。これは高齢グループ(60-70歳代)の単身女性では死別された方が五割を超えている(表2)ことも微妙に関わっているかもしれない。

6. 性の意味 (C6)

14項目あり。3項目まで選択可の設問。

調査時点で単身であった者にとっての「性の意味」あるいは「性の目的」はどのようなものか(図11)。「1.愛情表現・愛情の確認」と考えるのは女性に多く、「4.肉体的充足・快楽」や「8.生き甲斐・活力剤」と考えるものは男性に多くいずれも有意の差であっ

た。10年後にはこの「1.愛情表現・愛情の確認」の男女間の有意差は見られない。この10年間に女性ではいずれの項目も有意の変化は見られなかった。男性では「2.触れ合い・コミュニケーション」としたものが有意($p<0.01$)に増加、「8.生き甲斐・活力剤」というものが有意($p<0.05$)に減少している。

考察

これまで性に関することは医療の中でも、タブーという程ではないにしても多く触れられることはなかった。しかし生きている限り、産婦人科の日常診療においても日々の生活の中においてもセクシュアリティと無関係ではあり得ない。

2000年に行った中高年のセクシュアリティに関するアンケート調査から十年を経過して性についての考え方や規範意識の変化を単身者について検討したが、1で触れたようにアンケートへのno answerの率が減ったことだけから見ても自分の性についての意識を表出することへの抵抗は少なくなっていると考えられる。そして性行動のもっている三つの要素のうちの根源的な【生殖の性】から離れ、より深く親密な関係性を作る【コミュニケーションの性】とその延長上に存在する究極的にはオーガズムも含む【快楽の性】についても肯定的に受け止められて来ていることが示されている。その中であっても、子孫を残すための「生殖の性」が中高年の男性の四分の一に生きている。

2ならびに3のとおり、高齢になっても生殖の性から離れて存在する性として捉える女

性が有意に増加し、更に性行動の場においても社会習慣的性別感から支配・被支配の関係になりがちであったところから中高年の女性も離陸しようとしているように見える。

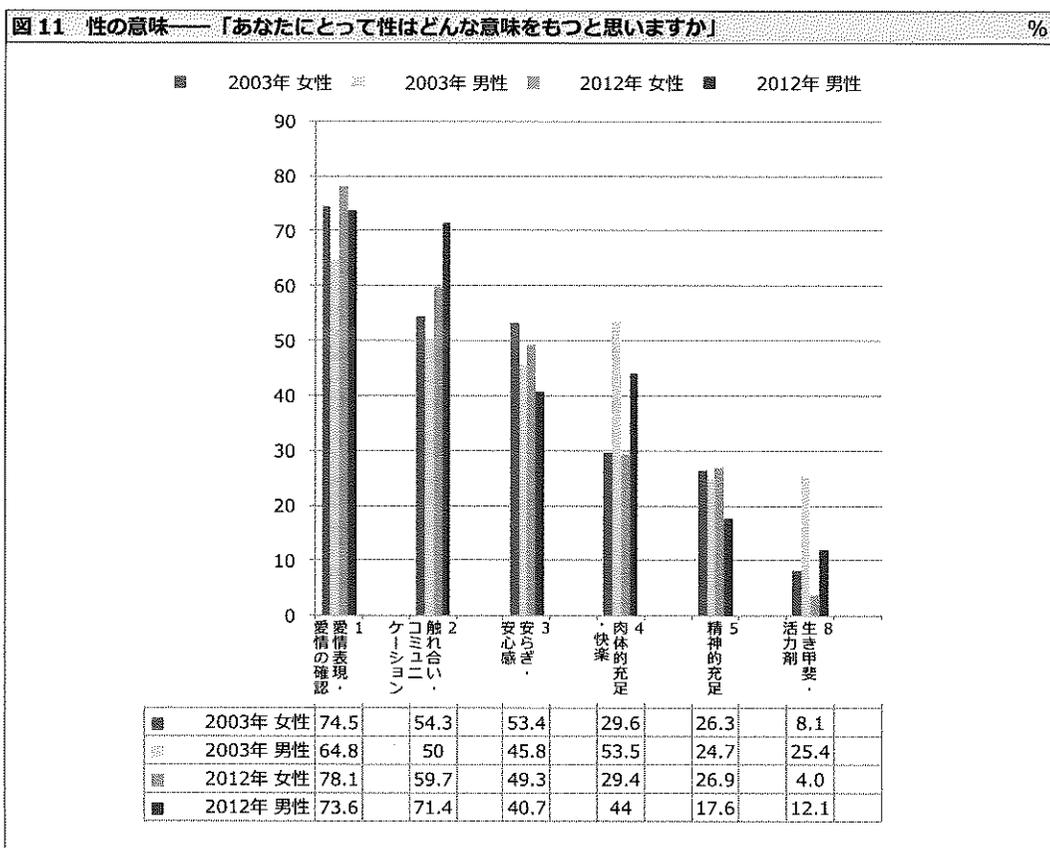
挿入・射精こそが性行動という男性のセクシュアリティもあるために生じたと思われる「性的関係は結婚を前提とする」という規範に従うものは15%を割るに至って居る。加齢とともに単身者は増加する理であり、性についての考えも規範意識も変わって行くことは自然のことであろう。

その中で男性の約半分が売買春という性行動を肯定的に捉えており、売買春を否定する者が八割を超える女性とは対照的である。人

間にとって性はどのような意味があるかの結果にも示される女性と男性の差を知ることが、男性性・女性性を理解し、かつ挿入・射精だけが性ではないことによって sexual health をより豊かなものにすると考えられる。

文献

- 堀口貞夫他：現在の中老年者の性に関する認識と規範意識：日本性科学会雑誌 Vol.31: 37-44, 2013
- 荒木乳根子他：中高年夫婦のセクシュアリティ 特にセックスレスについて——2000年調査と2012年調査の比較から：日



- 本性科学会雑誌 Vol.31: 27-36, 2013
- 3) 荒木乳根子：中高年単身者のセクシュアリティ——男女別年代別にみた全調査：日本性科学会雑誌 Vol.23: Suppl. 6-32, 2005
 - 4) 金子和子：中高年単身者のセクシュアリティ——交際している人の有無による性意識の差：日本性科学会雑誌 Vol.23: Suppl. 43-55, 2005
 - 5) 堀口貞夫：中高年単身者のセクシュアリティ——男性の事例・自由記述を通して：日本性科学会雑誌 Vol.23: Suppl. 71-79, 2005
 - 6) 渡辺景子：中高年単身者のセクシュアリティ——女性の事例・自由記述を通して：日本性科学会雑誌 Vol.23: Suppl. 80-87, 2005
 - 7) 日本性科学会セクシュアリティ研究会（代表・荒木乳根子）：カラダと気持ち シングル版. 三五館, 2007

4

中高年夫婦の関係性について ～2000年調査と2012年調査の比較～

介護老人保健施設ハートランドぐらんぱぐらんま
石田雅巳

I はじめに

日本は世界的にも例のないスピードで少子高齢化が進んでいる。1970年に高齢化率が7%、その後1994年に14%へと倍化しており、しかも、その間わずか24年間と、他の先進国の「倍化年数」に比べてきわめて早く、ドイツの2倍、スウェーデンの3倍、フランスの5倍の速さである。日本の高齢化率は2010年の時点で23%と世界で最も高くなっている¹⁾。先ごろの、政府の経済財政諮問会議「選択する未来」委員会の答申によれば、50年後の日本の人口は8,700万人と現在の3分の2まで急減し約4割が65歳以上という超高齢社会になると発表された。同委員会は、「何もしない場合は、極めて困難な未来が待ち受けている」との認識を示し、主に以下の提言をまとめた。

1. 50年後に1億人の安定した人口構造を保つ
2. 出産、子育て支援、出生率2まで回復
3. 70歳までを新生産年齢人口として仕事や社会活動に
4. 男女の働き方を変革。特に男性のワーク・ライフ・バランスを改善

5. 地方に戦略的拠点都市、医療介護の受け皿作る

一方、これらの提案と同時に、政府は、年金受給開始時期を75歳程度まで繰り下げる案を検討中とのこと、少子高齢化社会の行方はますます厳しさを増しつつある。

このような社会状況の中で、中高年の夫婦の関係性の実態を把握することは今後の日本社会の基盤を固める上で極めて重要な鍵となるものと思われる。

わが国では、長く家庭における夫婦の関係には前近代的な慣習が残存していたが、1999年の男女共同参画社会基本法制定以来、夫婦の関係にも法的裏付けが確立され、女性の社会進出は活発となり、職場でも家庭生活でも女性の発言力が大きくなった²⁾。今回の調査結果にも、それが反映されていると推測される。

ここでは2000年調査³⁾と2012年調査の中での夫婦の関係性についての設問を取り上げ、関係性の変化や男女差について検討したい。

II 方法と対象者

方法と対象者は、本誌の I-2 荒木論文および II-1 調査の概要に述べられているので、ここでは省略する。

III 結果と考察

1. 結婚年数

表 1 に 2000 年調査と 2012 年調査回答者の年代別平均結婚年数と年代別平均年齢を示した（本誌 II-2-B5 も参照。以下同様で、B は II-2 に記載された表を示す）。引き算をして平均結婚年齢を見ると、どの年代も 2012 年調査の方が、多少年齢が上がっている。特に 40 代女性は平均結婚年齢が 25 歳から 29.1 歳になっており（初婚年齢とは限らないので厳密にはいえないが）、女性の晩婚化がここからも見て取れる。

2. 見合い・恋愛の別

表 2（B6）のように 40 代から 60 代はこの 12 年間で恋愛結婚が多くなっていた。

1960 年代以降の生まれとなる 40 代から 50 代は、2012 年になると 80～90% が恋愛結婚である。60 代でも男女とも 70% 近くが恋愛結婚に転じる。

2012 年調査の 70 代は小学校時代に第二次大戦を経験した年代であるが、成長期に戦後の新教育を受け、男女の関係性についても、開放的となった。そのためか 70 代が結婚年齢を迎えた 1960 年代に日本の「見合い結婚」と「恋愛結婚」の比率がクロスし、以降は恋愛結婚が右肩上がりに増えている。2012 年調査の 70 代は男女とも恋愛結婚がちょうど 50% であり、興味深い。

3. 夫婦の関係性

夫婦の関係性については、2000 年調査と 2012 年調査の比較を表 3-1 に、男女の比較を表 3-2 にまとめた。以下、この表に基づき、各調査項目について述べていきたい。なお本誌 II-2 の表、B7～9、B11～15 も参照されたい。

1) 結婚生活満足度

表 3 は、現在の結婚生活全般について満

表 1 結婚平均年数（平均年齢）

	男性					女性				
	40代	50代	60代	70代	全体	40代	50代	60代	70代	全体
2000年	15.2 (44.6)	26.2 (54)	36.6 (64.8)	45.1 (74.1)	30.9 (59.5)	19.8 (44.8)	28.1 (53.7)	37.8 (64)	48.5 (72.3)	27.8 (53.6)
2012年	14.9 (44.5)	25.6 (54.5)	35.8 (64.8)	44.9 (74.1)	30.2 (59.5)	15.4 (44.5)	27.3 (54.1)	37.5 (63.9)	48.3 (73.4)	30.1 (57.2)

表 2 恋愛結婚の割合

	男性					女性					%
	40代	50代	60代	70代	全体	40代	50代	60代	70代	全体	
2000年	80	72	52	41	61	83	64	56	48	68	
2012年	92	91	67	50	75	90	80	67	50	75	

**

**

*

*

*

*

**

*p<0.1 **p<0.05 ***p<0.01

足しているかを聞き、「どちらかと言えば満足していない」「満足していない」と回答した人の割合を示したものである（B7参照）。

2000年に比べ、男女ともに「満足していない群」が増えており、男性は50代、女性は60代で有意に増加している。男性は1桁台だったのが、12～18%になり、男女差が

減少した。女性は満足していない人が60～70代で倍以上、14～19%に増加しているのが気になるところである。夫の定年以後、家庭で共に過ごす時間が多くなった時期に、夫婦関係の見直し、再構築が必要であるが、それが疎かであったり、年金生活など経済的な問題もあっての事ではないだろうか。さら

		男性			女性		
		2000年	2012年	両調査間の有意差	2000年	2012年	両調査間の有意差
結婚生活満足していない群	40代	6.6	13.2		16.7	18.0	
	50代	5.8	17.5	***	10.4	17.4	*
	60代	5.4	12.0	*	9.0	18.6	**
	70代	9.5	11.9		4.2	14.3	*
配偶者と過ごす時間少ない群	40代	38.5	52.8	**	50.0	44.6	
	50代	35.5	47.5	*	43.8	42.5	
	60代	25.9	29.3		30.0	28.7	
	70代	22.1	15.1		12.5	10.0	
日常の会話少ない群	40代	35.2	45.3		52.7	43.7	
	50代	36.4	44.3		43.8	40.9	
	60代	28.6	35.9		37.0	42.7	
	70代	31.6	29.4		27.1	27.2	
配偶者への愛情ない群	40代	3.3	9.4	*	10.9	18.0	*
	50代	3.3	10.3	**	10.0	12.8	
	60代	5.4	8.7		13.0	17.0	
	70代	6.3	8.2		10.4	7.1	
配偶者の愛情ない群	40代	5.5	13.2	*	3.6	8.6	**
	50代	6.7	15.5	**	5.2	9.8	*
	60代	5.4	14.2	**	6.0	11.6	
	70代	12.6	11.9		8.4	7.2	
離婚願望ある群	40代	14.3	24.5	*	27.5	39.9	**
	50代	10.8	18.6		27.3	25.0	
	60代	9.8	18.4	*	27.0	31.0	
	70代	7.4	15.6	*	8.3	17.1	
異性に惹かれることがあるかよく／ときどきある	40代	27.5	49.0	***	12.2	19.6	*
	50代	25.6	49.5	***	6.5	15.2	***
	60代	27.7	48.9	***	7.0	8.5	
	70代	25.2	40.3	**	2.1	5.7	
異性との付き合い過去1年間にあった割合	40代	12.1	36.8	***	8.6	14.1	
	50代	11.5	32.1	***	4.3	16.0	***
	60代	14.2	28.3	**	3.0	14.8	***
	70代	6.4	31.1	***	0.0	5.7	*

*p<0.1 **p<0.05 ***p<0.01

に、体力の低下と共に、精神的にも意欲が低下した結果とも考えられる。

2) 配偶者と過ごす時間

表3は、時間の多少を聞き、「どちらかといえば少ない」「少ない」と回答した人の割合を示したものである（B8参照）。

2000年と比べ、女性は大きな変化は見ら

れない。男性では40～50代で共に過ごす時間が少ないとする群が増え、女性より割合が多くなった。今回の調査では現在就労している女性が40代88%、50代77%で前回調査より有意に増加していた。妻の就労による変化を男性の方が敏感に感じているのかもしれない。

		2000年			2012年			%
		男性	女性	男女間の有意差	男性	女性	男女間の有意差	
結婚生活満足していない群	40代	6.6	16.7	**	13.2	18		
	50代	5.8	10.4		17.5	17.4		
	60代	5.4	9		12	18.6		
	70代	9.5	4.2		11.9	14.3		
配偶者と過ごす時間少ない群	40代	38.5	50	*	52.8	44.6		
	50代	35.5	43.8		47.5	42.5		
	60代	25.9	30		29.3	28.7		
	70代	22.1	12.5		15.1	10		
日常の会話少ない群	40代	35.2	52.7	***	45.3	43.7		
	50代	36.4	43.8		44.3	40.9		
	60代	28.6	37		35.9	42.7		
	70代	31.6	27.1		29.4	27.2		
配偶者への愛情ない群	40代	3.3	10.9	**	9.4	18	*	
	50代	3.3	10	**	10.3	12.8		
	60代	5.4	13	*	8.7	17	*	
	70代	6.3	10.4		8.2	7.1		
配偶者の愛情ない群	40代	5.5	3.6		13.2	8.6		
	50代	6.7	5.2		15.5	9.8		
	60代	5.4	6		14.2	11.6		
	70代	12.6	8.4		11.9	7.2		
離婚願望ある群	40代	14.3	27.5	**	24.5	39.9	**	
	50代	10.8	27.3	***	18.6	25		
	60代	9.8	27	***	18.4	31	**	
	70代	7.4	8.3		15.6	17.1		
異性に惹かれることがあるかよく／ときどきある	40代	27.5	12.2	***	49	19.6	***	
	50代	25.6	6.5	***	49.5	15.2	***	
	60代	27.7	7	***	48.9	8.5	***	
	70代	25.2	2.1	***	40.3	5.7	***	
異性との付き合い過去1年間にあった割合	40代	12.1	8.6		36.8	14.1	***	
	50代	11.5	4.3	**	32.1	16	***	
	60代	14.2	3	***	28.3	14.8	**	
	70代	6.4	0	*	31.1	5.7	***	

*p<0.1 **p<0.05 ***p<0.01

一般に 60 代での定年を境に、共に過ごす時間が男女共に増加するが、本調査の結果でも見て取れる。男性では、共に過ごす時間が多くなり、改めて妻への傾斜が大きくなる。

3) 夫婦の日常の会話

表 3 は、会話の多少について聞き、「どちらかといえば少ない」「少ない」と回答した人の割合を示したものである。

「日常の会話」も「過ごす時間」と同様の変化を示している。男性は 70 代を除き、有意差はないが、会話が少なくなる群が増え、2012 年調査では男女差がほとんど無くなった (B9 参照)。

2000 年調査で、男性が女性ほど日常会話を少ないと感じないのは、男性は職場その他の会話に重点が置かれ、家庭での会話が少なくても、あまりそのことを意識していないと解釈したが、家庭での会話をより求めるようになったのだろうか。それとも先に述べたような女性の就労による実際の変化が大きいのだろうか。70 代になると、家庭ですごす時間が多くなり、男女とも夫婦での会話の機会が多くなる傾向がみられる。しかし逆に、高齢のため、会話が成り立たなくなるケースも考えられよう。

4) 配偶者に対する愛情

表 3 は、配偶者に対する愛情の有無を聞き、「どちらかと言えない」「ない」と回答した人の割合を示したものである (B11 参照)。

2000 年に比べ 2012 年では、男女とも 40 代から 60 代まで「愛情がない群」が増え、男性は 9～10%、女性は 13～18% である。50 代男性は有意に増加している。両調査とも 40 代から 60 代は女性の方が「愛情がない群」の割合が高いが、2012 年調査ではさ

らに増えたわけで、妻に愛されず、男性は家庭以外に興味を求めやすくなったということもあるだろう。

5) 配偶者の愛情

表 3 は、配偶者はあなたに対して、愛情があるほうだと思うかと聞き、「どちらかといえない」「ない」と回答した人の割合を示したものである (B12 参照)。

「配偶者の愛情」は「配偶者への愛情」と似た変化を示している。男女とも 40 代から 60 代まで「配偶者の愛情がない群」が増え、男性は 13～16%、女性は 9～12% である。男性は 50 代、60 代で、女性は 40 代で有意に増えている。男女差では、有意差はないものの男性の方が愛されていないと感じており、2012 年調査の方がその傾向が強い。女性の方が「愛情がない群」の割合が高かったら当然のことか。実行するかどうかは別して、精神的に「夫一筋」、「妻一筋」ではない社会情勢が一般化してきたことかと思われる。

6) 離婚願望

表 3 は、最近配偶者と別れたいと思うことがあるかと聞き、「よくある」「ときどきある」と回答した人の割合を示したものである (B13 参照)。

2000 年と比べて男性の増加が目立つが、男女を比べると 2000 年と同様に女性の方に多い。男性は 16～25%、女性は 17～40% である。男女とも 40 代の離婚願望が最も多いが、特に女性は有意な増加を示し 40% に達している。また 70 代でもこの 12 年間に男女とも倍増しており、気になるところである。

男女の願望の内容は、質的にかなりの隔た

りがあると思われる。男性は家事担当者としての妻は必要としているが、異性としての「女」は別に求めていると言うことか。また、妻は経済的以外に夫の存在価値を認めていないということか。この10年間に関係性の基盤が揺らぎだしている家庭が増加していると推測される結果である。

7) 配偶者以外の異性への関心

表3は、現在配偶者以外の異性に惹かれることがあるかと聞き、「よくある」「ときどきある」と回答した人の割合を示したものである（B14参照）。

男性はどの年代でも有意に増加した。2000年の男性では、25～28%が「あり」と答えているが、2012年では、70代で40%、他の年代では約50%が「あり」と答えている。これに対して女性は、50代で有意に増加したが、それでも6～20%の範囲である。男女差が大きい項目であるが、「惹かれる」をどのように捉えるかによって差が出たのではないだろうか。

8) 配偶者以外の異性とのつきあい

表3は、過去1年に配偶者以外の異性と

の何らかの付き合いがあったと回答した人の割合である（B15参照）。付き合いの中身は、「性交渉を伴う愛情関係」だけでなく、「精神的な愛情関係」や「売買春」なども含まれている。

男性はどの年代においても、女性は50代、60代で「異性との付き合い」が有意に増加している。男性は28～37%、女性は6～16%の幅であり、男女差が大きい。特に70代は女性が5.7%なのに対し、男性は31.1%と開きが大きい。近年、高齢化率23%と世界でも最も高い数値を示している日本においては、特に定年後の男性の経済的、時間的余裕と、身体能力の維持向上への意欲などが、このような傾向を高めたことが考えられる。また一方、社会全体の第三者への過干渉が少なくなり、他人の言動に対する無関心や、社会的規範の変化も大きな要因であろう。

4. 配偶者との関係で求める交流

表4は複数回答で配偶者との関係でどのような交流を求めるかを聞いたものである（B10参照）。

	男性			女性		
	2000年	2012年	両調査間の有意差	2000年	2012年	両調査間の有意差
日常的会話	75	78		62	73	***
家庭のことを相談しあう	53	63	***	59	59	
悩みを話し合う	17	19		17	19	
深い精神的な問題を話し合う	6	7		10	9	
感謝やいたわりの言葉	20	33	***	33	39	**
積極的な愛情表現	7	7		4	4	
家事をともにする	22	21		26	24	
外出、趣味などを共にする	51	46		52	40	***
その他	3	1		3	3	

p<0.05 *p<0.01

2000年に比べて、男性は「家庭のことを相談しあう」が、女性は「日常的会話」が有意に増えているが、ともに40代、50代の増加が大きい。「感謝やいたわりの言葉」は男女とも有意に増えているが、特に40代の増加が目立つ。40代、50代は仕事において、子育てにおいて問題の多い時期だということも影響していよう。40代男性は「悩みを話し合う」が特に増えていた。また女性は「外出、趣味などを共にする」が有意に減少したが、これは60代、70代において減少したためである。60代、70代は行動を共にすることが可能になる時期であるが、今以上望まないということか。

ともあれ、男女とも求める交流のベスト3は「日常的会話」「家庭のことを相談しあう」「外出、趣味などを共にする」であり、良好な関係性を維持するためにベースとなる大切な事柄だといえよう。

おわりに

1999年男女共同参画社会基本法の制定に

より、21世紀の日本は女性の社会進出の法的裏付けが確立、「妻」は、家の奥に居る「家内」でも「奥さん」でもなく、社会で平等に働くことが可能となり、それにより夫婦の対等な関係性が生まれ、発言力が高まった。この社会的転換期の10年間を捉えて本調査が実施されたことに大きな意義があると考え。心身共に健全な家庭を築くには、イコールパートナーとして、共に、セクシュアリティを尊重することこそが基本であろう。

文献

- 1) 真淵勝監修：理解しやすい現代社会. 文英堂, 2013
- 2) 読売新聞生活部編：こうして女性は強くなった 家庭面の100年. 中央公論新社, 2014
- 3) 日本性科学会セクシュアリティ研究会：カラダと気持ち ミドル・シニア版. 三五館, 2002

有配偶者の性生活の実際と変化

日本性科学会カウンセリング室 主婦会館クリニック
金子和子

I 緒言

2000年調査と2012年調査の間で、有配偶者間でのセックスレスの著しい増加が認められた。では、有配偶者たちが行っている性生活はどのようなものであるか、彼らは自分たちの性生活をどうとらえているか、また、それらは12年前の調査とどのような変化があったのか、また無かったのか、さらには、単身者の性生活とはどう異なっているかを述べる。それにより、前調査からの約10年間に、変わったことと変わらぬことが浮かび上がるであろう。

II 方法と対象者

方法と対象者は、本誌の荒木論文（I-2「配偶者間のセックスレス化」）に述べられているので、ここでは省略する。なお、ここで取り上げる対象者は、この1年間に配偶者との性交渉があった人に限定し、その性生活の内容を検討した。そのため70代は標本数が少なく、70代のみ有意差の検定は行えなかった。

III 結果と考察

1. 誰から求めるか、時間、前戯

性交頻度に関しては、上記の荒木論文に詳しいので、省略する。

まず性交渉をどちらから求めるかであるが、表B32（表B、表CはⅡの全データに記載された表を示す。以下同様）を見ると、男性ではどの世代でも80%以上が男性から求めており（「自分から」+「大体自分だが相手から求めることもある」）、女性でも、40・50代では、80%以上、60・70代では70%以上がほとんど男性から求めている（60代・70代で70%に下がっているのは無回答が多いためと考えられる）。そしてこの傾向は、2000年調査と変化ない。

次に、性交渉にかかる時間（前戯から終了まで）をみる（表B35）。男女でほとんど差がないのは、当然といえよう。男女ともに、「5分以内」と「10分程度」を合わせたグループ、「20分程度」のグループ、「30分から1時間」と「1時間以上」を合わせたグループは、それぞれほぼ30%ずつとなる。そして、これは、2000年調査と有意差はない。

そうした性交渉の際、前戯をするかどうか

が表 B33 に示されている。ここで興味深いのは、40 代男性の 62% が「いつもする」と答えているに対し、40 代女性では、「42%」しか、「いつもする」とは答えておらず、この差は 1% 水準で有意である。かけている時間に男女で差がないことを考えると、男女で前戯と感ずるものに差があることを示している。男女で差があるのは、2000 年調査でも同様である。この「いつもする群」は、男性では 2012 年では、2000 年より有意に増加しているが女性では差がない。どのような前戯をしているかは表 B34 に示されている。これは 2000 年と差があるものはない。

このように見てくると、だれから誘い、どのくらいの時間をかけ、どのような前戯をするかなどの性交渉の形は、2000 年調査と 2012 年調査では、大きな差はないといえよう。

2. 満足度

性生活で重要な性交渉での満足感について述べる。肉体的な満足(オーガズム・射精)(表 1、表 B36) では、全体を各項目で見ると有

意差はみられないが、年代別にみると、60 代男性では、いつも得られる人が 33% から 13% に減っている。その影響か、「いつも得られる」と「大体得られる」を合わせた「得られる群」は、男性では、5% 水準で有意に低下している。しかし、女性では、全体でもどの年代でも、2000 年調査と 2012 年調査では有意な差はなく、「得られる群」が 55% から 69% である。肉体的満足で、注目すべきは、年代間や 2000 年調査と 2012 年調査の差よりも、男女の差であろう。「大体得られる」人たちは男女で差がみられないが、「いつも得られる」人たちは、2000 年調査でも、2012 年調査でも、男性の 30% 前後に対し、女性は、10% 前後である。その結果、「得られる群」は女性では男性より有意に少ない。この肉体的満足が得られるかどうかの男女差は、他の調査でも明白である¹⁾。

では、精神的満足はどうであろうか(表 2、表 B37)。50 代男性では、有意に増加しているので、全体としては、2000 年と 2012 年では差がないが、60 代男性の「いつも得られる」人が優位に減少している。また、女

表 1 性交渉のとき十分な肉体的満足感(オーガズム・射精)が得られますか ()は 2000 年調査

	男性					女性				
	40代	50代	60代	70代	全体	40代	50代	60代	70代	全体
いつも得られる	38 (38)	33 (27)	13 (33) ***	28 (34)	29 (34)	7 (14)	7 (9)	2 (20)	10 (14)	6 (13)
だいたい得られる	51 (45)	49 (62)	53 (54)	47 (52)	50 (53)	62 (55)	50 (49)	51 (44)	45 (50)	54 (51)
あまり得られない	5 (4)	12 (6)	13 (9)	16 (7)	11 (7)	24 (20)	21 (33)	22 (17)	10 (36)	22 (25)
得られない	1 (0)	0 (6)	4 (0)	0 (1)	1 (1)	3 (5)	11 (4)	11 (7)	10 (10)	8 (5)
無回答	4 (5)	6 (5)	17 (4)	9 (6)	9 (6)	4 (6)	10 (5)	15 (11)	25 (0)	10 (6)

合計 100%

人数 = 74 49 53 43 219 91 70 55 20 236

***p<0.01

性でも 60 代女性のいつも得られる人は有意に減少しているが、全体で見ると差がみられない。そして男女ともに、肉体的満足と精神的満足の間に差がない。

相手の満足をどのようにとらえているだろうか。相手は満足しているか（表 B38）であるが、男性の 66% が満足群（満足＋大体満足）で、女性では、75% が満足群であり、男女の差は 5% 水準で有意である。配偶者の満足が重要かでは（表 B39）男性 89%、女性の 84% が「重要＋ある程度重要」と答えており男女差はない。しかし、「重要」と「ある程度重要」を個別にみると、男性のほうが重要視している割合が優位に高く、これは 2000 年調査でも同様の傾向がみられる。「相手の満足が重要」とするのは男性が女性より有意に多いのに、「相手は満足している＋大体満足している」は女性のほうが高いというずれが生じている。女性は男性ほど満足していないことになるが、男性はそれをある程度察しているということになるだろう。60 代女性では「相手の満足」が重要としながらも「相手の満足の重要度」は 2000 年調査よ

り低下している。「重要」と「ある程度重要」を合計すれば 75% 前後で変化ないが、「重要」は、46% から 13% へ有意に低下しているのである。

60 代というくくりで見れば、男性の「いつも得られる」人が 33% から 13% へ有意に低下したことで、女性の「相手の満足の重要度」で、「重要」とする人が、46% から 13% へ低下したことは関係しあっているのかが気になる。60 代は多くの男性がリタイアの時期で夫婦関係の再調整が必要になる時期でもある。12 年前より夫婦関係が揺らいできていてこうしたところで夫婦のすれ違い、葛藤等が表面化するのだろうか。

3. 気乗りのしない性交渉

性交渉は一人ではできないので、二人の求める時と程度が一致するとは限らない。相手の欲求や満足を重視すれば、自分の欲求や気分が性交渉に乗り気でもなく、応じることがあろう。そうしたことは実際の生活ではどのくらいあるのだろうか。「気乗りしない性交渉に応じることがあるか」どうかであるが、

表 2 性交渉のとき十分な精神的満足感が得られますか () は 2000 年調査

	男性					女性				
	40代	50代	60代	70代	全体	40代	50代	60代	70代	全体
いつも得られる	31 (27)	31 (16) **	13 (36) ***	23 (30)	25 (26)	12 (11)	7 (11)	4 (19) **	0 (14)	8 (12)
だいたい得られる	58 (62)	53 (75) ***	60 (55)	63 (40)	58 (62)	67 (62)	50 (57)	53 (50)	55 (57)	58 (58)
あまり得られない	4 (6)	10 (4)	9 (4)	2 (1)	6 (6)	15 (17)	21 (24)	18 (13)	25 (29)	19 (20)
得られない	3 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (5)	2 (1)	2 (4)	11 (4)	13 (6)	0 (0)	7 (4)
無回答	4 (5)	6 (5)	15 (5)	9 (8)	8 (5)	3 (6)	10 (5)	13 (13)	20 (0)	9 (6)

合計 100%

人数 = 74 49 53 43 219 91 70 55 20 236

*p<0.10 **p<0.05 ***P<0.01

(表3、表B41) この「気乗りのしない」という言葉は、きわめてあいまいで、「気乗りはしなかったけど、応じているうちにその気になった」というものもあるだろうし、場合によっては、気乗りはしないが、やむを得ず応じる、というの含まれよう。性治療の臨床の現場では女性の性嫌悪の症例が増加しているとの印象がある²⁾。性嫌悪はパートナーから、それを問題にされない限り相談に行こうとはしないことが多いから、そうした症例が増加していることは、何らかの形で、「気乗りしない交渉に応じる」という項目に現れることを筆者は予期していた。性嫌悪の原因は一つではないが、意に染まぬ性行為を我慢して行っていた結果というの少なくともない。性相談の主訴で性嫌悪の増加が、意に染まぬ性交渉を拒否するようになった結果(拒否するようになったので、パートナーとの関係で相談に行かざるを得なくなった)なら、「気乗りしない性交渉に応じることがある」人は2000年調査より減少する可能性が高い。また無意識だった「意に染まぬ性行為」が意識

化されるようになってきたのなら(それまで気にせず応じていたが、本来はあまり乗り気でなく、それに気づきだした)、増加すると考えられたからである。しかし、表3に見られるように、女性においては2000年調査と2012年調査では有意差のある変化は見られなかった。減少の可能性と増加の可能性の両方が働いて数字としては変わらないということもありうるが、性相談に来る人たちとアンケートに答える一般の多くの人たちとの間では、ストレートな因果関係を求められるほどことは単純ではない、ということだろうか。あるいは臨床現場の事象は一般的な数字に表れる前の微妙な予兆のようなものなのであろうか。

女性においては2000年調査と2012年調査で有意な差は認められなかったが、男性では興味深い変化が見られた(表3)。40代男性の「応じることがない」が73%から51%へと大幅に減少し、「時々ある」が5%から15%へと増加していることだ。そのため「時々ある+よくある」は、6%から19%に

表3 気乗りのしない性交渉に応じることがありますか ()は2000年調査

	男性					女性				
	40代	50代	60代	70代	全体	40代	50代	60代	70代	全体
1. ない	51 (73) ***	61 (61)	55 (54)	74 (48)	59 (61)	12 (20)	16 (15)	11 (13)	15 (0)	13 (17)
2. まれにある	24 (15)	12 (26) *	19 (29)	7 (23)	17 (23)	46 (40)	31 (39)	22 (35)	25 (36)	34 (39)
3. ときどきある	15 (5) **	16 (6) **	11 (9)	5 (20)	12 (8)	24 (26)	19 (24)	35 (30)	20 (36)	25 (26)
4. よくある	4 (1)	4 (0)	4 (0)	0 (0)	3 (0)	15 (10)	27 (18)	20 (13)	10 (21)	20 (14)
5. 無回答	5 (6)	6 (7)	11 (8)	14 (10)	9 (7)	2 (5)	7 (5)	13 (9)	30 (7)	9 (6)

合計100%

人数 = 74 49 53 43 219 91 70 55 20 236

*p<0.10 **p<0.05 ***P<0.01

有意に増加している。また、50代でも、「時々ある＋よくある」は6%から16%へ有意に増加しており、全体で、8%から15%へ増加している。簡単に言えば、「時々ある＋よくある」男性が増加しているのだ。しかも多い年代（50代）では20%に達している。セックスレスが進む中で男性の「気乗りのしない」性交渉の増加は夫婦間の歯車がうまく噛み合いにくくなっているということを示唆するのではないか。

気乗りのしない性交渉に応じる理由を見てみよう（表SB41）。男性では年代ごとの有意差はグループが小さすぎてできないので、全体のみをみる。男性で際立つのは役割意識の減少である。「役割だから」と答えた人は50%から36%に減少しており、これは10%水準なので、厳密に有意差ありとはできないが、有意差の傾向ありと言えよう。性に関する役割意識、規範意識が、薄れていることが示されているといえよう。

女性では、全体では有意差のあるものはみられなかったが、50代では、「相手が喜ぶから」が51%から37%へ減少し、「かわいそうだから」が30%から44%に増加している。いずれも、10%水準なので、傾向としか言えず、相手への気持ちからという意味では同じだが、言葉のニュアンスとしては、対象者との心理的距離が遠ざかって若干上から目線のような気がしなくもない。

4. 単身者との比較

これまで有配偶者間の性生活について述べてきたが、2000年調査では、単身者の性生活と、有配偶者の性生活では違いがみられた。一言でいえば、単身者の性生活のほうが

性生活を重視した、活発なものであった³⁾。2012年調査ではどうであろうか。主要な項目を表4にまとめた。2000年調査と2012年調査では単身者の性行動はほとんど有意な差はみられず、2000年に見られた、単身者と有配偶者の性行動のありようの差異はそのままである。すなわち、誰から性交渉を誘うかでは、有配偶者では、61%が「男性から」であるが、単身者でそれは40%であり、女性から誘うことも単身者のほうが多い。また、性交渉にかかる時間も先の述べたように、有配偶者では、「5分以内＋10分程度」「20分程度」「30分以上」はほとんど約30%ずつであったが、単身者になると、それぞれ約10%、25%、60%となっており、時間をかけている。当然ながら、前戯を行う率も増え、有配偶者で見られた、男性は前戯をしていると思うのに、女性は前戯をしていないというずれもない。肉体的満足も、精神的満足も、単身女性のほうが有配偶者女性より有意に高くなっている。さらには「相手は満足しているか」「相手の満足度は重要か」で単身女性は有配偶者より相手を満足させているとの感覚があり、相手の満足を重要視していることがわかる。

また、日常生活での身体的ふれあいに関しても（表B24、C15）、交際相手のある単身者のほうが、有配偶者より豊富であり、2倍から、3倍の身体接触をしている。

こうした性生活と「現在の性生活の満足度」は、どのような関係だろうか。性生活が豊富で、より満足感が高いのかどうかをみる（表5）。男女ともに、交際相手のある単身者は有配偶者の倍以上の割合で、「内容、頻度ともに満足」している。そしてまた、男女と

表4 有配偶者と単身者の性行動（2012年調査）

		男性			女性		
		有配偶者	単身者	有意差	有配偶者	単身者	有意差
どちらから求めるか	自分から	61	40	***	3	1	
	だいたい自分から	23	47	***	8	6	
	だいたい相手から	4	9		25	56	***・↑
	相手から	5	0		57	32	***
	無回答	8	4		8	5	
前戯の有無	いつもする	62	67		42	70	***
	することが多い	21	31		36	20	***
	しないことが多い	7	0	**	11	5	
	しない	1	0		3	0	
	無回答	8	2		9	5	
性交時間	5分以内	5	0		6	1	
	10分程度	22	11	*	24	4	***
	20分程度	32	24		34	25	
	30 - 60分	28	47	***	24	54	***・↑
	1時間以上	5	16	***	2	9	***・↓
	無回答	9	2	*	10	6	
肉体的満足感	いつも得られる	29	31		6	20	***
	だいたい得られる	50	56		54	53	
	あまり得られない	11	9		22	19	
	得られない	1	2		8	4	
	無回答	9	2	*	10	4	*
精神的満足感	いつも得られる	25	31		8	38	***
	だいたい得られる	58	56		58	49	
	あまり得られない	6	11		19	6	***
	得られない	2	0		7	3	
	無回答	8	2		9	4	
相手の満足感	満足している	16	20		14	38	***
	だいたい満足している	50	49		61	46	**
	あまり満足していない	14	7		11	3	
	満足していない	5	6		2	1	
	わからない	8	16	*	4	8	
	無回答	8	2		9	5	
相手の満足感の重要度	重要である	57	69		30	70	***
	ある程度重要	32	29		54	25	***
	あまり重要ではない	1	0		6	0	**
	重要ではない	1	0		2	0	
	無回答	8	2		8	5	

合計 100% : 人数 =

219 55

236 79

*p<0.10 **p<0.05 ***p<0.01
 2000年調査との検定で・p<0.1 ..p<0.05
 2000年調査と比べて↑上がった ↓下がった

もに、有配偶者に比して、「性交渉の頻度が少なく、不満である」率は高く、性に対して積極的であることが明白になる。こうしたことのためであろうが、男性では、単身者は、「性交渉がなく不満」である率が、有配偶者より有意に低い。また、「性交渉がなく満足」という性に対して消極的な満足群は、男女ともに、有配偶者に有意に多い。しかし、有配偶者では、「性交渉がなく不満」な人たちと「なくて満足」の人たちが男性ではほぼ同率であり、女性では、圧倒的に「なくて満足」の人たちの率が高いことが興味深い。

単身者の交際相手が有配偶者である割合は男性 33%、女性 56%であり（表 C13）、単身者の性交渉の相手が交際相手である割合は男性 71%、女性 92%である（表 C30）。単身者と有配偶者の性生活の違いを考えると、同一人物が配偶者とする性行動、配偶者以外とする性行動は、どのように違うのか知りたいところであるが、今回の調査ではその項目はないので不明である。

最後に、有配偶者の実態からは少々ずれるが、交際相手のない単身者の性生活の満足度

を見てみたい（表 5）。ここで注目したいのは、男性の 50%が、「性交渉がなく不満」であるに対して、女性では「性交渉がなく不満」なのは、11%しかおらず、「性交渉がなく満足している」人が 35%いることである。また、単身女性で、交際相手がいない人はそのほか 16%、無回答が 33%を占め、合わせると 49%となる。アンケートに自分の気持ちに合う回答がなかったことが大きな要因と思えるが、男性の「なくて不満」とほぼ同率となり、男性の単純明快な回答と女性の微妙な回答の差が興味深い。有配偶者、交際相手のある単身者、交際相手のいない単身者の 3つのグループで、性がどのような意味合いを持つのか、このアンケートだけではとても計り知れないが、有配偶者かどうかの差もさることながら、男女の差が浮き彫りになったといえよう。

まとめ

夫婦間のセックスレス化が進んでいるという事態の中で、上記のような結果を見る限り、

表 5 現在の性生活に満足していますか（有配偶者と単身者との比較）

	男性			女性		
	有配偶者	単身者 (交際相手あり)	単身者 (交際相手なし)	有配偶者	単身者 (交際相手あり)	単身者 (交際相手なし)
1. 性交渉の内容・頻度ともに満足している	22	46***	4***	21	56***	0***
2. 性交渉の内容に不満である	6	4	0*	5	10*	1
3. 性交渉の頻度が少なく不満である	12	30***	11	5	14***	4
4. 性交渉頻度をもっと減らしたい	1	0	0	7	3	0***
5. 性交渉がなく不満である	27	7***	50***	8	5	11
6. 性交渉がなく満足している	24	8**	7**	43	5***	35
7. その他	4	2	9	5	3	16***
8. 無回答	4	2	9	6	4	33***

合計 100% : 人数 = 404 46 46 459 78 129

*p<0.10 **p<0.05 ***P<0.01

性行為は誰から誘い、どのくらいの時間をかけて、何をしているか、ということは12年前とほとんど変化がないといえよう。しかし、それに伴う満足度や相手への気持ちには変化が生じてきており、男女のあるべき姿、夫婦のありようという枠組に変化が見られた。それはごく大雑把に言って、関係が希薄になる方向であり、今後どのようになって行くかについては、息の長い観察が必要となろう。

文献

- 1) NHK「日本人の性」プロジェクト編:データブックNHK日本人の性行動・性意識. NHK出版, 2002
- 2) 金子和子, 渡辺景子:セックスレス、今——性治療の現場から. 日本性科学会雑誌 30(1・2), 95-98, 2012
- 3) 石田雅巳, 荒木乳根子:中高年単身者のセクシュアリティ——配偶者のいる中高年との比較検討. 日本性科学会雑誌 23 suppl. 56-70, 2005

性機能についての比較検討

国立病院機構千葉医療センター

大川玲子

はじめに

2000年に調査した中高年男女のセクシュアリティ（前回調査）からの経年変化を知るため、今回（2012年）調査では基本的に同じ設問を採用したが、反省も含め若干の変更を加えた。そのなかで前回は踏み込まなかった性機能についての設問を設けた。本調査の特徴は、関係性を中心に性意識の細部を尋ねたことである。しかし内外の調査との比較をするためにも、最小限の性機能調査として、性欲障害、勃起障害、性交痛などについて尋ねた。

調査方法と対象者は、本誌荒木論文（I-1、2）を参照されたい。粗データは設問とともにIIのデータ集にあるので、本文には設問番号のみを記し、前回調査との比較など本稿で考察した図表のみ本文に掲げた。

1 性的活動性

性的活動性としての性交頻度（B28、C25）についての考察は、本誌荒木論文ほか¹⁾に記述されている。前回と今回調査の比較で明らかになったのは、今回、有配偶男女の性

交頻度がおしなべて減少したことである。しかしマスターベーション頻度（B27、C24）は増加しており、必ずしも性的活動性全体が低下したとは結論づけられない。一方、単身者では前回と今回調査で性交頻度に差がみられなかった。前回は、有配偶者に3年遅れた単身者調査との比較で、単身者では性的活動のある者の割合は少ないが、活動のあるケースでは男女とも単身の方が活発で行動内容も多様であった²⁾。すなわちこの10年の大きな変化は、配偶者間のセックスレス化と言えよう。

2 男女の性欲

「この1年間に、性交渉したいと思ったことはどれくらいありましたか」という性欲についての設問は前回調査にはない項目である。有配偶男性全体で「よくあった」は26%、「ときどきあった」27%、「たまにあった」32%、「なかった」12%で、女性では同順で、4%、12%、37%、40%であった。実数と年代層における各回答比率の詳細はIIのデータ集を参照されたい（有配偶 B26、単身 C23）。

回答者群間を比較したところでは、有配偶

者全体の男女比較で「よくあった」「ときどきあった」は男性が多かった ($p<0.01$)。逆に「なかった」は女性が多かった。男女差が著しいのは単身者も同様である。一方、有配偶者と単身者の比較では、男女とも単身の方が性欲の高まりを多く体験していた (表1)。

類似設問で、両調査共通の「若いころと比べて性的欲求の強さは変化しましたか」(B17、C20)については、本誌で荒木が解説し、2012と2000年結果に差がないとしている。

3 男性性機能

1) B43、C44「この1年間で性交を試みたとき、どれくらい満足に挿入を伴う性行為ができましたか」および B44、C45「一時的ではなく、ある程度継続した性交困難(勃起不全)になったことがありますか」

前者はパフォーマンスとしての性交、後者は勃起機能そのものを尋ねている。

有配偶者、単身者すべての年齢階層で最多の回答は B43 では「ほぼ毎回できた」であり、51-73%と大多数では満足な挿入ができて

いる。また B44 でも勃起不全の「経験がない」が43-76%を占めていた。巻末データを見ると、二つの設問の B43「ほぼ毎回できた」「ほとんどできなかった」と B44「経験がない」「現在なっている」と近似した回答数を得ている。しかし中間的な回答、性交が「ときどきできた」「たまにできた」と勃起不全に「過去になったことがある」では少しずれている。

表2ではこの二つの設問回答を並べ、年代間差の検定結果を示した。両設問とも性行為が「ほぼ毎回できた」と、勃起不全の「経験が無い」については、若い年代で多く高齢に従って低下、逆に「ほとんどできなかった」「現在なっている」は高齢群で有意差をもって高くなっている。

単身者のデータは年代が逆転したかのように見えるが、サンプル不足のため年代間の有意差検定はできない。また有配偶と単身者の全体比較では、どの回答でも有意差はみられなかった。

2) B45、C46「勃起機能改善薬の使用についてどう思いますか」

この設問は、前回は回答者全員に、今回は

	男性 vs 女性				有配偶 vs 単身	
	有配偶	単身 40-50	単身 60-70	単身全体	男性	女性
よくあった	男性 > 女性 ***	男性 > 女性 ***	男性 > 女性 ***	男性 > 女性 *	有配偶 < 単身 *	有配偶 < 単身 **
ときどきあった	男性 > 女性 ***	ns	男性 > 女性 ***	男性 > 女性 *	ns	有配偶 < 単身 ***
たまにあった	ns	男性 > 女性 *	ns	ns	有配偶 < 単身 **	有配偶 < 単身 **
なかった	男性 < 女性 ***	男性 < 女性 **	男性 < 女性 ***	男性 < 女性 ***	有配偶 > 単身 **	有配偶 > 単身 ***

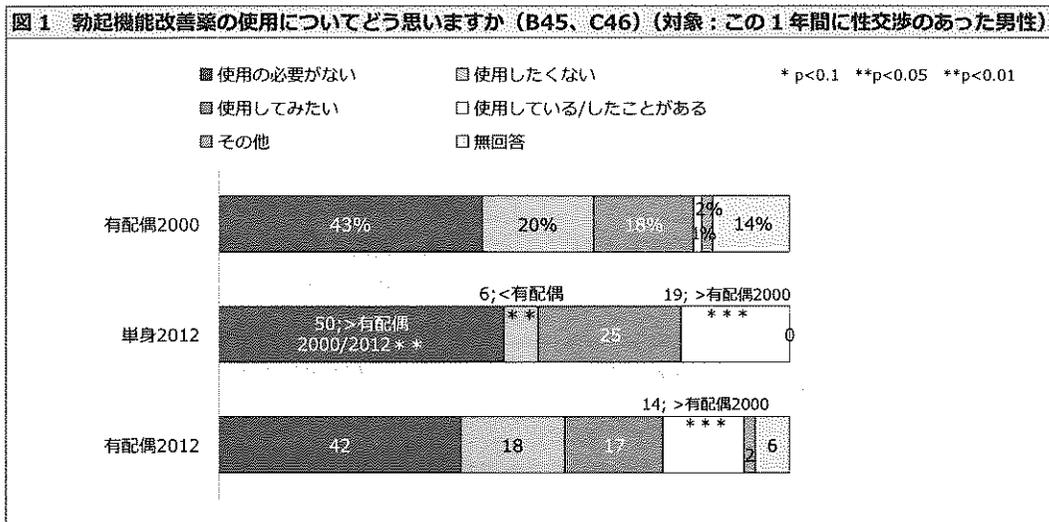
$p<0.1^*$ $p<0.05^{**}$ $p<0.01^{***}$

「この1年に性交渉のあった方」に聞いているので単純比較はできない。このため前回調査結果を、年代を考慮しない全体数のみ、性交渉のあるグループでの割合を算出して比較を試みた(図1)。

2012年有配偶者(B45)、単身(C46)、および2000年のどの群でも最多回答は「必

要がない」である。2012年有配偶者では高年代ほどその割合は下がるようにみえるが、有意差が認められるのは40代と70代の間($p<0.1$)のみである。両調査とも全体的には、使用に消極的に見えるが、大きな相違は、実際に薬物を使用、あるいは使用したことがあるという回答は、2000年調査では1%であっ

		有配偶者				
		40代	50代	60代	70代	全体
B43 この1年間で性交を試みたとき、どれくらい満足に挿入を伴う性行為ができましたか	ほぼ毎回できた	73	61	51	51	61
		40代 > 50、60、70代 **				
	ときどき/たまにできた	19	30	27	28	25
		年代間差 ns				
	ほとんどできなかった	3	2	13	14	7
	40代 < 60、70代 **					
	無回答	5	6	9	7	7
	合計 100% : 人数 =	74	49	53	43	219
B44 一時的ではなく、ある程度継続した性交困難(勃起不全)になったことがありますか	経験がない	76	63	43	47	59
		40代 > 60、70代 ***				
	過去になったことがある	19	25	32	23	24
		年代間差 ns				
	現在なっている	1	8	15	23	11
	40 < 50 ** < 60、70 ***					
	無回答	4	4	9	7	6
	合計 100% : 人数 =	74	49	53	43	219



たものが、今回調査では有配偶;14%、単身;19%と増加している。「使用したくない」人は、単身者に少ない傾向である。総じて勃起機能改善薬使用への抵抗感は減少し、期待感が高まってきていると思われる。

3) B36、C37「性交渉のとき十分な肉体的満足感(オーガズム・射精)が得られますか」

本誌金子論文「有配偶者の性生活」でこの項目を「精神的満足」とともに解説している。すなわち「オーガズム、射精」は男性では前回調査に比べて減っており、女性では変化がない。特徴は男女差で、いつも得られる有配偶男性29%に対して有配偶女性は6%と極端に少ない。しかも精神的満足も全く同じ傾向である(1-5金子論文、表1参照)。

本稿では性機能(障害)の観点で取り上げる。この設問は前回、今回両調査とも「この1年に性交渉があった方」が対象である。女性に比べて圧倒的にオーガズムを得ている男性であるが、勃起と挿入については有配偶男性の最多回答が「ほぼ毎回できた」であるのに対し、オーガズムないし射精は「だいたい得られる」が最多回答で、男性全体の50%、次いで「いつも得られる」の29%となっている。つまりこの1年に性交渉のあった回答者の多くは挿入の問題は無いが、いつも射精に至るわけでは無い。

年代別にみると、「いつも得られる」は有配偶男性の40代から70代までそれぞれ38%、33%、13%、28%と年代を追って減る傾向が見られ、40代と60代に有意差($p<0.01$)が見られる。「だいたい得られる」には年代間の差はない。「あまり得られない」と「得られない」を足した射精障害と思われる

る人は、60代が40代より多く($p<0.05$)、射精障害は加齢とともに増加する。単身・有配偶男性の差は無く、単身者では年代間の有意差を検定できないが、「あまり得られない」と「得られない」の合計が、40-50代では6%であるのに対し、60-70代では25%と四分の一を占めている。

4 女性性機能

1) B46、C47「この1年間で性行為に際して膣の湿りや感情の興奮がどれくらいありましたか」

性機能評価の確立した質問票では多様な角度から性的興奮を尋ねるが、膣の湿り・感情の興奮は女性の性的興奮の中核的内容である。男性では「勃起」にあたるのでB43、44と比較すると、男性の「ほぼ毎回できた」61%に対して、女性の「いつもある」は19%と極めて少ない。一方男性の「ほとんどできなかった」7%に対して、女性の「ない」は12%と差は小さい。

図2は有配偶女性の各年代と単身女性の回答を群間比較したものである。「いつもある」は、単身者が有配偶者より多く($p<0.01$)、有配偶のなかでは40代が50、60代より多い($p<0.01$)。70代はより少ないが母数が少ないため検定できない。女性は男性と比べて「よくある」「ときどきある」の中間的回答が多い傾向があり、有配偶の「ときどき」は単身より多い($p<0.01$)という逆転がおきている。単身者の年代間比較はできない。

2) B47、C48「この1年間位性行為の最中や後に、どれくらい性器に痛みを感じました

か」

前回、今回、有配偶者、単身者を通じて最多の回答は「ときどきある」で、31-47%を占め、「ない」は15-45%であり、総じて60%以上の中老年女性に性交痛がある。性交痛の多い年代は50、60代であり、閉経の影響が多いと推察される。図3で各群間の差を検定すると単身者は最も少なく、有配偶では2000年より2012年が多い、という

傾向である。前回調査よりも今回は性交頻度が減っていることと関係づければ、女性の性交痛が性交停止につながっていると考えられる。

3) SB47-1、SC48-1「(B47で「性交痛あり」と答えた人) 性的満足感との関係はどうか」

有配偶女性で性交痛のあった143名のう

図2 女性の性的興奮 この1年間で性行為に際して膣の湿りや感情の興奮がどれくらいありましたか (B46、C47) (対象：この1年間に性交渉のあった女性)

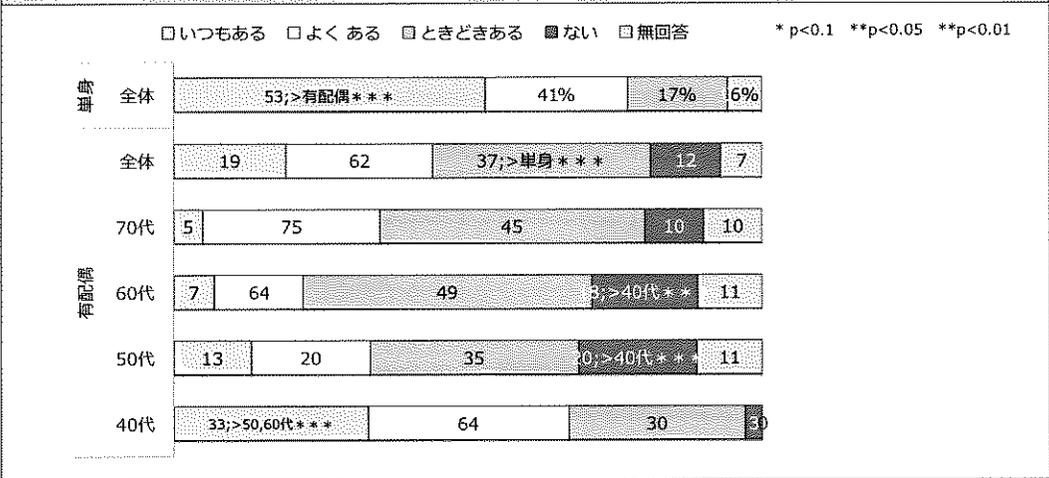
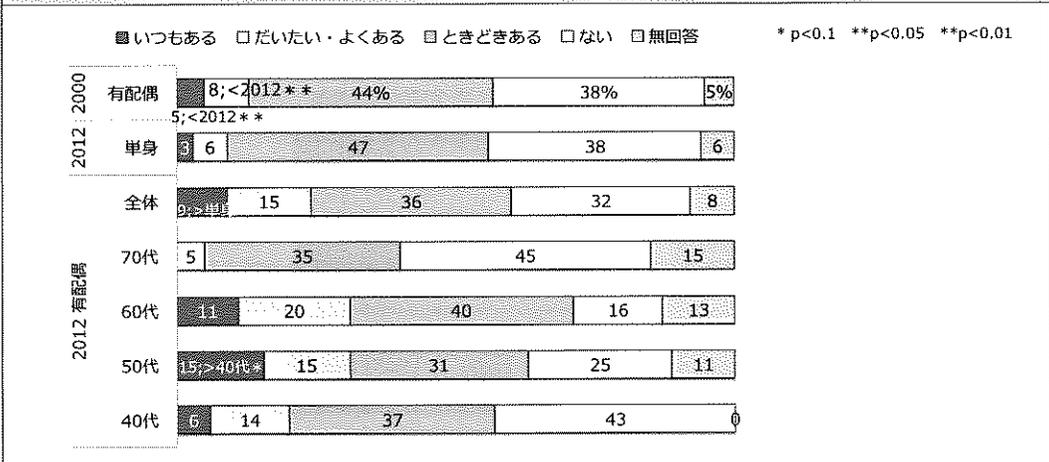


図3 この1年間性行為の最中や後に、どれくらい性器に痛みを感じましたか (B47、C48) (対象：この1年に性交渉のあった女性)

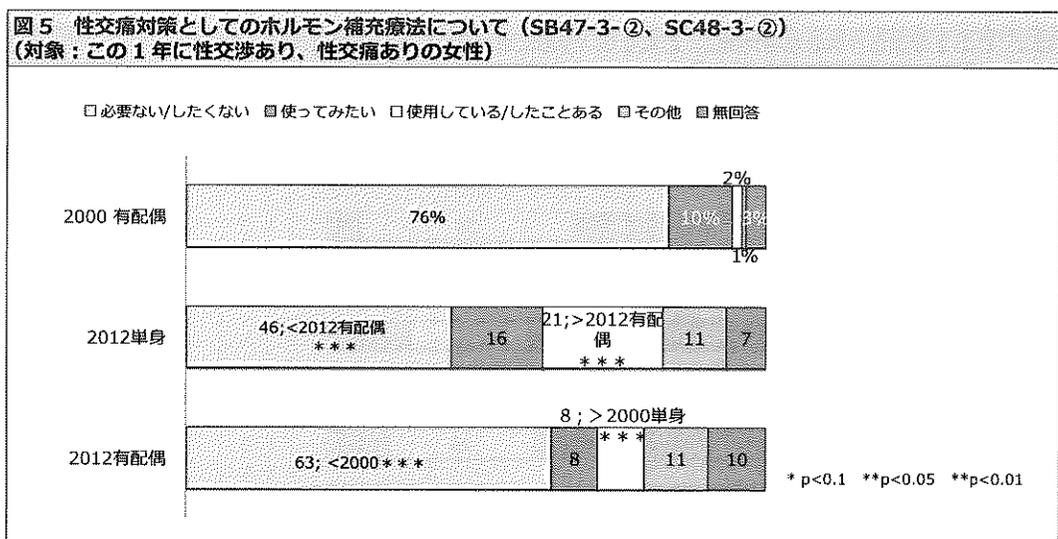
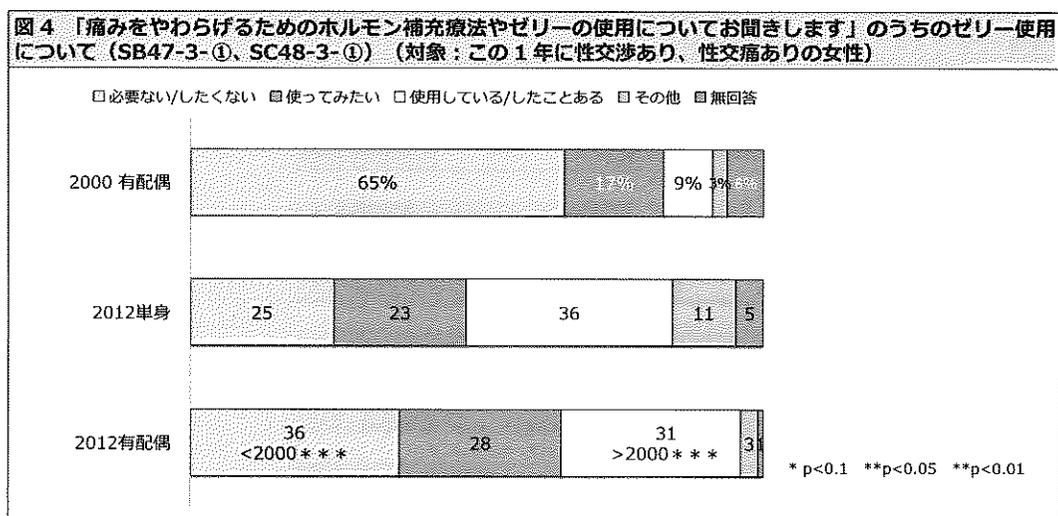


ち、13%は「痛みはあるが満足感が強い」と回答し、最多の41%が「どちらかと言えば痛みより満足感が強い」と答えている。この傾向は、単身者、さらに前回調査の有配偶群でも同様であり、特に単身女性は有配偶女性より有意に ($p<0.01$) 「満足感が強い」としている。

一方、性交痛の程度が他の年代より強い有配偶 50 代では、「満足感は無く痛みが強い」

が16%と、40代との間に差 ($p<0.05$) があり、有意差ではないものの、60、70代より多い傾向である。単身では40-50代より60、70代の方がこの回答が多くみられた。この設問の答えは、性交痛の程度と関連しているように思われる。

4) SB47-3-①、SC48-3-①「(B47で性交痛ありと答えた人) 痛みをやわらげるためのホ



ルモン補充療法やゼリーの使用についてお聞きします」(このうちゼリー使用について)

性交痛対策にゼリー使用という考え方は前回と今回調査で大きな違いが見られた。有配偶でみると、「必要がない」と「したくない」という否定群は65%から36%と半減し、「使用している/したことがある」の経験者は9%から31%に飛躍的に増えた。単身者は有配偶より更に積極的である(図4)。

5) SB47-3-②、SC48-3-②「ホルモン補充療法について」

ゼリー使用に比べるとホルモン療法は未だ抵抗感が強く、おそらく認知度も低いと思わ

れる。それでも使用経験者は2000年有配偶調査の1%から8%に増加しており、単身者はさらに21%の高頻度を示した(図5)。

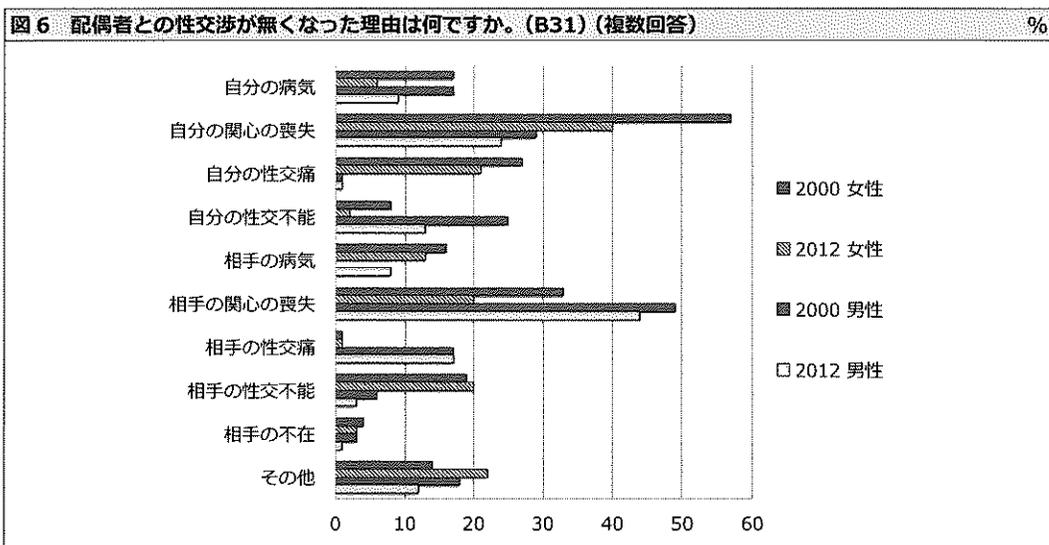
6) B36、C37「性交渉のとき十分な肉体的満足感(オーガズム・射精)が得られますか」

金子論文に記述してあるように、オーガズムの有無は男女差が著しい。表1には男女双方の、2000年および2012年有配偶者と2012年単身者の結果を、年代比較を割愛し、肉体的満足を「あまり得られない」「得られない」を合計した数値割合を示した(年代比較は金子論文I-5、表1を参照)。

単身を含めた女性のデータを検討すると、

表3 性交渉のとき十分な肉体的満足感(オーガズム・射精)が得られますか(B36、C37) (対象:この1年に性交渉のあった男女)						
	男性			女性		
	2000 有配偶者	2012 有配偶者	2012 単身者	2000 有配偶者	2012 有配偶者	2012 単身者
いつも得られる(%)	34	29	31	13	6	20
あまり得られない+得られない(%)	8	12	11	30	30	23
n	297	219	55	425	236	79

女性のみ「いつも得られる」 2012年有配偶者 < 単身者 *** 有配偶者 2012 < 2000 ***
p < 0.1* p < 0.05** p < 0.01***



男性とは異なり「いつも得られる」者の割合が、有配偶女性より単身者が多く ($p<0.01$)、有配偶者全体では、今回調査の方が少ない傾向を示し、60代では有意差 ($p<0.01$) がみられた。オーガズムは性交頻度とは異なり、性行為の質を示す。今回調査群が前回より低下している理由は推測しにくい、女性が男性より少なくまた単身女性が有配偶女性よりオーガズムを多く得ているという結果は、多くの女性が十分性生活を堪能しているわけではなく、逆に女性が今後環境や条件によって、より質の高い性行為を体験できるという余地があることを示している。

5 配偶者との性交渉が無くなった理由

この1年性交のなかった回答者に、性交停止の理由を聞くと B31 で見るように男女の違いが明らかである。明らかな年代差は見られず、全年代で前回と比較したものが図6である。両調査とも女性では「自分の関心喪失 (2000年 57%、2012年 40%)」、男性では「相手の関心喪失 (2000年 49%、2012年 44%)」が最多回答で、女性の性的関心喪失が夫婦の性交停止理由となっている。2位以下の女性の停止は、前回2位「相手の関心喪失」、3位「自分の性交痛」だったものが、今回はこの二つと「相手の性交不能」がほぼ並んでいる。男性は「自分の関心喪失」「自分の性交不能」「相手の性交痛」とほぼ同じ様な理由が並んでいる。

6 現在の性生活に対する満足

性生活への総合的な満足については金子論

文で触れており、データはIIおよび金子論文 (表5) を参照されたい。本調査では満足／不満には「質・量への満足」の他、「無くて満足」も選択肢としたが、これも含めて男女差年齢差などが分かれることが知られた。「性交がなくて満足」は、男性より女性、高年齢に多く、特に単身女性の高年齢で多い事は、死別後単身女性に多い事が推察される。

7 考察

性機能に焦点をあてて前回および今回、また有配偶者、単身者という枠組みで中高年のセクシュアリティ調査結果を見てきた。概括的には性交頻度に代表される性的活動性は有配偶者で明らかな低下が見られるが、1年間に多少とも性交のあった回答者について言えば、性欲、性的関心、性的興奮 (男性では勃起機能)、オーガズムあるいは性交疼痛の頻度には、明らかな変化はみられなかった。

前回今回を通じて、性機能、特に性欲 (性的関心)、オーガズムの体験に男女差が大きかったことがわかった。女性では性交停止の大きな理由に「性交痛」がある。痛みにも関わらず性交している女性も多く、それなりに楽しむ、あるいは夫の求めに応じる者も少なくないなか、ゼリー使用などの疼痛対策をする者、性交停止に導く女性が増えた。すなわち消極的ながら女性の自己主張がカップルの性行動に、より反映されてきたと考察する。

国内外の調査文献との比較を試みる。米国の男女 3,005 名 (57-85 歳) のセクシュアリティ調査では³⁾、月 2-3 回以上の性交を行うのは 57-64 歳男性の 68%、65-74 歳の 65%、75-85 歳の 54% である。女性

も性交頻度はほぼ同様である。我々の調査（本調査）対象はむしろやや低年齢であるが、月2-3回以上の性交渉は男性14%、女性18%であるから大差で少ない。しかし、性交渉のあるグループ（57-64歳）では、勃起不全31%のところ、本調査では勃起不全「なし」が59%である。女性の性的興奮障害、潤滑液不全は36%のところ、本調査では有配偶者の81%が性的興奮ありなど、項目立てや設問にズレがあるものの、性交頻度ほど大きな差はなさそうである。

多数ある勃起不全調査のうち、アジアに関する文献レビュー⁴⁾ではその頻度は2-88%と幅広い。日本での調査報告、Marumoらによる1.0-25.9%（23-79歳）や、Sasayamaによる32%（30-80歳）に比べて、本調査対象に勃起不全が多いとは言えない。しかし設問対象がこの1年に性交渉があった者（47%）に限っており、その半数は性交頻度が月1回未満である。性交停止の理由を見ても勃起障害がセックスレスの背景にあることは明らかである。

米国を中心とした調査で閉経後女性の性機能障害は68-86.5%（全女性では25-63%）と報告されている⁵⁾。女性の性機能では性交痛が重要であり、他の性欲・性的興奮、オーガズムの障害の原因でもあるが、閉経後ではそれが著しい。40-65歳米国女性（75%は更年期以後）の2年間の前向き調査では⁶⁾、閉経以後性交回数は減少し、それは性交痛との関連が強いとしている。ちなみに回答者の半数が週1回以上の性交、性交痛は「全くかほとんどない」68%、「いつもあり」4.4%、ゼリー使用46%、ホルモン療法8%、などである。本調査との相違は性交頻度が多いこ

とであるが、性交痛は少なく、おおまかな比較であるが、ゼリー使用にはやや積極的、ホルモン療法頻度は差がないと言えよう。

もとより他国に比べてセックスレス傾向の高い日本で、今回更にそれが進んだ本調査結果であるが、性機能についての知識と、機能不全への対処方利用の積極性が、わずかだが上向いていると評価できる。今後の中高年セクシュアリティの課題は、男女差の軽減である。それが男女ともに満足する性生活につながると思われる。

文献

- 1) 荒木乳根子, 石田雅己, 大川玲子他: 中高年夫婦のセクシュアリティ 特にセックスレスについて: 日本性科学会雑誌 31(1): 27-36, 2013
- 2) 石田雅己, 荒木乳根子: 中高年単身者のセクシュアリティ——配偶者のいる中高年との比較検討: 日本性科学会雑誌 23(supple): 56-70, 2005
- 3) Tessler SL, Philip LS; Lawman EO; et al. A Study of Sexuality and Health among Older Adults in the United States. N.Engl. J. Med. 23; 357Z(8): 762-774, 2007
- 4) Park K, Hwang EC and Kim S-O: Prevalence and medical management of erectile dysfunction in Asia. Asian Journal of Andrology. 13: 543-549, 2011
- 5) Ambler DR, Biejer EJ and Diamond MP: Sexual Function in Elderly Women: A review of Current Literature. Reviews in Obstetrics & Gynecology. 5(1): 16-27,

2012

6) Holly MT, Cindy LB, Roberta BN,
et al: Dyspareunia is Associated with
Decreased Frequency in the Menopausal
Transition. *Menopause*. 18(2): 152-157,
2011

自由記載から

女性成人病クリニック

堀口雅子

今回のアンケート調査の最後に、自由記載の欄を設けた。アンケートについての意見や希望、また、自分が望む性生活や、性について思うことを自由に書いてもらったのである。その結果、212の自由記載が得られた。それは有効回答から189、無効回答(年齢オーバー、記入不十分等の理由で使用できなかったもの)から23である。有効回答からの自由記載の内訳は、男性では、単身者16名、有配偶者44名、女性では、単身者48名、有配偶者81名である。それは、男性では12%、女性では19%に上る。中には、「不愉快極まりないアンケートを受け取ってしまった。大学の研究とは恐れ入る」といった、不快感、怒りの表明もあったが、ほとんどはアンケートに好意的であり、そこには、アンケートを数的に処理したものからはこぼれおちてしまう、生活者としての実感や気持ち、少数者の意見や心境等が正直につづられたものが多かった。それは、結果を分析するときの一つ一つの数字の意味を理解しやすくし、また、人間そして性のありようの多様性を示してくれるものでもあった。そこで、数字としてのデータを公開するに際して、その背後にある人間の営みが見えてくるように、それらの中から、一部を抜粋してここに紹介する。個人が特定されないように、若干の修正と省略を加えてある。

単身男性の記載から ♂

40代◆◆◆

自分の欲求を満たすだけの性交は控えたほうが良いと思う。常に相手あってのことであるので、相手の気持ちを尊重してあげることが大切だと思う。

また、マスターベーションは決して悪いことではないと思う。男としては当然の行為であるといっても、早く良い女性を見つけて、安定した生活を送りたいものだ。

40代◆◆◆

沢山の病気を生んだエイズや性病は、男女間の関係性が満足行くものでないからだ。それはやはり人間がどういう生き方をして、子供(DNA)を残す必要があるかを、キチン

と説いていないからだと思われる。今の若者は、セックスがおもちゃそのものになっており、そこで、生まれた子供たちは、気に入らなければ殺されてしまい、人間の尊厳などあったものではない。性教育を小さい頃から教える必要があるかもしれない。

50代◆◆◆◆

お互い同意の下で、家庭に影響を与えない関係ならば別に問題ない！と思っているのだが、本人は、風俗営業にも行かず“出会い系”なども利用した事もないという超奥手。女性とsexをしたいと思っはいるのだが、一緒に食事をしたりお酒を飲んだりし、乍ら‘オシャベリ’をしているだけでそれが楽しい！と思っている自分が居る。

一線を越える様なお誘い等があればそれに乗ってみたい気持ちは多くあるし、以前はそう云う事象もあったので‘レス’ではなかったが、最近はそれもなくなってしまっている。こちらからは、それとなくモーションを掛ければ応じて頂けそうな感じがする女性もいないのではないのだが、本当に応じてもらえるかどうかの確証を得られないのと、こちらの一方的な思い込みかもしれないという不安感から今一つ先に踏見込めないでいる。

又、男性の更年期ではないが、マスターベーションをする為に性器を刺激しても若い刻のような強度と射精感を得られないのと、女性に挿入しても完全に勃起した状態でなく、不完全勃起の様な状態になった事が続いた事で、一気に性欲減退した気がする。

只、性生活が不足しているからと云って、現状の生活にそれほど不満を持っているわけでもなく、上記の代償行為でも十分に楽しんでいる。

60代◆◆◆◆◆

性は、意識（意思）と欲望（本能）の乖離が本質的問題。

私は男だから女を大切にと思っはいるが、内心では、思う存分もてあそびたい欲望もある。女の気持ちを尊重しているが、願望では従順を求める。

70代◆◆◆◆◆◆

ちゃんと挿入したい。彼女は「いいのよ、こうやっているだけでいいのよ」と言ってくれますが、私としては、不満です。勃起不全は改良されないのか心配です。何度かバイアグラ、レビトラを試しましたが、効果が見られませんでした。

有配偶男性の記載から ♂

40代◆◆◆◆

ガンバっていこう！！

40代◆◆◆◆

夫婦の愛情表現として必ずしも性交渉が伴う必要があるとは思いません。円満にやっ
ていけると思います。大切なのは、性の話題も含めて何でも話すことのできる環境を作る
ことではないでしょうか。私たち夫婦は子供がいまませんので会話はより大切なものになり
ます。話を聞いてあげる、聞いてもらうことでストレスは、大部分解消されていると思
います。

ですが一方、性的欲求はないわけではありませんので他のことにて解消しております。
これからの20年ぐらいいは、性を楽しむことができればいいあと考えております。

40代◆◆◆◆

二人目の子どもの妊娠以降、夫婦間の性交渉が全くなくなった。時間に追われる中で、
面倒臭がっているのが現実。結局夫婦間の性交渉は単に子どもをつくるためだったのかと
認めざるをえないのかと自問自答することがある。

40代◆◆◆◆

パートナーとの性的生活がない場合、パートナーとは子どもを育てる為の協力者的な関
係になっている様である。はたしてそれが幸福といえるかは疑問の残るところだが。今の
ところ一緒にいてこれと言う不満もないが、子供が独立した後は、どうなのかという点で
は自信があるとは言いきれない。やはり関係が無くなった時点から、愛情の確認ができな
くなった様に感じる。男の意見かもしれないが、パートナーは拒否するにいたった理由は
特にないと。愛情はあるとの事だが、一方的に拒否された男として愛情を維持し続け
ることは難しいように思う。これは男のひとりよがりか？

60代◆◆◆◆◆◆

配偶者以外との性交渉を否定しません。夫婦ともにそれを楽しめればよいと思います。
不倫等の言葉にしばられる必要は有りません。特に老年になってからは“自由な”性交渉
こそ若さを保つ為にも必要だと思います。

70代◆◆◆◆◆◆◆◆

互いに70歳を過ぎると、性的生活よりも、旅行、お互いの趣味等が関心事になり、満
足した生活を送っています。お互いに束縛しないということが基本になっています。

70代◆◆◆◆◆◆◆◆

妻とは生活を長い間ともにし、若い時は、性器を愛撫、なめ合う等深い愛情表現と互い
の満足感が得られた。しかし、現在は、妻は性交痛等のため、交渉は途絶えている。

月に一回程度のマスターベーションを闇ルートから手に入れた DVD を見ながら行っている。多少の空しさはありますが、気分が安定、いらいら、怒り等が鎮まります。

70代◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

私が40代の初めころから、夫婦交換（夫婦交際）をはじめました。現在も同好の集まりで楽しんでいます。自分の体調の悪いときは、妻に若い男性と交際をして楽しんでもらっています。セックスは、人生最高の悦楽です。

70代◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

男性にとって、身体が全く動かなくなる状態になるまで、あるいは気力がなくなるまで、女性にあるいは性交に興味を持ち続けるのではないか。それを性欲というのであれば、性欲がなくなった時点で男性の生命力はなくなるのではないか。

高齢化と共に、男性の性交能力が低下する原因が第一はEDによるもの、特に精神的なものが大きい。その精神的なものの主たる原因は、相手（女房）の性交への態度にある。性交にいたる性行為が楽しいものであるということを、共有してこなかった男性側の責任であり、自業自得というものでしょう。高齢化と共に、他の女性と性行為を試みるほど元気もなくまたお金もない。

70代◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

老年になったら家庭を破壊しない程度に異性との交流をした方がよい。性行為は論外。

80代（無効票）◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

人間生活にとって大変大切な課題だと思う。とりわけ高齢化した中であって、夫婦生活の中の大事な営みの一つである。興味、関心を持つのはふつうであり健全なことであるが、あくまでも道義的、倫理的な域を出ることは許されない。

単身女性の記述から ♀

50代◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

男性でも女性でも性行為は大切なもの！！しかし興味本意や自己満足の世界では不潔なものになってしまうと思います。

本当に相手が愛しく、大切にしようと思うなら、お互いがお互いをどのように理解し、いたわりあい、支えあうか、次のステップに導くための手段方法が性行為より重要と思います。

50代◆◆◆◆

性についての自分の反応が若い頃とずいぶん変わったと思う。4人の子供を育てているときはあまり思わなかったが、夫が死亡後、数年して知り合った相手とお付き合いしてしまいました。配偶者が居るので、常に罪悪感があるにもかかわらず、性的関係を続けてしまう。

自分の性がわからなくなるときもあり、何か、流されている感があります。

50代◆◆◆◆

若い頃は結婚しなければ、関係を持つてはいけないと思っていました。40代で配偶者のいる方と知り合い、性的関係を持ちましたが、家庭に迷惑がかからなければ良いと思っておりました。生きる張り合いや、別の自分を発見したりと、自分の女性としての自信も持てました。

50代になり、このままずっとコミュニケーション関係は続かないだろうと思い止めました。後ろめたさのようなものがあつたので、現在は、今の状態で満足しています。年代で、意識が変化していきました。

60代◆◆◆◆◆

この年になって「人間の性」が幾つになっても枯れないということを知った。父が83才で亡くなったが、今思えば、父のそういう面をもっと理解できたのにと、少し悔やんでいる。

自分は、30歳近くで離婚し、50代まで3人の方と付き合った。そのうちの一人（妻帯者）と20年間付き合った。一方的な性交渉だったし、膣が湿らず痛くなるセックスも強いられたが、おおむね満足できる相手であった。

60代◆◆◆◆◆

性行為は望みませんが、男性と会話したりすることは楽しいことです。茶飲み友達はほしいと思います。男性の物の見方、考え方にふれるのは、心理的に良い刺激になります。

60代◆◆◆◆◆

私は、性交渉は余りしたいとは、思いません。一緒に、スポーツ、ハイキングなど同じ趣味をしたいのが希望ですが、男性はそうはいかないようです。

60代◆◆◆◆◆

性格の不一致とよく言われますが、まさしくそれは性生活の不一致ではないかと思えます。私と夫が長い間うまく行かなかつたのも新婚時代からのセックスに不満があつたから

と思われます。そこに様々の不平不満が積もっていき、50才をすぎて別居しました。その選択が正しかったかどうかはともかく、彼とのセックスは2度と嫌との思いは今も変わりません。それは物理的ではなく、精神的に受け入れられなかったのです。女が相手に対し、性的な喜びを感じるには相手の優しさが最も重要です。私の場合は特に。

現在お付き合いしている男性はいわゆる勃起不全で、性交渉は出来なくなりましたが、もう私も70才を目前です。無理にしたいとは思いません。

70代◆◆◆◆◆◆◆◆

思考、思想、趣味、生き方のどれもが一致していた人生の相棒がなくなって10年。彼以外の誰とも体をふれあわせる気持ちにならず、日を送っています。その彼と出会う以前は、かなり奔放に性を交流できましたが…。ゆれながら、“わが純愛”に戸惑ってしまいます。

有配偶女性の記述から ♀

40代◆◆◆◆

不妊治療がうまくいかず、中止した。しかし、あきらめきれず、自然妊娠を望んでいる。40才を過ぎ、性欲も余りなくなり、夫との性行為は、ほとんど「子作りのために必要なもの」になっている。

40代◆◆◆◆

もう、年齢的にも子作りが目的のsexではないので、お互いを尊重しながらsex lifeを楽しめれば素晴らしいと思います。でも、まだ妊娠の可能性はゼロではないので、気をつけていなければなりません…妊娠の心配がなくなって、避妊の必要もなくなれば、もっと楽しめるかも…。

40代◆◆◆◆

現在中学生の息子を出産後夫とはまったく生活を共にしていない。性格の不一致のため。息子を育てるために分業はしているが、夫婦としての役割分担はしていない。基本的に別居している。仕事のストレスが強かったりすると、誰かに抱かれて眠りたいと思うことが多々あるが、それを夫に期待することはまったくない。

40代◆◆◆◆

性交渉があまり好きでないので、できることならしたくないと思う反面、夫に拒否ばかりしていても申し訳ないなと思ったりして、正直憂鬱です。子供と一緒に寝てしまったほうがいいと思っています。

40代◆◆◆◆

性的生活がなくなった理由の1つとしてお互いが休む時間のずれがあると思います。遅くまで待ってられませんから…。少しでも休む時間が合えばまだその生活がたもてていたのかもしれませんが。

出かけたとき、たまに同じベッドで休むときがありますが、その気になれず、申し訳なく思うときがあります。素直に言えば、面倒なのかもしれませんが。求められても答えは、“NO”と出してしまう自分に、“YES”を言えたらいいのに…と思うときも多々あります。頭ではそう思っているけど、心の中では、“NO”となってしまう。相手は、ストレスがたまっているのだらうと思いますが…。

もし子供でもできたらと変なことを考えてしまったり、感じてなくても感じてるようにしなくちゃいけないと思ってしまったり…そこが一番の問題です。生理が終わればいいのにと思ったりした事もあります。夫はきっとさみしい思いをしていると思います。

40代◆◆◆◆

相手が年上で、性交不能になるのが早かったのですが、別に、義務はないし、精神的な愛情とも相関していないので、仕方ないか、というだけの話でした。

40代◆◆◆◆

結婚して10年も過ぎると、だんだん空気のようなものになるので、sexyな対象でなくなるような気がします、お互いに。

50代◆◆◆◆

自分は性的に自由でありたいのに、(夫も同じであってもかまわないのに)、子については、どうも保守的になってしまいます。なぜだろう……？

50代◆◆◆◆

現在、夫婦間では性生活はありませんが、離婚は考えていません。性的欲求は、他の男性と機会があれば、と思っています。

50代◆◆◆◆

39歳のとき、3人目を出産。その後、全くSEXに興味がなくなり、頭では、パートナーに申し訳ないと思ったが、自分自身に正直になると、しない方が自然だった。

そういう私の変化を、パートナーは受け入れてくれて、精神的な結びつきが強く、信頼も増したと思う。だから、一般的にこうあるべしと言うのはすごくナンセンス。2人の関係が良かったら、何でもO.K.と思う。

50代◆◆◆◆

若い頃は何を言わなくても愛情を感じる事が多かったけれど、最近、何かに表さないと伝わらないと思うことが多い。ア・ウンの呼吸も良いのかもしれないけれど、それだけではダメなんだなど、感じてきている。それが老いたと言うことなんだと納得。時間と体力が必要。自分だけは、相手の事を思っていると思っても、現実には子供や孫に関わっていることのほうが多いことに少し反省しているこの頃だ。

50代◆◆◆◆

やさしい労わりの言葉を時々かけることによって、女性がやわらかい気持ちを持てるということを知ってもらいたい。日常会話がもう少しあればその中にサラリと、子供のいないところでは、性的なこともアピールして欲しい。時々のごちみなさがなくなると思う。若いころはスムーズだったが、50代になると体も疲れて、夜おそくに関係を持つ気、体力ともに落ちる。月2-3回でいいので、十分に時間をかけてもらいたいし、かけたいと思うが、全く相手に伝えられていない。

50代◆◆◆◆

悲しいのか良かったのか、子どもがある程度大きくなってから、自分がパートで働き始めると、夜は、別室で寝る様になり、お互いに一人でゆっくり寝るようになったので、性生活もなくなりました。

50代◆◆◆◆

私は厳格な家庭で育ち、性に興味を持つことを禁じられていました。セックスは、男性を喜ばせるもので、応えるのが妻の務めと思い込んでいました。夫婦間のSEXは、とてもつまらないものになっていました。自分を不感症かとも思っていました。いつの間にか夫婦間でなくなり寝室も別になり、10年近くたちました。自分がSEXが嫌いだから、夫が見向きもしなくなったとあきらめていました。数年前の同窓会で、久しぶりに会った男性と意気投合し、盛り上がった雰囲気の中肌を合わせたら、素晴らしい快感を得られました。初めて、性とはこういうものかと思いました。それ以来、自分の思い込みを解放して、夫に求めるようになりました。結ばれると本当の意味で愛し合うことができると感じて夫婦間の危機を脱したように思います。

60代◆◆◆◆

40代後半ごろからでしょうか、排卵期前後にしか性欲がおこらないように感じて自分の体が動物なんだなあと感じたことを覚えています。

相手に対する尊敬や信頼がなければセックスをしようという気持ちにはなりません。自

分の性生活は決して悪くはなかったです。扇情的なものはむろん避けてまじめに考え、取り組みました。人のセックスを見たくはないし自分の秘め事も見られたくないです。でも男性は違うんじゃないかと思うようになりました。夫には自分の考えを押し付けて協力してもらっていますが、たぶん彼はとまどって、不満を感じているかもしれません。あれっと思ったのはもうずいぶん前ですが、従軍慰安婦の問題が取り沙汰されていた頃です。私は大いに憤りました。夫も当然わたしの考えに賛意をしめすと思ったのが、そうではなかった。ショックでした。

60代◆◆◆◆◆

日常生活の中で、夫の愛情を都度感じているので、性生活の有無は大した重要性を持っていない。特にさけている訳でもなく、他の生活、スポーツ等のほうに関心があるので。いつも一緒にいて、外出の際はほとんど手をつないだり、腕を組んだりしているため、近所でも有名な仲よし夫婦と言われており、不満はない。

60代◆◆◆◆◆

性交渉でもっと満足するには相手に伝えなければならない。はずかしいという気持ちと痛みがあり、途中で中止するのは申し訳ない気持ち、面倒くさいといった状態になり、遠のいてしまっています。

私は40歳で子宮全摘術（筋腫）をしていますので、閉経や更年期を認識していません。妊娠する心配がなかったので、安心して性交することが出来ました。

30代で夫が浮気をしていても、男性の性を知らなかったため何年も性交等なかった時もありました。こんなものかと思ったりもしました。

60代◆◆◆◆◆

現在とても悩んでいることは、夫に過去から現在浮気の女性がいることです。夫は、過去のことだといっていますが、私から見ると、現在もと思う面もあります。裁判所で調停もしたのですが、あまり期待できませんでした。現在でも世の中は、男性上位という事が解ったからです。この人とやっていかなくはと思っている自分が情けないです。

60代◆◆◆◆◆

この年齢になると、私は性的欲求はないのですが、夫は、まだ性欲があるようです。そのギャップをどのようにして埋めるのか、悩ましい問題だと思います。私自身は、ふれあったり、ハグしあったりで、むしろ心のつながり、暖かさを感じる事で、十分なのですが。夫は私の不在中に、エロ本やエロ画像を観ているようですが、そのことが、私にとってはとても不愉快ですし、夫婦の信頼感にも微妙に影響を与えています。

70代◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

日常会話は無いのに、性だけ求められても困ります。

80代（無効票）◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

性交がなくなるのは双方とも自然の形で、年齢になると欲求が少なくなります。性交渉がなくても、あったころと、精神的には何の変化もありません。男性は可能であれば何歳でも欲求があるものと思いますが…女性のほうはそれはないと思います。

II

2012年・中高年セクシユアリティ
調査結果の全データ

調査目的・方法等の概要

調査目的

中高年の性意識、配偶者または交際相手との関係性、性行動、性機能を調査し、性にかかわる相談、診療などの臨床活動に役立てるとともに、性の実態、性の健康、より良い男女関係を考えていくための科学的な研究資料として社会に還元していく。

調査者

<日本性科学会 セクシュアリティ研究会>
荒木乳根子 [田園調布学園大学] (代表)
石田雅巳 [介護老人保健施設ハートランドぐらんぱぐらんま]
大川玲子 [国立病院機構千葉医療センター]
金子和子 [日本性科学会カウンセリング室]
堀口貞夫 [主婦会館クリニック]
堀口雅子 [女性成人病クリニック]

調査票の構成

- I 全員対象………基本的属性等：15 問および二次的問い 3 問
- II 有配偶者対象…性意識：4 問
 - 配偶者との関係性：11 問
 - 夫婦の性生活：33 問および二次的問い 6 問
- III 単身者対象………結婚歴等：2 問
 - 性意識：4 問
 - 交際相手および性的関係：11 問および二次的問い 4 問
 - 性生活：32 問および二次的問い 7 問

調査対象

関東圏に在住する 40 歳～79 歳の男女

調査期間

2011年1月～2012年12月

単身者のデータがなかなか集まらないため、調査期間が2年間という長期に及んだ。

調査方法

自記式調査票に各自が記入後、所定の封筒に入れて投函する。

研究メンバーが多方面（個人、グループ、団体、機関、講演会・研修会聴衆など）に調査票と返信用封筒を渡し、協力を依頼した。対象者に直接依頼した場合と間接的に配布を依頼した場合があった。

調査票配布数

約6,500部を配布したが、間接的に配布を依頼した場合も多く、実際に対象者個人に渡った部数は不明。

有効回答数

1,162人（回答回収数1,242人、有効回答率93.6%）

有配偶者：男性404人、女性459人、合計863人

単身者：男性92人、女性207人、合計299人

無効回答者：80人（30代18人、80代34人、無回答項目等が多く無効9人、年齢・性別不明12人、全て無記入7人）

回答者	有配偶者 実数 (%)		単身者 実数 (%)			
	男性	女性	男性		女性	
40代	106 (26.2)	128 (27.9)	37 (40.2)	60 (65.2)	67 (32.4)	122 (58.9)
50代	97 (24.0)	132 (28.8)	23 (25.0)		55 (26.6)	
60代	92 (22.8)	129 (28.1)	13 (14.1)	32 (34.8)	50 (24.2)	85 (41.1)
70代	109 (27.0)	70 (15.3)	19 (20.7)		35 (16.9)	
総計	404 (100.0)	459 (100.0)	92 (100.0)		207 (100.0)	
平均年齢	59.5 (SD11.7)	57.2 (SD10.4)	56.0 (SD12.1)		57.1 (SD11.4)	

【表の見方】

*設問項目ごとに男女別・年代別の回答%を表にした。表の数値が年齢、年数を表すものがいくつかあるが、(年齢) (年数) と付記した。

*四捨五入して正数%の表としたため、合計が100%になるとは限らない。

*回答該当者人数は表の下部に記載した(人数=)。

*二次的問いは回答者が限定されるが、その回答者を100%とした数値を示した。

2

有配偶者を対象とする調査結果の全データ

基本的属性

【設問 A は単身者を含む全員に質問】

A1 性別についてお答え下さい。

A2 年齢についてお答え下さい。

A3 現在、配偶者がいらっしゃいますか。

(A1～A3 の結果は省略、調査概要の回答者男女別年代別構成表を参照)

A4 同居している人すべてに○をつけて下さい。(複数回答)										
	男性					女性				
	40代	50代	60代	70代	全体	40代	50代	60代	70代	全体
配偶者	93	86	98	98	94	96	93	95	99	95
父母・ 義父母	12	18	7	5	10	16	25	6	0	13
息子	62	43	22	10	34	51	39	20	14	33
娘	56	55	23	11	36	47	51	12	16	34
孫	0	2	2	5	2	1	3	2	13	4
兄弟姉妹・ その他・ 一人暮らし	4	8	4	3	5	4	3	2	1	3
人数 =	106	97	92	109	404	128	132	129	70	459

A5 仕事についてお答え下さい。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	1. 過去、職業についていた	3	2	47	81	34
	2. 現在、職業についている	97	98	53	17	66
	3. 職業についたことがない	0	0	0	1	0
	4. 無回答	0	0	0	1	0
	合計 100% : 人数 =	106	97	92	109	404
女性	1. 過去、職業についていた	12	20	56	77	36
	2. 現在、職業についている	88	77	37	9	59
	3. 職業についたことがない	0	2	7	14	5
	4. 無回答	0	1	0	0	0
	合計 100% : 人数 =	128	132	129	70	459

SA5 (A5で1、2と答えた人) どのような仕事か、一番長く就労した職業についてお答え下さい。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	専門的・技術職	25	33	32	40	32
	管理的職業	15	31	27	29	26
	事務職	12	12	13	14	13
	販売業	19	10	10	4	11
	サービス業	14	4	7	3	7
	その他・無回答	15	9	12	10	12
	合計 100% : 人数 =	106	97	92	109	404
女性	専門的・技術職	59	46	31	27	43
	管理的職業	2	10	5	3	6
	事務職	23	25	32	32	27
	販売業	2	2	10	10	5
	サービス業	4	5	10	3	6
	その他・無回答	9	12	13	25	13
	合計 100% : 人数 =	128	128	120	60	436

A6 最終学歴についてお答え下さい。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	旧制中学校・高等女学校・師範学校	0	0	0	1	0
	中学校	0	0	1	6	2
	高等学校	12	14	21	17	16
	短期大学・専門学校	11	7	5	6	8
	大学・大学院	76	78	72	68	73
	その他・無回答	1	0	1	2	1
	合計 100% : 人数 =	106	97	92	109	404
女性	旧制中学校・高等女学校・師範学校	0	0	1	10	2
	中学校	0	1	2	11	3
	高等学校	11	19	40	31	24
	短期大学・専門学校	47	42	27	19	36
	大学・大学院	41	39	29	29	35
	その他・無回答	2	0	2	0	1
	合計 100% : 人数 =	128	132	129	70	459

A7 収入は次のどれによっていますか。いくつでも○を付けて下さい。(複数回答)						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	自分の仕事の収入	99	98	55	26	69
	パートナーの収入	24	35	10	4	18
	財産、家作など	0	4	17	17	9
	恩給・年金	0	0	78	92	43
	身内の援助	0	2	0	0	1
	その他	0	1	7	3	2
	人数 =	106	97	92	109	404
女性	自分の仕事の収入	85	71	37	13	57
	パートナーの収入	86	77	43	20	61
	財産、家作など	2	8	14	9	8
	恩給・年金	0	5	75	87	36
	身内の援助	1	2	2	1	2
	その他	1	3	7	7	4
	人数 =	128	132	129	70	459

A8 最近の健康状態についてお答え下さい。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	健康である	59	50	52	43	51
	だいたい健康	31	44	42	46	41
	あまり健康ではない	9	5	4	6	6
	健康ではない	0	0	1	3	1
	無回答	0	1	0	2	1
	合計 100% : 人数 =	106	97	92	109	404
女性	健康である	52	45	51	30	47
	だいたい健康	45	45	44	60	47
	あまり健康ではない	2	8	3	9	5
	健康ではない	1	1	1	1	1
	無回答	1	1	1	0	1
	合計 100% : 人数 =	128	132	129	70	459

A9 現在、病院で通院治療をしている病気がありますか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	ある	27	49	62	68	51
	ない	73	51	38	29	48
	無回答	0	1	0	3	1
	合計 100% : 人数 =	106	97	92	109	404
女性	ある	28	43	44	64	43
	ない	70	56	55	34	56
	無回答	2	1	1	1	1
	合計 100% : 人数 =	128	132	129	70	459

SA9-1 (A9で「ある」と答えた人) その病気はあなたの性生活に悪い影響を与えていますか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	与えている	10	15	7	18	13
	与えていない	72	64	81	65	70
	分からない	17	21	12	18	17
	無回答	0	0	0	0	0
	合計 100% : 人数 =	29	47	57	74	207
女性	与えている	17	14	9	11	12
	与えていない	61	68	83	69	71
	分からない	22	18	7	16	15
	無回答	0	0	2	4	2
	合計 100% : 人数 =	36	57	57	45	195

A11 (女性のみ) 出産の経験はありますか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
女性	ある	77	89	97	90	88
	ない	23	11	3	10	12
	合計 100% : 人数 =	128	132	129	70	459

A12 (女性のみ) 妊娠中絶の経験はありますか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
女性	ある	27	39	45	44	38
	ない	73	61	54	54	61
	無回答	0	0	1	1	0
	合計 100% : 人数 =	128	132	129	70	459

A13 (女性のみ) 月経は若い頃 (30代前半) と比べてどうですか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
女性	変化ない	53	4	1	3	17
	不規則になってきた	36	12	1	0	14
	閉経した	9	83	97	96	68
	無回答	2	1	2	1	2
	合計 100% : 人数 =	128	132	129	70	459

A14 (女性のみ) 更年期障害で辛い経験をしたことはありますか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
女性	経験していない	90	50	58	67	66
	現在、ある	8	30	5	0	12
	過去に経験した	2	20	37	31	21
	無回答	1	0	0	1	0
	合計 100% : 人数 =	128	132	129	70	459

A15 (女性のみ) この1年間に、尿失禁 (尿もれ) で困った経験がありますか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
女性	ある	28	34	30	31	31
	ない	71	66	70	67	69
	無回答	1	0	0	1	0
	合計 100% : 人数 =	128	132	129	70	459

性についての考え方

【設問 B は有配偶者への質問】

B1 性に関する以下の考え方について、あなたの考えと一致するほうに○をつけて下さい。												
	男性											
	40代			50代			60代			70代		
	はい	いいえ	NA	はい	いいえ	NA	はい	いいえ	NA	はい	いいえ	
性はコミュニケーション（人間関係）である	92	9	0	93	3	4	95	4	1	95	2	
性は快楽である	96	4	0	95	2	3	92	7	1	85	9	
性は楽しいものだ	94	6	0	97	0	3	97	3	0	93	3	
性について口にしてはいけない	12	87	1	6	91	3	15	83	2	18	75	
性は不潔で汚らしい	0	99	1	2	95	3	1	97	2	0	94	
性の目的は子供を産むことである	26	74	1	23	71	6	17	77	5	24	68	
結婚や婚約なしに性的な関係をもつのはよくない	9	92	0	11	84	5	25	74	1	51	45	
愛情があれば性的な関係をもってよい	77	22	1	78	17	5	78	21	1	55	37	
互いの合意があれば性的な関係をもってよい	86	14	0	87	8	5	88	12	0	72	23	
売買春は悪いことだ	56	44	0	55	39	6	67	30	2	69	28	
閉経後は性生活を止めるのが自然だ	14	82	4	6	86	8	9	88	3	10	78	
老年になったら男性は性欲が無くなる	31	63	6	19	77	4	24	76	0	22	75	
老年になったら女性は性欲が無くなる	31	60	9	23	64	13	32	57	12	24	50	
性は男性がリードするものだ	26	73	2	28	66	6	36	60	4	47	47	
夫の性的な求めに応じるのが妻の心得だ	27	71	2	18	75	7	33	60	8	47	35	
妻の性的な求めに応じるのが夫の心得だ	40	59	2	29	66	5	46	50	4	60	27	
女性から求めるのは恥ずかしいことだ	1	97	2	1	95	4	4	94	2	2	88	
人数 =	106			97			92			109		

B2 あなたは、自分が配偶者以外の異性と親密な付き合いをすることについてどう思いますか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	付き合うべきではない	38	33	19	22	28
	性的な関係がないならかまわない	18	18	33	37	26
	性的関係があっても、家庭に迷惑がかからないならかまわない	37	38	34	26	33
	家庭に迷惑がかかっても仕方がない	0	0	0	1	0
	好きになったら付き合うのが自然だ	7	8	15	8	9
	無回答	1	3	0	6	3
	合計 100% : 人数 =	106	97	92	109	404
女性	付き合うべきではない	48	56	44	44	49
	性的な関係がないならかまわない	27	17	36	46	30
	性的関係があっても、家庭に迷惑がかからないならかまわない	16	17	12	6	14
	家庭に迷惑がかかっても仕方がない	0	0	1	0	0
	好きになったら付き合うのが自然だ	8	9	4	1	6
	無回答	1	1	2	3	2
	合計 100% : 人数 =	128	132	129	70	459

女性																			
全体					40代			50代			60代			70代			全体		
	NA	はい	いいえ	NA	はい	いいえ	NA	はい	いいえ	NA	はい	いいえ	NA	はい	いいえ	NA	はい	いいえ	NA
4	93	5	2	88	12	0	89	11	1	88	12	1	86	4	10	88	10	2	
6	92	5	3	73	23	3	67	28	5	62	28	10	61	20	19	67	26	8	
5	95	3	2	75	23	2	72	23	5	61	26	12	70	19	11	70	23	7	
6	13	84	3	13	88	0	11	88	1	18	76	6	19	69	13	15	82	4	
6	1	96	3	2	98	0	1	99	0	2	95	3	1	87	11	1	96	3	
8	23	72	5	13	85	2	14	83	4	8	87	5	17	73	10	12	83	5	
5	24	73	3	13	87	1	23	75	2	43	54	2	69	26	6	33	65	2	
8	72	24	4	71	27	2	66	30	5	46	47	7	31	56	13	56	38	6	
6	83	15	3	84	15	2	70	25	5	61	35	5	43	39	19	67	27	6	
4	62	35	3	85	15	0	85	11	5	90	8	2	93	3	4	88	10	3	
12	10	83	7	7	89	4	12	83	5	14	81	5	10	83	7	11	84	5	
3	24	73	3	17	76	7	17	75	8	33	61	7	36	46	19	24	67	9	
27	27	57	15	34	60	6	39	57	5	50	48	2	47	43	10	42	53	5	
6	34	61	5	27	70	3	30	66	5	40	56	4	43	50	7	34	62	4	
18	31	60	9	16	82	2	17	78	5	29	67	5	39	53	9	23	72	5	
14	44	50	6	18	80	2	17	75	8	28	67	5	30	54	16	22	71	7	
10	2	93	5	20	79	2	14	81	5	22	76	2	26	66	9	20	77	4	
	404			128			132			129			70			459			

B3 配偶者が、あなた以外の異性と親密な付き合いをすることについてどう思いますか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	付き合うべきではない	59	44	30	34	42
	性的な関係がないならかまわない	20	31	41	38	32
	性的関係があっても、家庭に迷惑がかからないならかまわない	16	19	16	12	16
	家庭に迷惑がかかっても仕方がない	0	0	0	2	1
	好きになったら付き合うのが自然だ	6	3	12	10	8
	無回答	0	3	0	5	2
	合計 100% : 人数 =	106	97	92	109	404
女性	付き合うべきではない	49	57	49	39	50
	性的な関係がないならかまわない	30	14	30	47	28
	性的関係があっても、家庭に迷惑がかからないならかまわない	15	18	15	9	15
	家庭に迷惑がかかっても仕方がない	0	1	2	0	1
	好きになったら付き合うのが自然だ	6	8	2	4	5
	無回答	0	2	3	1	2
	合計 100% : 人数 =	128	132	129	70	459

B4 あなたにとって性はどのような意味をもつと思いますか（3つ以内、○を付けてください）。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	愛情表現・愛情の確認	76	76	79	70	75
	ふれあい・コミュニケーション	60	71	70	47	61
	やすらぎ・安心感	35	37	45	38	38
	肉体の充足・快楽	56	54	54	51	54
	精神的充足	24	17	17	33	23
	ストレス解消	4	6	9	6	6
	自信をつける	1	4	3	6	4
	生き甲斐・活力剤	8	5	15	22	13
	子ども作り	30	14	20	16	20
	面倒なこと	1	2	3	0	2
	不快・苦痛なもの	0	0	0	0	0
	義務	1	0	0	1	1
	特に意味はない・自分とは無関係	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
人数=		106	97	92	109	404
女性	愛情表現・愛情の確認	73	73	68	64	70
	ふれあい・コミュニケーション	66	66	54	47	60
	やすらぎ・安心感	41	35	33	36	36
	肉体の充足・快楽	27	27	22	20	24
	精神的充足	20	17	18	23	19
	ストレス解消	3	3	1	1	2
	自信をつける	2	1	1	0	1
	生き甲斐・活力剤	1	3	5	6	3
	子ども作り	21	30	23	26	25
	面倒なこと	13	8	20	11	13
	不快・苦痛なもの	2	8	9	3	6
	義務	5	5	8	6	6
	特に意味はない・自分とは無関係	2	5	3	6	4
	その他	1	1	2	0	1
人数=		128	132	129	70	459

配偶者との関係について

B5 現在の配偶者と結婚して何年になりますか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	平均結婚年数	14.9	25.6	35.8	44.9	30.2
	無回答を除く人数 =	105	95	90	107	397
女性	平均結婚年数	15.4	27.3	37.5	48.3	30.1
	無回答を除く人数 =	127	132	129	69	457

B6 お二人の結婚は次のどちらですか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	見合い結婚	9	7	30	49	24
	恋愛結婚	92	91	67	50	75
	無回答	0	2	2	2	2
	合計 100% : 人数 =	106	97	92	109	404
女性	見合い結婚	8	21	33	50	25
	恋愛結婚	90	80	67	50	75
	無回答	2	0	0	0	1
	合計 100% : 人数 =	128	132	129	70	459

B7 現在の結婚生活全般について満足していますか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	満足している	52	45	41	55	49
	どちらかといえば満足している	35	34	45	31	36
	どちらかといえば満足していない	5	9	10	6	7
	満足していない	9	8	2	6	6
	無回答	0	3	2	2	2
	合計 100% : 人数 =	106	97	92	109	404
女性	満足している	31	39	30	50	36
	どちらかといえば満足している	48	43	52	36	46
	どちらかといえば満足していない	13	13	13	13	13
	満足していない	6	5	5	1	5
	無回答	2	0	0	0	1
	合計 100% : 人数 =	128	132	129	70	459

B8 配偶者と過ごす時間は多い方ですか、少ない方ですか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	多い	16	24	29	51	30
	どちらかといえば多い	30	27	38	26	30
	どちらかといえば少ない	40	29	22	15	26
	少ない	13	19	8	6	11
	無回答	1	2	3	3	2
	合計 100% : 人数 =	106	97	92	109	404
女性	多い	18	26	38	51	31
	どちらかといえば多い	37	31	33	39	34
	どちらかといえば少ない	26	26	19	7	21
	少ない	19	17	10	3	13
	無回答	1	1	0	0	0
	合計 100% : 人数 =	128	132	129	70	459

B9 夫婦の日常の会話は多い方ですか、少ない方ですか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	多い	19	27	19	32	24
	どちらかといえば多い	35	27	44	37	35
	どちらかといえば少ない	34	33	27	20	29
	少ない	11	11	9	9	10
	無回答	1	2	2	2	2
	合計 100% : 人数 =	106	97	92	109	404
女性	多い	21	24	23	31	24
	どちらかといえば多い	34	33	33	41	35
	どちらかといえば少ない	29	27	30	14	26
	少ない	15	14	13	13	14
	無回答	1	2	1	0	1
	合計 100% : 人数 =	128	132	129	70	459

B10 配偶者との関係では、どのような交流を求めていますか (3つ以内、○を付けてください)。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	日常的会話	74	71	84	83	78
	家庭のことを相談しあう	72	65	59	55	63
	悩みを話し合う	32	16	13	16	19
	深い精神的な問題を話し合う	9	4	10	5	7
	感謝やいたわりの言葉	40	38	30	26	33
	積極的な愛情表現	9	6	3	8	7
	家事をともにする	15	16	26	27	21
	外出、趣味などをともにする	27	53	53	51	46
	その他	2	2	0	0	1
	人数 =	106	97	92	109	404
女性	日常的会話	68	73	72	87	73
	家庭のことを相談しあう	55	64	57	57	59
	悩みを話し合う	21	19	17	17	19
	深い精神的な問題を話し合う	11	9	4	14	9
	感謝やいたわりの言葉	45	39	38	30	39
	積極的な愛情表現	5	4	3	1	4
	家事をともにする	23	22	28	24	24
	外出、趣味などをともにする	40	46	39	33	40
	その他	2	2	5	3	3
	人数 =	128	132	129	70	459

B11 あなたは配偶者に対して愛情があるほうだと思いますか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	ある	57	55	48	55	54
	どちらかといえばある	34	33	41	34	35
	どちらかといえばない	5	6	8	7	6
	ない	5	4	1	1	3
	無回答	0	2	2	3	2
	合計 100% : 人数 =	106	97	92	109	404
女性	ある	39	39	42	47	41
	どちらかといえばある	42	48	41	46	44
	どちらかといえばない	13	10	12	6	11
	ない	6	3	5	1	4
	無回答	1	0	0	0	0
	合計 100% : 人数 =	128	132	129	70	459

B12 配偶者はあなたに対して愛情があるほうだと思いますか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	ある	47	41	44	42	44
	どちらかといえばある	40	41	40	41	41
	どちらかといえばない	7	12	11	10	10
	ない	7	3	3	2	4
	無回答	0	2	2	5	2
	合計 100% : 人数 =	106	97	92	109	404
女性	ある	49	44	42	50	46
	どちらかといえばある	41	46	45	43	44
	どちらかといえばない	6	8	9	4	7
	ない	3	2	3	3	3
	無回答	1	0	2	0	1
	合計 100% : 人数 =	128	132	129	70	459

B13 最近、配偶者と別れたいと思うことがありますか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	よくある	7	6	4	3	5
	ときどきある	18	12	14	13	14
	あまりない	33	36	34	25	32
	ない	43	43	45	57	47
	無回答	0	2	3	3	2
	合計 100% : 人数 =	106	97	92	109	404
女性	よくある	10	8	6	0	7
	ときどきある	30	17	25	17	23
	あまりない	32	35	30	43	34
	ない	27	40	39	40	36
	無回答	1	0	1	0	0
	合計 100% : 人数 =	128	132	129	70	459

B14 現在、配偶者以外の異性に惹かれることがありますか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	よくある	18	20	14	12	16
	ときどきある	31	30	35	28	31
	まれにある	27	36	29	29	30
	ない	24	12	20	27	21
	無回答	0	2	2	4	2
	合計 100% : 人数 =	106	97	92	109	404
女性	よくある	6	4	3	0	4
	ときどきある	14	11	5	6	10
	まれにある	21	24	24	21	23
	ない	59	61	37	70	63
	無回答	1	0	0	3	1
	合計 100% : 人数 =	128	132	129	70	459

B15 この1年の間に、配偶者以外の異性と以下のような付き合いがありましたか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	性交渉を伴う愛情関係	13	16	8	7	11
	性交渉以外の愛撫を伴う愛情関係	2	2	7	4	4
	精神的な愛情関係	7	0	8	9	6
	性交渉が主な関係	7	7	3	3	5
	売買春	7	5	2	3	4
	その他	2	2	1	6	3
	異性との親密な付き合いはない	62	64	64	60	62
	無回答	1	4	8	9	5
合計 100% : 人数 =	106	97	92	109	404	
女性	性交渉を伴う愛情関係	11	9	4	0	7
	性交渉以外の愛撫を伴う愛情関係	1	1	0	0	0
	精神的な愛情関係	0	4	3	0	2
	性交渉が主な関係	2	0	1	1	1
	売買春	0	0	0	0	0
	その他	1	2	7	4	4
	異性との親密な付き合いはない	82	80	79	79	80
	無回答	4	5	6	16	7
合計 100% : 人数 =	128	132	129	70	459	

夫婦の性生活について

B16 夫婦の寝室は一緒ですか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	一緒である	70	72	60	51	63
	別である	26	26	34	46	33
	時々別にする	4	1	2	1	2
	無回答	0	1	4	2	2
	合計 100% : 人数 =	106	97	92	109	404
女性	一緒である	70	64	59	67	65
	別である	25	33	40	31	33
	時々別にする	4	2	1	1	2
	無回答	1	0	1	0	0
	合計 100% : 人数 =	128	132	129	70	459

B17 あなたご自身は若い頃と比べて性的欲求の強さは変化しましたか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	若い頃より増えた	2	0	1	1	1
	若い頃と同じくらい	22	13	9	6	12
	若い頃より少し減少	43	38	29	16	31
	若い頃より大いに減少	31	41	41	51	41
	欲求はほとんどなくなった	3	6	16	26	13
	無回答	0	1	3	2	2
	合計 100% : 人数 =	106	97	92	109	404
女性	若い頃より増えた	9	2	2	0	4
	若い頃と同じくらい	16	6	3	1	7
	若い頃より少し減少	30	13	8	9	16
	若い頃より大いに減少	26	37	27	27	30
	欲求はほとんどなくなった	17	42	60	60	43
	無回答	3	0	0	3	1
	合計 100% : 人数 =	128	132	129	70	459

B18 現在あなたにとって、配偶者とはどのような性的関係が望ましいですか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	性交渉を伴う愛情関係	66	41	47	38	48
	性交以外の愛撫を伴う愛情関係	5	12	13	17	12
	精神的な愛情やいたわりのみ	26	42	35	39	36
	その他	2	3	3	3	3
	無回答	1	1	2	4	2
	合計 100% : 人数 =	106	97	92	109	404
女性	性交渉を伴う愛情関係	47	22	12	10	24
	性交以外の愛撫を伴う愛情関係	8	17	12	10	12
	精神的な愛情やいたわりのみ	35	55	67	63	54
	その他	8	4	5	7	6
	無回答	2	3	4	10	4
	合計 100% : 人数 =	128	132	129	70	459

B19 あなたと配偶者の性的欲求は一致していますか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	ともに同じ程度の欲求がある	33	14	14	17	20
	相手の欲求が自分より強すぎる	7	3	3	0	3
	相手の欲求が自分より乏しすぎる	32	44	44	37	39
	ともに欲求がほとんどない	21	33	35	38	31
	その他	7	4	1	4	4
	無回答	1	1	3	5	3
	合計 100% : 人数 =	106	97	92	109	404
女性	ともに同じ程度の欲求がある	25	15	9	19	17
	相手の欲求が自分より強すぎる	38	25	26	11	27
	相手の欲求が自分より乏しすぎる	12	6	6	4	7
	ともに欲求がほとんどない	20	39	50	54	39
	その他	6	13	7	4	8
	無回答	1	2	3	7	3
	合計 100% : 人数 =	128	132	129	70	459

B20 あなたがご夫婦が円満な結婚生活を営むために、夫婦間の性生活はどの程度重要だとお考えですか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	重要である	27	18	21	28	24
	どちらかといえば重要である	44	35	33	36	37
	あまり重要ではない	23	34	36	23	29
	重要ではない	4	11	8	11	8
	無回答	2	2	3	3	2
	合計 100% : 人数 =	106	97	92	109	404
女性	重要である	14	16	5	7	11
	どちらかといえば重要である	45	28	25	37	33
	あまり重要ではない	29	38	47	36	38
	重要ではない	12	17	23	17	17
	無回答	1	1	0	3	1
	合計 100% : 人数 =	128	132	129	70	459

B21 お互いが自分の性的感情や欲求について、相手に伝えたり話し合うことがありますか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	互いに伝え合う	33	18	16	22	23
	自分のみ伝える	17	19	24	16	19
	相手のみ伝える	6	3	3	3	4
	伝え合うことはない	43	60	53	55	53
	無回答	1	1	3	5	2
	合計 100% : 人数 =	106	97	92	109	404
女性	互いに伝え合う	34	27	12	26	24
	自分のみ伝える	7	4	1	0	3
	相手のみ伝える	14	12	15	3	12
	伝え合うことはない	45	56	70	61	58
	無回答	1	2	2	10	3
	合計 100% : 人数 =	128	132	129	70	459

B22 配偶者はあなたの性に対する欲求や身体の状態について、分かってきていますか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	分かっている	23	7	16	24	18
	だいたい分かっている	33	42	40	32	37
	あまり分かっていない	23	26	22	19	22
	分かっていない	21	24	17	19	20
	無回答	1	1	4	6	3
	合計 100% : 人数 =	106	97	92	109	404
女性	分かっている	13	15	16	27	17
	だいたい分かっている	43	40	35	33	38
	あまり分かっていない	23	26	20	14	22
	分かっていない	20	17	27	17	21
	無回答	2	2	2	9	3
	合計 100% : 人数 =	128	132	129	70	459

B23 現在、あなたと配偶者の性生活に支障になるような事柄がありますか（3つ以内、○を付けて下さい）。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	プライバシーを守れる寝室がない	31	10	7	3	13
	自分の仕事で余裕がない	38	25	5	5	18
	配偶者の仕事で余裕がない	12	14	8	5	10
	自分の病弱・性障害	4	6	9	11	7
	配偶者の病弱・性障害	5	10	14	15	11
	子供に関する問題	23	7	8	6	11
	老親に関する問題	4	3	5	0	3
	夫婦間の問題	14	20	28	19	20
	その他	9	19	26	21	18
	人数 =	106	97	92	109	404
女性	プライバシーを守れる寝室がない	26	15	3	0	12
	自分の仕事で余裕がない	38	21	6	3	19
	配偶者の仕事で余裕がない	25	12	6	0	12
	自分の病弱・性障害	6	12	5	3	7
	配偶者の病弱・性障害	9	7	10	6	8
	子供に関する問題	12	3	2	1	5
	老親に関する問題	1	6	3	1	3
	夫婦間の問題	15	17	16	10	15
	その他	12	20	24	24	19
	人数 =	128	132	129	70	459

B24 性交渉の時以外でよくする身体的触れ合いに、いくつでも○を付けて下さい。(複数回答)						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	手をつなぐ	26	28	23	20	24
	腕を組む	14	17	14	8	13
	肩を抱く	13	11	5	7	9
	身体に触る	36	33	27	28	31
	抱擁する	27	24	13	11	19
	キスをする	31	16	12	11	18
	肩もみ・指圧・マッサージなど	36	43	47	37	40
	その他	1	2	2	3	2
	ほとんどない	28	32	28	37	31
	人数=	106	97	92	109	404
女性	手をつなぐ	34	27	16	21	25
	腕を組む	20	18	11	16	16
	肩を抱く	7	4	6	6	6
	身体に触る	35	30	26	14	28
	抱擁する	27	14	13	10	17
	キスをする	31	14	9	9	16
	肩もみ・指圧・マッサージなど	52	42	32	29	40
	その他	2	2	2	3	2
	ほとんどない	27	39	49	47	40
	人数=	128	132	129	70	459

B25 現在の性生活に満足していますか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	1. 性交渉の内容・頻度ともに満足している	39	19	16	14	22
	2. 性交渉の内容に不満である	9	4	8	4	6
	3. 性交渉の頻度が少なく不満である	9	13	13	12	12
	4. 性交渉頻度をもっと減らしたい	0	3	0	1	1
	5. 性交渉がなく不満である	26	28	27	27	27
	6. 性交渉がなく満足している	11	25	25	35	24
	7. その他	4	6	5	2	4
	8. 無回答	2	2	5	6	4
	合計 100% : 人数=	106	97	92	109	404
女性	1. 性交渉の内容・頻度ともに満足している	37	19	13	13	21
	2. 性交渉の内容に不満である	11	4	2	1	5
	3. 性交渉の頻度が少なく不満である	9	7	2	3	5
	4. 性交渉頻度をもっと減らしたい	8	9	8	0	7
	5. 性交渉がなく不満である	9	8	5	9	8
	6. 性交渉がなく満足している	22	42	57	57	43
	7. その他	4	8	5	4	5
	8. 無回答	1	4	9	13	6
	合計 100% : 人数=	128	132	129	70	459

SB25 (B25で2、3または5と答えた人) 性的欲求不満をどのように解消していますか。(複数回答)						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	自然に解消	21	16	9	17	16
	がまんしている	17	21	24	17	20
	他のこと(趣味、スポーツ、友人との会合など)をして解消	13	21	24	34	23
	性的な楽しみ(ポルノ雑誌、ビデオ、テレビなど)で解消	25	18	22	17	21
	マスターベーション(自慰)	40	41	47	43	42
	風俗を利用	4	5	7	4	5
	売買春	2	5	2	0	2
	その他	2	11	4	6	6
	人数=	48	44	45	47	184
女性	自然に解消	46	62	30	40	48
	がまんしている	8	8	10	10	8
	他のこと(趣味、スポーツ、友人との会合など)をして解消	14	27	40	50	25
	性的な楽しみ(ポルノ雑誌、ビデオ、テレビなど)で解消	3	8	0	0	4
	マスターベーション(自慰)	35	31	40	20	33
	風俗を利用	0	0	0	0	0
	売買春	0	0	0	0	0
	その他	5	4	0	0	4
	人数=	37	26	10	10	83

B26 この1年間に、性交渉をしたいと思ったことはどれくらいありましたか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	よくあった	33	23	19	28	26
	ときどきあった	32	29	32	17	27
	たまにあった	26	37	27	36	32
	なかった	4	9	17	17	12
	無回答	5	2	5	3	4
	合計100%:人数=	106	97	92	109	404
女性	よくあった	10	1	3	0	4
	ときどきあった	21	12	4	9	12
	たまにあった	41	40	35	24	37
	なかった	18	42	54	50	40
	無回答	9	5	5	17	8
	合計100%:人数=	128	132	129	70	459

B27 過去1年間にマスターベーション(自慰・オナニー)をどれくらいの頻度で行いましたか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	1. 週2回以上	23	21	2	2	12
	2. 週1回	17	11	4	6	10
	3. 月2～3回	22	24	20	13	19
	4. 月1回	9	6	14	10	10
	5. 年数回程度	14	22	29	25	22
	6. この1年全くない	10	14	22	37	21
	7. 無回答	6	2	9	8	6
	合計 100% : 人数 =	106	97	92	109	404
女性	1. 週2回以上	4	0	0	0	1
	2. 週1回	4	3	0	0	2
	3. 月2～3回	10	8	4	1	7
	4. 月1回	13	5	5	6	7
	5. 年数回程度	26	28	19	7	22
	6. この1年全くない	34	49	56	60	48
	7. 無回答	9	7	16	26	13
	合計 100% : 人数 =	128	132	129	70	459

SB27 (B27で1～5と答えた人) あなたにとってマスターベーションはどんな意味がありますか。 (複数回答)						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	快楽	25	27	19	20	23
	やすらぎ	7	7	5	18	9
	性欲の解消	60	58	63	50	58
	性交渉での不満の解消	8	7	11	13	9
	特に意味はない	9	7	13	10	9
	その他	0	1	3	3	2
	人数 =	93	81	64	60	298
女性	快楽	27	28	33	30	29
	やすらぎ	17	15	26	10	18
	性欲の解消	42	30	15	30	32
	性交渉での不満の解消	9	2	10	0	6
	特に意味はない	16	21	23	10	19
	その他	1	5	8	10	4
	人数 =	77	61	39	10	187

B28 配偶者との間で、挿入を伴う性交渉（性交）はこの1年間どのくらいの頻度でありましたか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	週2回以上	3	1	1	0	1
	週1回	8	4	1	4	4
	月2～3回	16	4	8	6	9
	月1回	15	5	9	8	9
	年数回程度	25	33	26	13	24
	この1年全くない	34	53	53	69	52
	無回答	0	0	2	0	1
合計 100% : 人数 =		106	97	92	109	404
女性	週2回以上	2	2	0	0	1
	週1回	9	2	2	1	4
	月2～3回	23	13	8	7	13
	月1回	12	7	10	1	8
	年数回程度	24	22	14	10	19
	この1年全くない	30	53	66	76	54
	無回答	1	2	1	4	2
合計 100% : 人数 =		128	132	129	70	459

B29 配偶者との間で、挿入を伴わない性交渉（手や口による体や性器の愛撫）はこの1年間どのくらいの頻度でありましたか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	週2回以上	1	1	0	3	1
	週1回	6	1	0	4	3
	月2～3回	6	4	4	3	4
	月1回	7	8	4	4	6
	年数回程度	27	24	29	14	23
	この1年全くない	52	62	59	72	61
	無回答	2	0	3	1	2
合計 100% : 人数 =		106	97	92	109	404
女性	週2回以上	6	3	0	3	3
	週1回	3	0	4	1	2
	月2～3回	14	7	3	0	7
	月1回	6	5	7	3	5
	年数回程度	22	20	12	7	16
	この1年全くない	46	63	72	77	63
	無回答	3	3	2	9	4
合計 100% : 人数 =		128	132	129	70	459

性交渉の停止について

【B30～B31 は、配偶者との性交渉（B28、B29 とともに）が「この1年全くない」方にお聞きします。】

B30 配偶者との性交渉がなくなったのは、あなたが何歳くらいからですか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	性交渉停止平均年齢	39.2	46	54.7	63.4	52.9
	無回答を除く人数 =	31	46	39	63	179
女性	性交渉停止平均年齢	38.4	45.5	54.1	60	50.6
	無回答を除く人数 =	33	56	70	47	206

B31 配偶者との性交渉が無くなった理由は何ですか（主な理由を3つ以内、○を付けて下さい）。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	自分の病気	3	6	8	14	9
	自分の関心の喪失	25	23	18	29	24
	自分の性交痛	0	2	3	0	1
	自分の性交不能	0	8	23	18	13
	相手の病気	3	10	10	6	8
	相手の関心の喪失	47	50	33	44	44
	相手の性交痛	9	23	13	20	17
	相手の性交不能	0	0	3	6	3
	相手の不在	0	2	0	0	1
	その他	19	4	15	12	12
		人数 =	32	48	40	66
女性	自分の病気	3	7	6	6	6
	自分の関心の喪失	39	44	47	26	40
	自分の性交痛	19	21	26	12	21
	自分の性交不能	0	3	1	2	2
	相手の病気	3	12	12	24	13
	相手の関心の喪失	25	25	18	14	20
	相手の性交痛	0	2	0	0	1
	相手の性交不能	17	12	25	26	20
	相手の不在	6	0	6	2	3
	その他	39	25	16	16	22
		人数 =	36	61	73	50

性交渉の内容について

【B32～B48 は、配偶者との性交渉（B28、B29 のいずれか）が、この1年間にあった方にお聞きします。】

B32 ご夫婦のどちらから性交渉を求めることが多いですか。		40代	50代	60代	70代	全体
男性	自分から	45	59	66	84	61
	だいたい自分からだが、相手から求めることもある	38	22	15	7	23
	だいたい相手からだが、自分から求めることもある	7	4	2	0	4
	相手から	7	8	2	0	5
	無回答	4	6	15	9	8
	合計 100% : 人数 =	74	49	53	43	219
女性	自分から	3	3	0	5	3
	だいたい自分からだが、相手から求めることもある	9	6	9	5	8
	だいたい相手からだが、自分から求めることもある	37	21	13	10	25
	相手から	48	61	64	60	57
	無回答	2	9	15	20	8
	合計 100% : 人数 =	91	70	55	20	236

B33 性交渉のとき、前戯をしますか。		40代	50代	60代	70代	全体
男性	いつもする	72	57	51	65	62
	することが多い	18	29	28	9	21
	しないことが多い	4	8	6	14	7
	しない	3	0	0	2	1
	無回答	4	6	15	9	8
	合計 100% : 人数 =	74	49	53	43	219
女性	いつもする	53	40	31	35	42
	することが多い	36	33	40	30	36
	しないことが多い	7	16	11	10	11
	しない	1	3	2	10	3
	無回答	3	9	16	15	9
	合計 100% : 人数 =	91	70	55	20	236

B34 よく行う前戯にいくつでも構いませんので○をつけて下さい。(複数回答)						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	口唇へのキス	72	45	51	40	54
	乳房への愛撫	78	80	77	56	74
	乳房へのキス	69	61	64	42	61
	性器への愛撫	66	57	64	67	64
	性器へのキス	39	29	40	37	37
	その他の部位へのキス・愛撫	28	25	34	12	26
	その他	7	2	2	0	3
人数 =		74	49	53	43	219
女性	口唇へのキス	68	44	51	40	55
	乳房への愛撫	73	67	64	45	67
	乳房へのキス	52	46	42	20	45
	性器への愛撫	67	64	53	25	59
	性器へのキス	34	33	27	15	31
	その他の部位へのキス・愛撫	24	19	15	5	19
	その他	3	3	2	0	3
人数 =		91	70	55	20	236

B35 1回の性交渉(前戯から終了まで)にどのくらいの時間を要していますか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	5分以内	1	0	8	12	5
	10分程度	14	39	19	23	22
	20分程度	26	37	34	33	32
	30分～1時間未満	47	14	19	23	28
	1時間以上	8	4	4	0	5
	無回答	4	6	17	9	9
合計 100% : 人数 =		74	49	53	43	219
女性	5分以内	4	10	2	5	6
	10分程度	23	21	22	40	24
	20分程度	32	36	38	30	34
	30分～1時間未満	32	21	22	5	24
	1時間以上	4	1	0	0	2
	無回答	4	10	16	20	10
合計 100% : 人数 =		91	70	55	20	236

B36 性交渉のとき十分な肉体的満足感(オーガズム・射精)が得られますか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	いつも得られる	38	33	13	28	29
	だいたい得られる	51	49	53	47	50
	あまり得られない	5	12	13	16	11
	得られない	1	0	4	0	1
	無回答	4	6	17	9	9
合計 100% : 人数 =		74	49	53	43	219
女性	いつも得られる	7	7	2	10	6
	だいたい得られる	62	50	51	45	54
	あまり得られない	24	21	22	10	22
	得られない	3	11	11	10	8
	無回答	4	10	15	25	10
合計 100% : 人数 =		91	70	55	20	236

B37 性交渉のとき十分な精神的満足感が得られますか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	いつも得られる	31	31	13	23	25
	だいたい得られる	58	53	60	63	58
	あまり得られない	4	10	9	2	6
	得られない	3	0	2	2	2
	無回答	4	6	15	9	8
	合計 100% : 人数 =	74	49	53	43	219
女性	いつも得られる	12	7	4	0	8
	だいたい得られる	67	50	53	55	58
	あまり得られない	15	21	18	25	19
	得られない	2	11	13	0	7
	無回答	3	10	13	20	9
	合計 100% : 人数 =	91	70	55	20	236

B38 配偶者はあなたとの性交渉で満足していると思いますか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	満足している	15	18	11	19	16
	だいたい満足している	55	47	45	49	50
	あまり満足していない	14	16	17	7	14
	満足していない	3	10	2	5	5
	分からない	10	2	9	12	8
	無回答	4	6	15	9	8
	合計 100% : 人数 =	74	49	53	43	219
女性	満足している	9	16	18	20	14
	だいたい満足している	74	56	51	50	61
	あまり満足していない	9	16	11	0	11
	満足していない	0	3	4	5	2
	分からない	6	1	4	5	4
	無回答	3	9	13	20	9
	合計 100% : 人数 =	91	70	55	20	236

B39 性交渉のとき、配偶者が満足を感じることは、あなたにとって重要ですか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	重要である	53	61	57	58	57
	ある程度重要である	37	33	28	30	32
	あまり重要でない	3	0	0	2	1
	重要でない	3	0	0	0	1
	無回答	5	6	15	9	9
	合計 100% : 人数 =	74	49	53	43	219
女性	重要である	36	33	13	40	30
	ある程度重要である	55	51	62	40	54
	あまり重要でない	4	6	9	5	6
	重要でない	2	1	4	0	2
	無回答	2	9	13	15	8
	合計 100% : 人数 =	91	70	55	20	236

B40 性交渉のとき、あなたが満足を感じることを、配偶者は重視していますか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	重視している	30	33	28	23	29
	ある程度重視している	43	41	40	44	42
	あまり重視していない	8	14	9	16	11
	重視していない	5	2	2	2	3
	分からない	10	4	9	5	7
	無回答	4	6	11	9	7
	合計 100% : 人数 =	74	49	53	43	219
女性	重視している	29	29	20	30	27
	ある程度重視している	56	36	44	45	46
	あまり重視していない	7	16	15	5	11
	重視していない	1	4	4	0	3
	分からない	6	9	6	5	6
	無回答	2	7	12	15	7
	合計 100% : 人数 =	91	70	55	20	236

B41 気乗りのしない性交渉に応じることがありますか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	1. ない	51	61	55	74	59
	2. まれにある	24	12	19	7	17
	3. とまどきある	15	16	11	5	12
	4. よくある	4	4	4	0	3
	5. 無回答	5	6	11	14	9
	合計 100% : 人数 =	74	49	53	43	219
女性	1. ない	12	16	11	15	13
	2. まれにある	46	31	22	25	34
	3. とまどきある	24	19	35	20	25
	4. よくある	15	27	20	10	20
	5. 無回答	2	7	13	30	9
	合計 100% : 人数 =	91	70	55	20	236

SB41 (B41で2~4と答えた人) 気乗りのしない性交渉に応じる理由は何でしょうか。(複数回答)						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	妻または夫の役割だから	53	38	33	60	45
	相手が喜ぶから	50	56	78	60	59
	相手がかawaiiそうだから	6	25	17	0	13
	相手の不機嫌になる・怒るから	25	19	11	0	18
	浮気をされると困るから	0	0	6	0	1
	離婚されると困るから	0	6	0	0	1
	応じるとこちらの要求を聞いてくれるから	3	0	6	40	6
	その他	9	0	0	0	4
	人数 =	32	16	18	5	71
女性	妻または夫の役割だから	32	35	41	27	35
	相手が喜ぶから	53	37	48	55	47
	相手がかawaiiそうだから	22	44	24	0	28
	相手の不機嫌になる・怒るから	17	20	21	9	18
	浮気をされると困るから	3	4	0	0	2
	離婚されると困るから	1	0	0	0	1
	応じるとこちらの要求を聞いてくれるから	1	6	2	27	4
	その他	3	4	0	0	2
	人数 =	78	54	42	11	185

B42 性交渉のとき避妊をしていますか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	妊娠の心配がない	5	33	47	61	32
	避妊している	43	35	11	0	25
	時により避妊しないことがある	5	8	0	0	4
	避妊していない	31	12	23	21	23
	無回答	15	12	19	19	16
	合計 100% : 人数 =	74	49	53	43	219
女性	妊娠の心配がない	6	53	51	50	34
	避妊している	47	16	2	0	23
	時により避妊しないことがある	11	4	0	0	6
	避妊していない	31	17	27	15	25
	無回答	6	10	20	35	13
	合計 100% : 人数 =	91	70	55	20	236

性機能&性生活に望むこと

B43 (男性のみ) この1年間で性交を試みたとき、どれくらい満足に挿入を伴う性行為ができましたか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	ほぼ毎回できた	73	61	51	51	61
	ときどきできた	16	20	19	16	18
	たまにできた	3	10	8	12	7
	ほとんどできなかった	3	2	13	14	7
	無回答	5	6	9	7	7
合計 100% : 人数 =		74	49	53	43	219

B44 (男性のみ) 一時的ではなく、ある程度継続した性交困難(勃起不全)になったことがありますか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	経験がない	76	63	43	47	59
	過去になったことがある	19	25	32	23	24
	現在なっている	1	8	15	23	11
	無回答	4	4	9	7	6
合計 100% : 人数 =		74	49	53	43	219

B45 (男性のみ) 勃起機能改善薬の使用についてどう思いますか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	使用の必要がない	51	39	38	35	42
	使用したくない	18	25	17	14	18
	使用してみたい	14	20	15	21	17
	使用している	1	0	2	7	2
	使用したことがある	11	12	13	14	12
	その他	1	0	4	2	2
	無回答	4	4	11	7	6
合計 100% : 人数 =		74	49	53	43	219

B46 (女性のみ) この1年間で性行為に際して膣の湿りや感情の興奮がどれくらいありましたか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
女性	いつもある	33	13	7	5	19
	よくある	34	20	15	30	25
	ときどきある	30	35	49	45	37
	ない	3	20	18	10	12
	無回答	0	11	11	10	7
合計 100% : 人数 =		91	70	55	20	236

B47 (女性のみ) この1年間に性行為の最中や後に、どれくらい性器に痛みを感じましたか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
女性	1. いつもある	6	15	11	0	9
	2. よくある	14	15	20	5	15
	3. ときどきある	37	31	40	35	36
	4. ない	43	25	16	45	32
	5. 無回答	0	11	13	15	8
合計 100% : 人数 =		91	70	55	20	236

SB47-1 (女性のみ。B47で1～3と答えた人) 性的満足感との関係はどうか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
女性	痛みはあるが満足感が強い	15	7	10	38	13
	どちらかといえば痛みより満足感が強い	50	36	38	25	41
	どちらかといえば満足感より痛みが強い	33	41	46	13	38
	満足感はなく痛みが強い	2	16	5	0	7
	無回答	0	0	0	25	1
合計 100% : 人数 =		52	44	39	8	143

SB47-2 (女性のみ。B47で1～3と答えた人) 痛みについて言葉や態度で相手に伝えますか。						
		40代	50代	60代	70代	全体
女性	伝える	46	41	33	38	41
	ある程度伝える	39	25	36	50	34
	あまり伝えない	8	25	18	0	15
	伝えない	8	9	13	0	9
	無回答	0	0	0	13	1
合計 100% : 人数 =		52	44	39	8	143

SB47-3 (女性のみ。B47で1～3と答えた人) 痛みをやわらげるためのホルモン補充療法やゼリーの使用についてお聞きします。							
		40代	50代	60代	70代	全体	
女性	①ゼリー（潤滑剤）の使用について	使用したくない	44	23	41	38	36
		使用してみたい	29	32	28	0	28
		使用している	6	16	18	25	13
		使用したことがある	14	25	13	38	18
		その他	6	2	0	0	3
		無回答	2	2	0	0	1
	合計 100% : 人数 =		52	44	39	8	143
	②ホルモン補充療法について	使用したくない	65	59	64	63	63
		使用してみたい	12	9	3	0	8
		使用している	4	0	3	0	2
		使用したことがある	4	9	5	13	6
その他		8	16	13	0	11	
無回答		8	7	13	25	10	
合計 100% : 人数 =		52	44	39	8	143	

B48 夫婦の性生活に関して相手に望むことはどのようなことですか。いくつでも○をつけて下さい。						
		40代	50代	60代	70代	全体
男性	日常的に愛情を示す	61	47	59	56	56
	雰囲気作りをする	47	39	40	42	43
	性交以外の愛撫を楽しむ	15	20	38	33	25
	性交に変化をつける	31	12	30	16	24
	性交の後、余韻を楽しむ	11	14	17	19	15
	相手の満足を大切にする	45	35	49	65	48
	性交の時間を短くする	1	0	0	0	1
	性交にもっと時間をかける	8	2	17	7	9
	性交回数を減らす	3	2	0	0	1
	性交回数を増やす	16	22	26	21	21
	性交をやめる	3	2	0	0	1
	望むことは別がない	11	14	11	7	11
	その他	3	0	0	0	1
		人数=	74	49	53	43
女性	日常的に愛情を示す	55	55	47	50	53
	雰囲気作りをする	39	21	27	30	30
	性交以外の愛撫を楽しむ	23	34	24	25	27
	性交に変化をつける	20	4	4	10	11
	性交の後、余韻を楽しむ	18	13	9	10	14
	相手の満足を大切にする	26	17	22	50	25
	性交の時間を短くする	4	3	7	0	4
	性交にもっと時間をかける	6	9	2	10	6
	性交回数を減らす	9	7	7	5	8
	性交回数を増やす	10	4	4	0	6
	性交をやめる	3	7	6	0	5
	望むことは別がない	18	17	29	14	20
	その他	2	1	2	5	2
		人数=	91	69	55	20

単身者を対象とする調査結果の全データ

基本的属性

【設問 A は 有配偶者を含む全員に質問】

A1 性別についてお答え下さい。

A2 年齢についてお答え下さい。

A3 現在、配偶者がいらっしゃいますか。

(A1～A3の結果は省略、調査概要の回答者男女別年代別構成表を参照)

A4 同居している人すべてに○をつけて下さい。(複数回答)						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
一人暮らし	62	75	66	54	61	57
父母・義父母	25	3	17	20	4	13
息子	5	6	5	16	20	18
娘	7	9	8	15	20	17
孫	0	3	1	2	6	3
兄弟姉妹	5	3	4	4	4	4
交際相手	5	3	4	4	0	2
その他	3	3	3	2	2	2
	人数 = 60	32	92	122	85	207

A5 仕事についてお答え下さい。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
1. 過去、職業についていた	3	75	28	4	58	26
2. 現在、職業についている	95	25	71	96	34	71
3. 職業についたことがない	2	0	1	0	8	3
	合計 100% : 人数 = 60	32	92	122	85	207

SA5 (A5で1、2と答えた人) どのような仕事か、一番長く就労した職業についてお答え下さい。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
専門的・技術職	32	34	33	56	32	47
管理的職業	14	31	20	7	6	7
事務職	14	9	12	19	31	24
販売業	7	9	8	3	4	3
サービス業	15	3	11	7	5	6
その他・無回答	19	13	16	9	22	14
	合計 100% : 人数 = 59	32	91	122	78	200

A6 最終学歴についてお答え下さい。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
旧制中学校・高等女学校・師範学校	0	0	0	0	4	1
中学校	0	3	1	1	6	3
高等学校	15	16	15	15	29	21
短期大学・専門学校	15	3	11	38	28	34
大学・大学院	68	75	71	45	32	40
その他・無回答	2	3	2	2	1	1
合計 100% : 人数 =	60	32	92	122	85	207

A7 収入は次のどれによつていますか。いくつでも○を付けて下さい。(複数回答)						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
自分の仕事の収入	97	31	74	98	38	73
パートナーの収入	0	0	0	5	4	4
財産、家作など	0	16	5	4	13	8
恩給・年金	0	84	29	3	78	34
身内の援助	2	0	1	3	7	5
その他	3	3	3	4	8	6
人数 =	60	32	92	122	85	207

A8 最近の健康状態についてお答え下さい。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
健康である	42	38	40	53	37	46
だいたい健康	53	59	55	43	52	46
あまり健康ではない	5	3	4	3	6	4
健康ではない	0	0	0	0	2	1
無回答	0	0	0	1	4	2
合計 100% : 人数 =	60	32	92	122	85	207

A9 現在、病院で通院治療をしている病気がありますか。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
ある	37	50	41	36	49	42
ない	63	44	57	63	44	55
無回答	0	6	2	1	7	3
合計 100% : 人数 =	60	32	92	122	85	207

SA9-1 (A9で「ある」と答えた人) その病気はあなたの性生活に悪い影響を与えていますか。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
与えている	18	19	18	9	5	7
与えていない	64	5	58	73	55	64
分からない	18	31	24	16	21	19
無回答	0	0	0	2	19	11
合計 100% : 人数 =	22	16	38	44	42	86

A10 今までに性体験はありますか。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
性体験はない	2	6	3	5	2	4
キス・愛撫・ベッティングあり	0	6	2	1	0	1
挿入を伴う性交渉あり	98	88	95	91	88	90
無回答	0	0	0	3	9	6
合計 100%: 人数 =	60	32	92	122	85	207

A11 (女性のみ) 出産の経験はありますか。			
	女性		
	40-50代	60-70代	全体
ある	42	78	57
ない	57	19	42
無回答	1	4	2
合計 100%: 人数 =	122	85	207

A12 (女性のみ) 妊娠中絶の経験はありますか。			
	女性		
	40-50代	60-70代	全体
ある	43	51	46
ない	57	45	52
無回答	1	5	2
合計 100%: 人数 =	122	85	207

A13 (女性のみ) 月経は若い頃 (30代前半) と比べてどうですか。			
	女性		
	40-50代	60-70代	全体
変化ない	38	0	22
不規則になってきた	27	0	16
閉経した	34	93	58
無回答	2	7	4
合計 100%: 人数 =	122	85	207

A14 (女性のみ) 更年期障害で辛い経験をしたことはありますか。			
	女性		
	40-50代	60-70代	全体
経験していない	75	57	67
現在、ある	18	2	12
過去に経験した	7	34	18
無回答	1	7	3
合計 100%: 人数 =	122	85	207

A15 (女性のみ) この1年間に、尿失禁 (尿もれ) で困った経験がありますか。			
	女性		
	40-50代	60-70代	全体
ある	21	31	25
ない	78	66	73
無回答	1	4	2
合計 100%: 人数 =	122	85	207

性についての考え方

【設問 C は 単身者への質問】

C1 今までの結婚歴についてお答え下さい (事実婚も含みます)。								
	男性			女性				
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体		
現在まで未婚	63	19	48	52	15	37		
死別	7	44	20	9	64	31		
離婚	28	38	32	39	21	32		
無回答	2	0	1	0	0	0		
	合計 100% : 人数 =		60	32	92	122	85	207

C2 今までの同棲経験についてお答え下さい。								
	男性			女性				
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体		
同棲したことはない	68	59	65	68	65	67		
過去に、同棲したことがある	23	16	21	23	15	20		
現在、同棲している	5	9	7	6	0	3		
無回答	3	16	8	3	20	10		
	合計 100% : 人数 =		60	32	92	122	85	207

C3 性に関する以下の考え方について、あなたの考えと一致するほうに○をつけて下さい。											
		40-50代			60-70代			全体			
		はい	いいえ	NA	はい	いいえ	NA	はい	いいえ	NA	
男性	性はコミュニケーション（人間関係）である	92	8	0	91	0	9	91	5	3	
	性は快楽である	88	12	0	91	3	6	89	9	2	
	性は楽しいものだ	92	8	0	94	0	6	92	5	2	
	性について口にしてはいけない	12	87	2	6	84	9	10	86	4	
	性は不潔で汚らわしい	2	98	0	0	91	9	1	96	3	
	性の目的は子供を産むことである	27	73	0	16	72	13	23	73	4	
	結婚や婚約なしに性的な関係をもつのはよくない	7	93	0	22	72	6	12	86	2	
	愛情があれば性的な関係をもってよい	83	17	0	81	9	9	83	14	3	
	互いの合意があれば性的な関係をもってよい	98	2	0	94	0	6	97	1	2	
	売買春は悪いことだ	45	55	0	47	41	13	46	50	4	
	閉経後は性生活を止めるのが自然だ	5	92	3	0	84	16	3	89	8	
	老年になったら男性は性欲が無くなる	27	73	0	6	84	9	20	77	3	
	老年になったら女性は性欲が無くなる	18	68	13	3	63	34	13	66	21	
	性は男性がリードするものだ	22	77	2	34	56	9	26	70	4	
	夫の性的な求めに応じるのが妻の心得だ	20	73	7	28	53	19	23	66	11	
	妻の性的な求めに応じるのが夫の心得だ	37	62	2	44	34	22	39	52	9	
	女性から求めるのは恥ずかしいことだ	2	98	0	3	81	16	2	92	5	
		人数 =	60			32			92		
	女性	性はコミュニケーション（人間関係）である	91	7	3	81	9	9	87	8	5
性は快楽である		79	17	4	65	20	15	73	18	9	
性は楽しいものだ		84	12	3	67	17	17	77	14	9	
性について口にしてはいけない		11	87	3	12	75	13	11	82	7	
性は不潔で汚らわしい		0	97	3	1	86	13	1	92	7	
性の目的は子供を産むことである		10	88	3	18	71	12	13	81	6	
結婚や婚約なしに性的な関係をもつのはよくない		4	93	3	29	62	8	15	81	5	
愛情があれば性的な関係をもってよい		78	19	3	60	24	17	71	21	9	
互いの合意があれば性的な関係をもってよい		88	10	3	67	18	15	79	13	8	
売買春は悪いことだ		84	14	2	84	9	7	84	12	4	
閉経後は性生活を止めるのが自然だ		1	95	4	5	86	9	2	91	6	
老年になったら男性は性欲が無くなる		5	89	7	11	61	28	7	77	16	
老年になったら女性は性欲が無くなる		11	84	6	18	74	8	14	80	7	
性は男性がリードするものだ		21	75	4	25	60	15	23	69	9	
夫の性的な求めに応じるのが妻の心得だ		14	84	3	19	68	13	16	77	7	
妻の性的な求めに応じるのが夫の心得だ		16	81	3	19	67	14	17	75	8	
女性から求めるのは恥ずかしいことだ		11	88	2	9	80	11	10	85	5	
		人数 =	122			85			207		

C4 配偶者のいる異性と親密な付き合いをすることについてどう思いますか。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
付き合うべきではない	30	31	30	41	27	35
性的な関係がないならかまわない	22	16	20	11	34	20
性的関係があっても、家庭に迷惑がかからないならかまわない	28	25	27	32	19	27
好きになったら付き合うのが自然だ	18	28	22	16	14	15
無回答	2	0	1	1	6	3
合計 100% : 人数 =	60	32	92	122	85	207

C5 あなた自身が配偶者のいる異性と親密な付き合いをすることについてどう思いますか。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
付き合うべきではない	30	31	30	43	28	37
性的な関係がないならかまわない	22	16	20	11	28	18
性的関係があっても、家庭に迷惑がかからないならかまわない	30	25	28	29	19	25
好きになったら付き合うのが自然だ	17	28	21	17	18	17
無回答	2	0	1	0	7	3
合計 100% : 人数 =	60	32	92	122	85	207

C6 あなたにとって性はどうの意味をもつと思いますか（3つ以内、○を付けてください）。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
愛情表現・愛情の確認	77	66	73	83	66	76
ふれあい・コミュニケーション	75	63	71	67	45	58
やすらぎ・安心感	37	47	40	52	42	48
肉体の充足・快楽	47	38	44	33	22	29
精神的充足	17	19	17	25	28	26
ストレス解消	5	13	8	3	2	3
自信をつける	3	0	2	4	2	3
生き甲斐・活力剤	8	19	12	3	6	4
子ども作り	8	6	8	12	18	15
面倒なこと	0	0	0	6	6	6
不快・苦痛なもの	0	0	0	1	1	1
義務	0	3	1	1	4	2
特に意味はない・自分とは無関係	0	0	0	3	5	3
その他	1	0	1	0	1	1
人数 =	60	32	92	122	85	207

交際相手、性的な関係について

C7 現在、交際相手（お付き合いしている異性）はいますか。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
いる	43	63	50	49	21	38
いない	57	38	50	51	79	62
合計 100% : 人数 = 60 32 92 122 85 207						

C8 (C7で「いない」と答えた人) 交際相手を欲しいと思いますか。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
欲しい	82	75	80	68	30	48
欲しくない	18	17	17	26	67	47
無回答	0	8	2	7	3	5
合計 100% : 人数 = 34 12 46 62 67 129						

SC8-1 (C8で「欲しい」と答えた人) どのような性的関係を望みますか。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
精神的な愛情関係	21	33	24	45	80	57
性交渉以外の愛撫を伴う愛情関係	4	22	8	0	0	0
性交渉を伴う愛情関係	71	44	65	52	15	40
性交渉が主な関係	4	0	3	2	0	2
その他	0	0	0	0	5	2
無回答	0	0	0	0	0	0
合計 100% : 人数 = 28 9 37 42 20 62						

SC8-2 (C8で「欲しくない」と答えた人) 主な理由2つに○を付けて下さい。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
自由を束縛されたくない	67	50	63	56	51	53
倫理的に受け入れられない	0	0	0	0	16	12
性交渉を求められそうで嫌だ	0	100	25	6	2	3
周囲の目がうるさい	0	0	0	0	2	2
肉親が反対する	0	0	0	0	2	2
付き合うのは面倒、関心がない	67	0	50	81	67	71
その他	17	0	13	6	9	8
人数 = 6 2 8 16 45 61						

【C9～C16 は、C7 で現在、「交際相手がいる」と答えた方にお聞きします。】

C9 交際相手は一人ですか、複数ですか。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
一人	73	60	67	97	94	96
二人以上	27	40	33	3	6	4
無回答	0	0	0	0	0	0
合計 100% : 人数 = 26 20 46 60 18 78						

C10 交際相手の年齢はおいくつですか。 〔現在、複数の相手がいる方は一番親密な相手に関してお答え下さい。以下 C16 まで同様です〕						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
交際相手平均年齢	39.9	59.1	48.4	51.8	70.6	56.1
無回答を除いた人数 = 25 20 45 60 18 78						

C11 交際の期間はどれくらいですか。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
6ヶ月未満	8	10	9	10	0	8
6ヶ月以上1年未満	8	15	11	8	0	6
3年未満	31	30	30	7	33	13
5年未満	23	5	15	10	0	8
5年以上	31	40	35	65	67	65
無回答	0	0	0	0	0	0
合計 100% : 人数 = 26 20 46 60 18 78						

C12 交際相手とは同居していますか。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
同居している	8	10	9	10	0	8
同居していない	92	90	91	90	100	92
無回答	0	0	0	0	0	0
合計 100% : 人数 = 26 20 46 60 18 78						

C13 交際相手には配偶者がいますか。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
配偶者がいる	31	35	33	53	67	56
配偶者はいない	65	65	65	47	33	44
無回答	4	0	2	0	0	0
合計 100% : 人数 = 26 20 46 60 18 78						

C14 あなたと交際相手との関係はどのようなものですか。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
精神的な愛情関係	15	30	22	17	22	18
性交渉以外の愛撫を伴う愛情関係	12	5	9	0	6	1
性交渉を伴う愛情関係	62	55	59	82	61	77
性交渉が主な関係	8	5	7	2	0	1
その他	0	0	0	0	6	1
無回答	4	5	4	0	6	1
合計 100% : 人数 = 26 20 46 60 18 78						

C15 日常生活でよくする身体的触れ合いに、いくつでも○を付けて下さい。(複数回答)						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
手をつなぐ	62	55	59	62	56	60
腕を組む	31	30	30	32	33	32
肩を抱く	23	25	24	13	28	17
身体に触る	54	45	50	55	39	51
抱擁する	54	45	50	42	56	45
キスをする	69	30	52	53	39	50
肩もみ・指圧・マッサージなど	19	15	17	48	28	44
その他	0	5	2	5	0	4
ほとんどない	8	20	13	10	11	10
人数 = 26 20 46 60 18 78						

C16 あなたと交際相手との経済的關係はどのようなものですか。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
全面的に援助している	0	10	4	2	0	1
部分的に援助している	15	20	17	13	0	10
援助しても、されてもいない	77	70	74	75	94	80
部分的に援助されている	4	0	2	8	6	8
全面的に援助されている	0	0	0	2	0	1
無回答	4	0	2	0	0	0
合計 100% : 人数 = 26 20 46 60 18 78						

【C17は、交際相手が「いる方」も「いない方」もお答え下さい。】

C17 結婚したいと思いませんか。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
1. 結婚したい	27	19	24	21	0	12
2. どちらかといえば結婚したい	38	16	30	24	11	18
3. どちらかといえば結婚したくない	13	34	21	27	21	25
4. 結婚したくない	22	28	24	27	68	44
5. 無回答	0	3	1	2	0	1
合計 100% : 人数 =	60	32	92	122	85	207

SC17-1 (C17で1または2と答えた人) 主要な理由2つに○を付けて下さい。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
精神的な安定、充足が欲しい	80	82	80	89	89	89
経済的基盤を分かち合いたい	8	9	8	26	33	27
性生活を安定させたい	15	9	14	6	0	5
家事や身の回りの世話をする人が欲しい	21	18	20	6	0	5
病気の時など助け合える	33	64	40	35	44	37
社会的な信用を得たい	10	0	8	9	11	10
その他	10	0	8	11	11	11
人数 =	39	11	50	54	9	63

SC17-2 (C17で3または4と答えた人) 主要な理由2つに○を付けて下さい。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
法律的な問題が煩わしい	19	25	22	26	18	22
肉親が反対する	0	10	5	11	1	6
自由を束縛されたくない	62	85	73	68	76	73
経済的な問題 (年金、遺産相続など)	14	20	17	9	11	10
家事や身の回りの世話が負担	5	5	5	42	36	39
性生活が負担	0	5	2	3	1	2
世間体が悪い	5	5	5	3	3	3
その他	38	5	22	20	9	14
人数 =	21	20	41	66	76	142

最近1年ほどの生活／性生活について

C18 愛情や関心を抱いている対象は何ですか。いくつでも○を付けて下さい。(複数回答)						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
恋人・付き合っている人	45	44	45	48	17	35
肉親	23	34	27	55	37	47
友人	37	34	36	43	41	43
芸術家・芸能人等	10	0	7	12	5	9
ペット	12	3	9	19	13	16
趣味	57	59	58	41	60	49
サークル活動・ボランティア	10	41	21	9	40	22
仕事	42	19	34	47	24	37
インターネット	20	22	21	10	8	9
その他	7	9	8	7	5	6
	人数 = 60	32	92	122	85	207

C19 単身の淋しさ、もの足りなさを感じることがありますか。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
はい	62	75	66	48	44	46
いいえ	38	25	34	50	53	51
無回答	0	0	0	3	4	3
	合計 100% : 人数 = 60	32	92	122	85	207

SC19 (C19で「はい」と答えた人) 何で解消していますか。いくつでも○を付けて下さい。(複数回答)						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
人と会う・電話する	43	71	54	66	78	71
メル友とのやりとり	14	21	16	26	19	23
インターネット	30	25	28	22	11	18
買い物	38	13	28	43	35	40
食べること	46	21	36	38	30	35
酒・タバコ	38	17	30	21	8	16
パチンコ・競馬・競輪など	11	4	8	0	0	0
風俗・ポルノなどの性的媒体	32	17	26	0	0	0
その他	16	17	16	21	22	21
特になし	5	4	5	7	14	10
	人数 = 37	24	61	58	37	95

C20 若い頃と比べて性的欲求の強さは変化しましたか。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
若い頃より増えた	2	3	2	12	1	8
若い頃と同じくらい	30	9	23	23	1	14
若い頃より少し減少	38	34	37	31	6	21
若い頃より大いに減少	25	41	30	16	22	19
欲求はほとんどなくなった	3	6	4	12	48	27
無回答	2	6	3	5	21	12
	合計 100% : 人数 = 60	32	92	122	85	207

C21 あなたにとって性生活はどの程度重要だとお考えですか。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
重要である	37	38	37	29	2	18
どちらかといえば重要である	43	25	37	29	20	25
あまり重要ではない	15	31	21	30	31	30
重要ではない	3	0	2	9	33	19
無回答	2	6	3	4	14	8
合計 100% : 人数 =	60	32	92	122	85	207

C22 現在の性生活に満足していますか。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
1. 性交渉の内容・頻度ともに満足している	27	22	25	30	8	21
2. 性交渉の内容に不満である	0	6	2	6	2	4
3. 性交渉の頻度が少なく不満である	25	13	21	12	2	8
4. 性交渉頻度をもっと減らしたい	0	0	0	2	0	1
5. 性交渉がなく不満である	28	28	28	13	2	9
6. 性交渉がなく満足している	8	22	13	17	33	24
7. その他	7	3	5	11	12	11
8. 無回答	5	6	5	10	40	22
合計 100% : 人数 =	60	32	92	122	85	207

SC22 (C22で2、3または5と答えた人) 性的欲求不満をどのように解消していますか。(複数回答)						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
自然に解消	18	13	17	43	44	43
がまんしている	12	20	15	5	0	3
他のこと(趣味、スポーツ、友人との会合など)をして解消	21	33	25	38	56	43
性的な楽しみ(ポルノ雑誌、ビデオ、テレビなど)で解消	24	20	23	0	0	0
マスターベーション(自慰)	61	60	60	29	31	29
風俗を利用	18	0	13	0	0	0
売買春	6	7	6	0	0	0
その他	0	7	2	2	0	2
人数 =	33	15	48	42	16	58

C23 この1年間に、性交渉をしたと思ったことはどれくらいありましたか。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
よくあった	38	31	36	11	5	8
ときどきあった	32	28	30	29	8	20
たまにあった	20	19	20	34	19	28
なかった	3	9	5	15	49	29
無回答	7	13	9	12	19	15
合計 100% : 人数 =	60	32	92	122	85	207

C24 過去1年間にマスターベーション（自慰・オナニー）をどれくらいの頻度で行いましたか。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
1. 週2回以上	30	9	23	3	0	2
2. 週1回	20	9	16	9	2	6
3. 月2～3回	17	25	20	17	1	11
4. 月1回	7	9	8	12	4	8
5. 年数回程度	17	22	19	25	21	23
6. この1年全くない	2	13	5	23	47	33
7. 無回答	8	13	10	12	25	17
合計 100% : 人数 = 60 32 92 122 85 207						

SC24 (C24で1～5と答えた人)あなたにとってマスターベーションはどんな意味がありますか。(複数回答)						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
快楽	31	8	24	31	21	29
やすらぎ	11	20	14	15	29	18
性欲の解消	64	56	61	41	33	39
性交渉での不満の解消	4	4	4	4	0	3
特に意味はない	7	8	8	17	17	17
その他	4	12	6	5	0	4
人数 = 55 25 80 83 24 107						

C25 この1年間、挿入を伴う性交渉（性交）はどのくらいの頻度でありましたか。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
週2回以上	2	9	4	7	0	4
週1回	5	3	4	7	1	4
月2～3回	22	9	17	9	1	6
月1回	13	6	11	14	2	9
年数回程度	15	19	16	15	8	12
この1年全くない	37	44	39	46	75	58
無回答	7	9	8	3	12	7
合計 100% : 人数 = 60 32 92 122 85 207						

C26 この1年間、挿入を伴わない性交渉（手や口による体や性器の愛撫）はどのくらいの頻度でありましたか。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
週2回以上	2	0	1	3	0	2
週1回	2	3	2	4	4	4
月2～3回	15	3	11	5	0	3
月1回	10	3	8	3	0	2
年数回程度	20	19	20	21	7	16
この1年全くない	43	59	49	56	77	64
無回答	8	13	10	7	13	10
合計 100% : 人数 = 60 32 92 122 85 207						

性交渉の停止について

【C27～C28 は、性体験はあるが性交渉（C25、C26 とも）が「この1年全くない」方にお聞きします。】

C27 性交渉がなくなったのは、あなたが何歳くらいからですか。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
性交渉停止平均年齢	45.3	59.9	51	40.5	55.3	48.9
無回答を除いた人数 =	19	12	31	45	59	104

C28 性交渉が無くなった理由は何ですか。主な理由を3つ以内、○を付けて下さい。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
自分の病気	5	15	9	6	5	5
自分の関心の喪失	35	8	24	18	19	19
自分の性交痛	0	8	3	4	3	3
自分の性交不能	0	8	3	0	0	0
相手の病気	0	15	6	4	18	11
相手の関心の喪失	10	0	6	4	11	8
相手の性交痛	0	0	0	0	0	0
相手の性交不能	0	0	0	7	2	4
相手との離死別	30	46	36	42	62	53
金銭的な余裕がない	20	15	18	0	2	1
時間的な余裕がない	25	0	15	7	6	7
その他	15	15	15	24	8	15
人数 =	20	13	33	55	63	118

性交渉の内容について

【C29～C49 は、性交渉（C25、C26 のいずれか）が、この1年間にあった方にお聞きします。】

C29 過去1年間の性交渉の相手は何人ですか。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
1人	49	69	55	77	100	81
2人	18	19	18	12	0	10
3人以上	33	13	27	6	0	5
無回答	0	0	0	5	0	4
合計 100% : 人数 =	39	16	55	66	13	79

C30 過去1年間の性交渉の相手とはどのような関係ですか（あてはまるものすべてに○をしてください）。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
恋人・お付き合いしている（いた）人	64	88	71	91	100	92
売買春	23	6	18	0	0	0
行きずりの相手	10	0	7	5	0	4
その他	18	6	15	3	0	3
人数 =	39	16	55	66	13	79

C31 性交渉の相手とは、性的感情や欲求について、お互いに伝えたり話し合うことがありますか。（複数の対象がある方は一番親密な相手との関係についてお答え下さい。以下、C43まで同様です。）						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
互いに伝え合う	64	88	71	77	85	79
自分のみ伝える	8	0	6	5	8	5
相手のみ伝える	0	6	2	6	8	6
伝え合うことはない	28	6	22	6	0	5
無回答	0	0	0	6	0	5
合計 100% : 人数 =	39	16	55	66	13	79

C32 相手はあなたの性に対する欲求や身体の状態について、分かってくれていますか。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
分かっている	13	63	27	41	62	44
だいたい分かっている	51	38	47	39	31	38
あまり分かっていない	26	0	18	9	8	9
分かっていない	8	0	6	3	0	3
無回答	3	0	2	8	0	6
合計 100% : 人数 =	39	16	55	66	13	79

C33 あなたと相手のどちらから性交渉を求めることが多いですか。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
自分から	39	44	40	0	8	1
だいたい自分からだが、相手から求めることもある	46	50	47	8	0	6
だいたい相手からだが、自分から求めることもある	10	6	9	59	39	56
相手から	0	0	0	27	54	32
無回答	5	0	4	6	0	5
合計 100% : 人数 =	39	16	55	66	13	79

C34 性交渉の時、前戯をしますか。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
いつもする	64	75	67	73	54	70
することが多い	33	25	31	17	39	20
しないことが多い	0	0	0	5	8	5
しない	0	0	0	0	0	0
無回答	3	0	2	6	0	5
合計 100% : 人数 =	39	16	55	66	13	79

C35 よく行う前戯にいくつでも構いませんので○をつけて下さい。(複数回答)						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
口唇へのキス	87	75	84	80	92	82
乳房への愛撫	82	81	82	74	92	77
乳房へのキス	64	69	66	68	85	71
性器への愛撫	64	69	66	74	77	75
性器へのキス	49	63	53	55	69	57
その他の部位へのキス・愛撫	46	44	46	52	54	52
その他	5	0	4	0	0	0
人数 =	39	16	55	66	13	79

C36 1回の性交渉(前戯から終了まで)にどのくらいの時間を要していますか。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
5分以内	0	0	0	0	8	1
10分程度	10	13	11	5	0	4
20分程度	21	31	24	21	46	25
30分～1時間未満	49	44	47	58	39	54
1時間以上	18	13	16	9	8	9
無回答	3	0	2	8	0	6
合計 100% : 人数 =	39	16	55	66	13	79

C37 性交渉のとき十分な肉体的満足感（オーガズム・射精）が得られますか。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
いつも得られる	31	31	31	17	39	20
だいたい得られる	62	44	56	58	31	53
あまり得られない	3	25	9	18	23	19
得られない	3	0	2	3	8	4
無回答	3	0	2	5	0	4
合計 100% : 人数 = 39 16 55 66 13 79						

C38 性交渉のとき十分な精神的満足感が得られますか。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
いつも得られる	28	38	31	35	54	38
だいたい得られる	59	50	56	55	23	49
あまり得られない	10	13	11	5	15	6
得られない	0	0	0	2	8	3
無回答	3	0	2	5	0	4
合計 100% : 人数 = 39 16 55 66 13 79						

C39 相手はあなたとの性交渉で満足していると思いますか。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
満足している	10	44	20	33	62	38
だいたい満足している	49	50	49	52	15	46
あまり満足していない	10	0	7	3	0	3
満足していない	5	6	6	0	8	1
分からない	23	0	16	9	0	8
無回答	3	0	2	3	15	5
合計 100% : 人数 = 39 16 55 66 13 79						

C40 性交渉のとき、相手が満足を感じることは、あなたにとって重要ですか。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
重要である	67	75	69	70	69	70
ある程度重要である	31	25	29	27	15	25
あまり重要でない	0	0	0	0	0	0
重要でない	0	0	0	0	0	0
無回答	3	0	2	3	15	5
合計 100% : 人数 = 60 32 92 66 13 79						

C41 性交渉のとき、あなたが満足を感じることを、相手は重視していますか。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
重視している	36	31	35	62	46	60
ある程度重視している	33	56	40	29	31	29
あまり重視していない	5	0	4	2	0	1
重視していない	5	6	6	0	8	1
分からない	18	6	15	5	0	4
無回答	3	0	2	3	15	5
合計 100% : 人数 =	39	16	55	66	13	79

C42 気乗りのしない性交渉に応じることがありますか。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
1. ない	44	50	46	47	46	47
2. まれにある	39	31	36	38	23	35
3. ときどきある	10	13	11	9	15	10
4. よくある	3	0	2	3	0	3
5. 無回答	5	6	6	3	15	5
合計 100% : 人数 =	39	16	55	66	13	79

SC42 (C42で2~4と答えた人) 気乗りのしない性交渉に応じる理由は何でしょうか。(複数回答)						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
パートナーとしての役割だから	50	57	52	27	0	24
相手が喜ぶから	95	57	85	58	100	63
相手がかわいそうだから	10	14	11	12	20	13
相手が不機嫌になるから・怒るから	15	0	11	18	0	16
浮気をされると困るから	0	0	0	3	0	3
別れることになると困るから	0	0	0	0	0	0
応じるとこちらの要求を聞いてくれるから	5	14	7	3	0	3
その他	0	0	0	6	0	5
人数 =	20	7	27	33	5	38

C43 性交渉のとき避妊をしていますか。						
	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
妊娠の心配がない	10	44	20	30	54	34
避妊している	44	25	38	44	0	37
時により避妊しないことがある	21	0	15	11	0	9
避妊していない	15	31	20	8	31	11
無回答	10	0	7	8	15	9
合計 100% : 人数 =	39	16	55	66	13	79

性機能 & 性生活に望むこと

C44 (男性のみ) この1年間で性交を試みたとき、どれくらい満足に挿入を伴う性行為ができましたか。

	男性		
	40-50代	60-70代	全体
ほぼ毎回できた	59	81	66
ときどきできた	28	0	20
たまにはできた	5	6	6
ほとんどできなかった	5	13	7
無回答	3	0	2
合計 100%: 人数 =	39	16	55

C45 (男性のみ) 一時的ではなく、ある程度継続した性交困難(勃起不全)になったことがありますか。

	男性		
	40-50代	60-70代	全体
経験がない	62	69	64
過去になったことがある	28	25	27
現在なっている	8	6	7
無回答	3	0	2
合計 100%: 人数 =	39	16	55

C46 (男性のみ) 勃起機能改善薬の使用についてどう思いますか。

	男性		
	40-50代	60-70代	全体
使用の必要がない	31	50	36
使用したくない	31	6	24
使用してみたい	28	25	27
使用している	0	6	2
使用したことがある	8	13	9
その他	0	0	0
無回答	3	0	2
合計 100%: 人数 =	39	16	55

C47 (女性のみ) この1年間で性行為に際して膈の湿りや感情の興奮がどれくらいありましたか。

	女性		
	40-50代	60-70代	全体
いつもある	58	31	53
よくある	26	15	24
ときどきある	12	39	17
ない	0	0	0
無回答	5	15	6
合計 100%: 人数 =	66	13	79

C48 (女性のみ) この1年間位性行為の最中や後に、どれくらい性器に痛みを感じましたか

	女性		
	40-50代	60-70代	全体
1. いつもある	2	8	3
2. よくある	5	15	6
3. ときどきある	47	46	47
4. ない	42	15	38
5. 無回答	5	15	6
合計 100%: 人数 =	66	13	79

SC48-1 (女性のみ。C48で1~3と答えた人) 性的満足感との関係はどうか。

	女性		
	40-50代	60-70代	全体
痛みはあるが満足感が強い	43	44	43
どちらかといえば痛みより満足感が強い	46	44	46
どちらかといえば満足感より痛みが強い	6	0	5
満足感はなく痛みが強い	0	11	2
無回答	6	0	5
合計 100%: 人数 =	35	9	44

SC48-2 (女性のみ。C48で1~3と答えた人) 痛みについて言葉や態度で相手に伝えますか。

	女性		
	40-50代	60-70代	全体
伝える	47	67	51
ある程度伝える	25	22	24
あまり伝えない	19	0	16
伝えない	3	11	4
無回答	6	0	4
合計 100%: 人数 =	35	9	44

SC48-3 (女性のみ。C48で1～3と答えた人) 痛みをやわらげるためのホルモン補充療法やゼリーの使用についてお聞きします。

			40-50代	60-70代	全体
女性	①ゼリー(潤滑剤)の使用について	使用したくない	26	22	25
		使用してみたい	20	33	23
		使用している	20	11	18
		使用したことがある	17	22	18
		その他	14	0	11
		無回答	3	11	5
		合計 100% : 人数 =	35	9	44
	②ホルモン補充療法について	使用したくない	46	44	46
		使用してみたい	20	0	16
		使用している	20	0	16
		使用したことがある	0	22	5
		その他	14	0	11
		無回答	0	33	7
		合計 100% : 人数 =	35	9	44

C49 性生活に関して相手に望むことはどのようなことですか。いくつでも○をつけて下さい。

	男性			女性		
	40-50代	60-70代	全体	40-50代	60-70代	全体
日常的に愛情を示す	63	69	64	70	64	69
雰囲気作りをする	45	75	54	36	64	40
性交以外の愛撫を楽しむ	45	44	45	55	55	55
性交に変化をつける	28	38	30	17	9	16
性交の後、余韻を楽しむ	40	50	43	55	55	55
相手の満足を大切にする	53	75	59	47	36	45
性交の時間を短くする	0	0	0	2	9	3
性交にもっと時間をかける	10	13	11	17	0	15
性交回数を減らす	3	0	2	2	0	1
性交回数を増やす	15	25	18	9	18	11
性交をやめる	0	0	0	0	0	0
望むことは別がない	15	6	13	17	18	17
その他	0	0	0	3	9	4

人数 = 40 16 56 64 11 75

荒木乳根子 Araki Chineko [代表]

日本性科学会セクシュアリティ研究会代表、日本老年行動科学会副会長、国立保健医療科学院客員研究員、元・田園調布学園大学教授。臨床心理士。筑波大学大学院修士課程修了。主著に「在宅ケアで出会う高齢者の性」「Q&A で学ぶ高齢者の性とその対応」「カラダと気持ち」。

石田雅巳 Ishida Masami

介護老人保健施設ハートランドぐらんぱぐらんま顧問、日本性科学会会員、日本老年行動科学会評議員。日本医科大学卒業後、都立府中病院産婦人科医長、新宿赤十字産院第一産科部長、東京都八王子保健所長などを経て現職。共著に「カラダと気持ち」「高齢者のこころ事典」。

大川玲子 Okawa Reiko

産婦人科医・日本性科学会認定セックス・セラピスト。2013年国立病院機構千葉医療センター一定年退職後非常勤。日本性科学会理事長(2006～)。アジア・オセアニア性科学連合会長(2012～2014)。千葉性暴力被害者支援センターちさと理事長(2014～)。主著に「愛せない理由」「バーマン姉妹のWomen Only (監訳)」。

金子和子 Kaneko Kazuko

日本性科学会カウンセリング室、主婦会館クリニック、臨床心理士。日本性科学会理事。早稲田大学第一文学部哲学科心理学専修卒業。日本赤十字社医療センターでセックスセラピストとして30有余年勤務。共著に「セックス・カウンセリング入門」「心と体の性科学」その他。

堀口貞夫 Horiguchi Sadao

主婦会館クリニック所長、産婦人科専門医、日本性科学会認定セックスセラピスト。1957年、東京医科歯科大学医学部卒業、都立築地産院産婦人科部長、母子愛育会愛育病院院長を経て現職。主著に「お医者さん夫婦のカラダにやさしい長生き養生訓」「夫婦で読むセックスの本(絶版)」。

堀口雅子 Horiguchi Masako

女性成人病クリニック副院長、性と健康を考える女性専門家の会名誉会長、産婦人科専門医、日本性科学会認定セックスセラピスト。1960年、群馬大学医学部卒業、三井記念病院産婦人科、虎の門病院産婦人科を経て現職。共著に「カラダと気持ち」「夫婦で読むセックスの本(絶版)」。

日本性科学会雑誌 第32 巻増刊号
2012年・中高年セクシュアリティ調査特別号
平成26年7月1日発行

発行

日本性科学会

〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-3 森島ビル4F

TEL/FAX 03-3868-3853

Email ● jsss@beige.plala.or.jp

URL ● <http://www14.plala.or.jp/jsss/>

デザイン・印刷

株式会社 harunosora

〒214-0021 神奈川県川崎市多摩区宿河原6-19-26-405

TEL ● 044-934-3281 FAX ● 044-330-1744